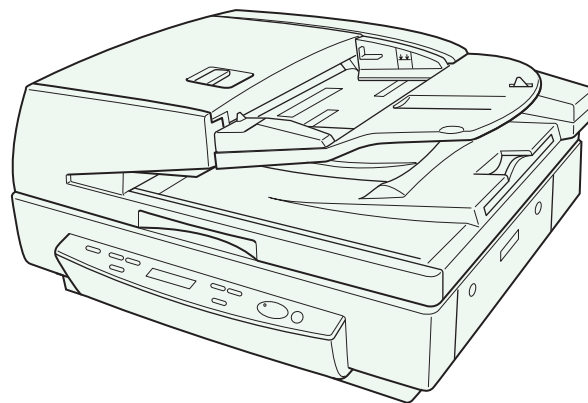


**Canon**

 **imageFORMULA**

**DR-7090C**

**ユーザーマニュアル  
(機能詳細編)**



ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

## ■ 国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

## ■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

## ■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

## ■ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## ■ 複製についてのご注意

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

## ■ 商標および登録商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ISIS および MultiStream は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## はじめに

このたびはキャノンドキュメントスキャナ「imageFORMULA DR-7090C」をお買い求めいただきありがとうございます。本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご活用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

### マニュアルの構成について

本機のマニュアルは、製品に付属している「簡単スタートガイド」と「ユーザーマニュアル基本操作編」、ソフトウェアのインストールによりプログラムメニューに登録される「ユーザーマニュアル機能詳細編（本書）」、「CapturePerfect3.0 操作ガイド」の電子マニュアルで構成されています。

#### 簡単スタートガイド

本機を使えるようにするまでのセットアップの手順について書かれています。本スタートガイドの手順に従って本機をセットアップしてください。

#### ユーザーマニュアル基本操作編

ユーザーマニュアル機能詳細編（本書）からの抜粋版で、本機の概要と、本機を使用するための基本操作について書かれています。

#### ユーザーマニュアル機能詳細編（本書）

「取扱説明書」と「ソフトウェア使用説明書」、「こんなときは」で構成されています。

「取扱説明書」では、本機のセットアップから取り扱い、メンテナンスなど、本機を取り扱う項目について説明しています。

「ソフトウェア使用説明書」では、スキャナを使用するためのスキャナドライバと、ジョブ登録ツールの設定について説明しています。

「こんなときは」では、本機を使用する際のヒントからトラブルシューティングの説明と、本機の仕様、サポート情報について説明しています。

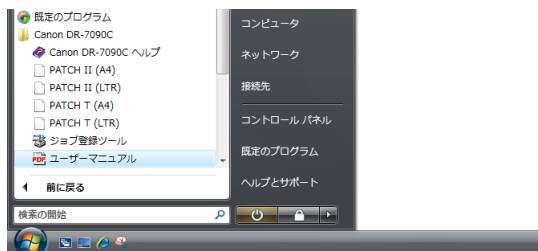
#### CapturePerfect3.0 操作ガイド (電子マニュアル)

キャノンドキュメントスキャナ専用アプリケーション CapturePerfect3.0 の操作マニュアルです。

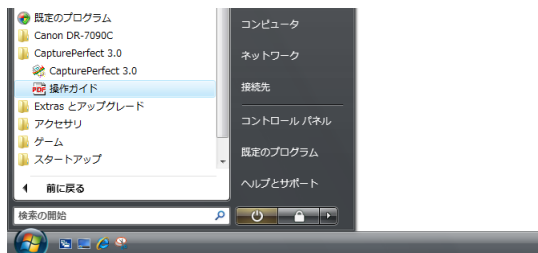
#### ヒント

- ユーザーマニュアル機能詳細編と、CapturePerfect 3.0 操作ガイドの電子マニュアルは、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されています。

#### ユーザーマニュアル機能詳細編



#### CapturePerfect3.0 操作ガイド



- すべてのマニュアルの電子マニュアルは、セットアップ CD から閲覧することができます。(→ P.2-5)

---

## マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.1- xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



### 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



### 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



### 重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



### ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

---

## 本書の構成について

本書の構成は以下のようになっています。

### ■ 取扱説明書

#### 第 1 章 お使いになる前に

DR-7090C の概要について説明します。

#### 第 2 章 セットアップ

DR-7090C を使用するための動作環境と PC との接続について説明します。

#### 第 3 章 基本的な使用方法

DR-7090C の基本的な使用方法について説明します。

#### 第 4 章 ユーザーモード

ユーザーモードやその他の機能について説明します。

#### 第 5 章 メンテナンス

日常の清掃やローラーの交換等について説明します。

### ■ ソフトウェア使用説明書

#### 第 6 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定

ISIS/TWAIN ドライバの設定について説明します。

#### 第 7 章 ジョブ登録ツールの設定

ジョブ登録ツールの設定について説明します。

### ■ こんなときは

#### 第 8 章 こんなときは (ハードウェア編)

メッセージの表示と困ったときの対処方法について説明します。

#### 第 9 章 こんなときは (ソフトウェア編)

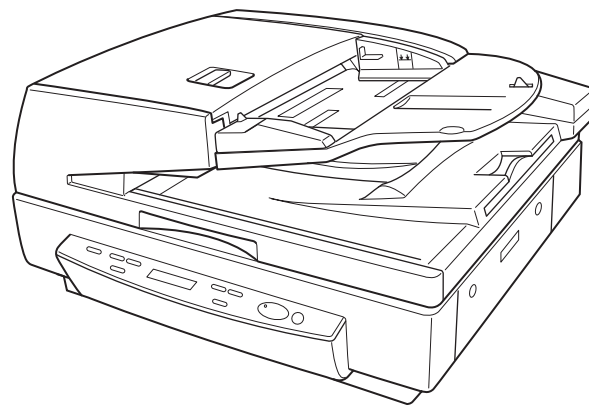
ソフトウェアを設定する際の参考情報について説明します。

#### 第 10 章 付 録

仕様およびサポート情報について説明します。

# ユーザーマニュアル（機能詳細編）

## 取扱説明書



ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

## 目次

はじめに .....	ii
マニュアルの構成について .....	ii
マニュアル内の表記について .....	iii
本書の構成について .....	iii
<b>第 1 章 お使いになる前に</b>	
1. 安全にお使いいただくために .....	1-2
設置場所について .....	1-2
輸送用ビス取り外しの確認 .....	1-2
浮き上がり防止プレートの取り付け .....	1-3
電源について .....	1-3
本体背面のケーブルの確認 .....	1-4
フィーダの開閉について .....	1-4
スキャナの移動 .....	1-5
日常の取り扱いについて .....	1-6
廃棄について .....	1-7
2. 特長 .....	1-8
3. 各部の名称と機能 .....	1-10
フィーダ部 .....	1-10
フラットベッド部 .....	1-10
背面 .....	1-11
操作パネル .....	1-11
<b>第 2 章 セットアップ</b>	
1. セットアップの手順 .....	2-2
2. 動作環境の確認 .....	2-3
3. ソフトウェアのインストール .....	2-4
セットアップメニューについて .....	2-4
4. コンピュータとの接続 .....	2-6
インターフェースコネクタの位置 .....	2-6
USB 接続で使用する場合 .....	2-6
SCSI 接続で使用する場合 .....	2-7
5. 電源のオン（スキャナの認識） .....	2-9
電源スイッチについて .....	2-9
スキャナの認識 .....	2-9

## 第 3 章 基本的な使用方法

1. 原稿について .....	3-2
原稿の種類 .....	3-2
原稿の積載量 .....	3-3
2. 原稿のセットについて .....	3-4
フィーダへの原稿のセットについて .....	3-4
フラットベッドへの原稿のセットについて .....	3-5
3. 給紙方法について .....	3-8
給紙方法について .....	3-8
4. スキャン .....	3-11
ジョブ機能について .....	3-11
CapturePerfect 3.0 について .....	3-14
5. パッチコードシートの利用 .....	3-19
パッチコードシートの使い方 .....	3-20
6. カウントオンリーモード .....	3-21
7. 用紙が詰まったとき .....	3-22
紙づまりの処理 .....	3-22
紙づまりの原因 .....	3-24

## 第 4 章 ユーザーモード

1. ユーザーモードについて .....	4-2
ユーザーモードの機能 .....	4-2
ユーザーモードの設定方法 .....	4-3

## 第 5 章 メンテナンス

1. 日常のお手入れ .....	5-2
クリーニングクロス、クリーニングペーパーに ついて .....	5-2
本体の清掃 .....	5-2
原稿台ガラス / 圧着板の清掃 .....	5-3
フィーダ部の清掃 .....	5-4
電源プラグの清掃 .....	5-9

# 第 1 章 お使いになる前に

1. 安全にお使いいただくために.....	1-2
設置場所について.....	1-2
輸送用ビス取り外しの確認.....	1-2
浮き上がり防止プレートの取り付け.....	1-3
電源について.....	1-3
本体背面のケーブルの確認.....	1-4
フィーダの開閉について.....	1-4
スキャナの移動.....	1-5
日常の取り扱いについて.....	1-6
廃棄について.....	1-7
2. 特長.....	1-8
3. 各部の名称と機能.....	1-10
フィーダ部.....	1-10
フラットベッド部.....	1-10
背面.....	1-11
操作パネル.....	1-11

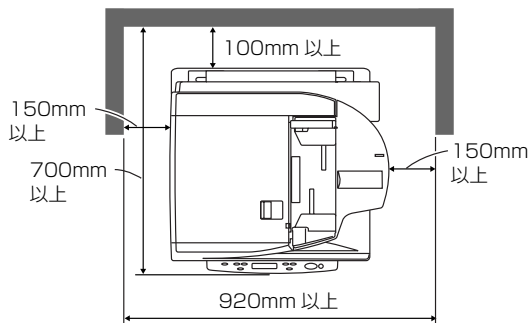
# 1. 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

## 設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。

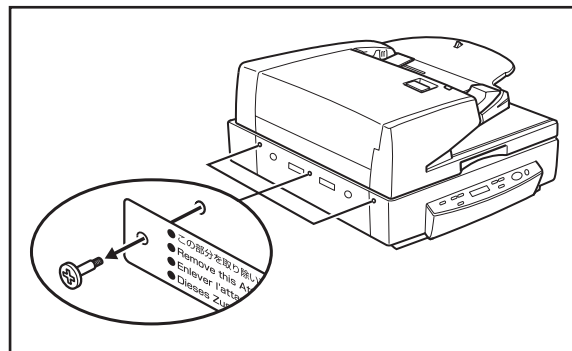


- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりやタバコの煙の多い場所は避けてください。ほこりやタバコの煙は本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。

- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。  
室温 15℃—30℃  
湿度 25%—80%RH
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近くは避けてください。

## 輸送用ビス取り外しの確認

本製品は輸送時の振動等による光学ユニットの破損を防ぐため、出荷時に光学ユニットを3本のビスで固定しています。使用前に、このビスが取り除かれていることを必ず確認してください。



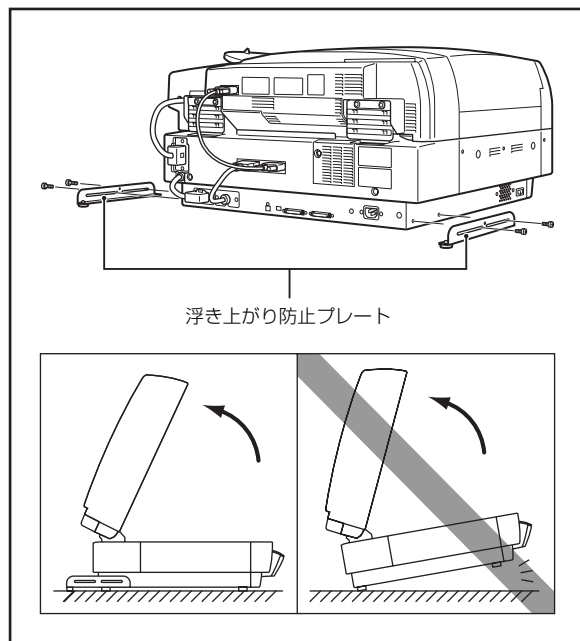
### ⚠ 注意

- 輸送用ビスが取り除かれていない状態でスキャナの電源をオンにすると、エラーコード「E2020001」が表示されます。電源を切り、輸送用ビスをタグと一緒に取り除いてください。
- 輸送用ビスは本機を移動するときに必要です。捨てないで必ず保管してください。



## 浮き上がり防止プレートの取り付け

浮き上がり防止プレートは、フィーダを開いたときに本機の前部が浮き上がることを防止します。本機を使用する前に浮き上がり防止プレートを取り付けてください。

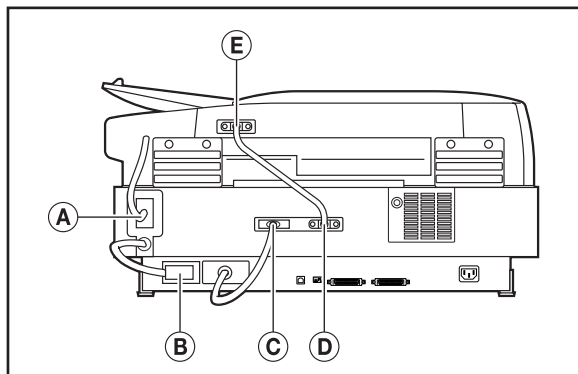


## 電源について

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- 電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたり、テーブルや椅子の足に巻きつけたりしないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。
- 安全のため、必ずアース線を接続してください。アース線は絶対にガス管や水道管には接続しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

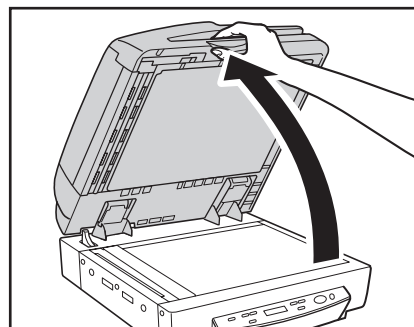
## 本体背面のケーブルの確認

コンピュータと接続する前に本体背面にあるケーブルのコネクタ(A)～(E)の接続が外れていないことを確認してください。

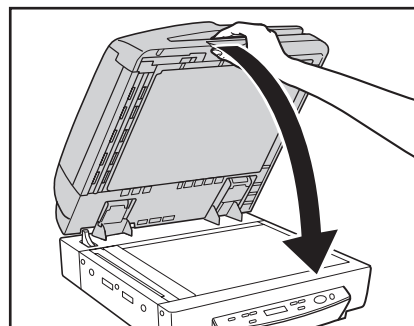


## フィーダの開閉について

- フィーダを開く時は、本機の前面が浮き上がらないように静かに開いてください。



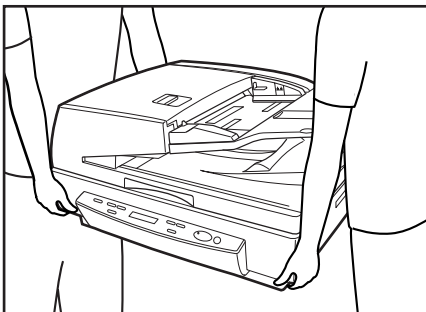
- フィーダを閉じる時は、手を挟まないように静かに閉じてください。



- フィーダを開いたときに本体の手前側が浮き上がらないように、浮き上がり防止プレートを取り付けて使用してください。(→ P.1-3)

## スキャナの移動

- 本製品は、質量が約 41kg あります。本製品を持ち上げたり移動させるときは、必ず両側から 2 人で持ち、絶対に 1 人で持ち上げたりしないでください。落としたり手をはさんだりして大ケガをすることがあります。また、移動の際は十分注意して移動させてください。

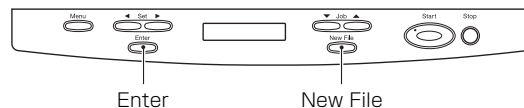


- スキャナを移動する場合は、インターフェイスケーブルや電源コードを必ず外してください。ケーブル類を接続したまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷したり、本体を落としてけがをする原因になります。

## ■ 輸送用ビスの取り付けについて

取り外した輸送用ビス（3 本）は、本製品を移動するとき、光学ユニットを固定するために使用します。このとき、次の手順で光学ユニットを固定位置に戻してから輸送用ビスを取り付けます。

1. 電源コードを接続します。
2. Enter キーと New File キーを押しながら電源スイッチをオンにします。（→ P.1-11）



3. Enter キーと New File キーを押し続け表示パネルに「デンゲンヲ キットクタサイ」が表示されたら電源スイッチをオフにします。

デ`ンゲ`ンヲ キットクタ`サイ

4. 輸送用ビス（3 本）で光学ユニットを固定します。

## 日常の取り扱いについて



### 警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- リール式の延長コードを使用するときは全てのコードを引き出して使用してください。コードをリールに巻き込んだ状態で長時間使用した場合、発熱や火災の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 本機の分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 清掃する箇所によっては電源をオンにした状態で行うことがあります。感電に十分注意して清掃をおこなってください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

■ 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

■ 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ■ 心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本製品から微弱な磁気が発生しています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。



### 注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 通気孔をふさがしないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- スキャナの上には、コップ、花瓶など水の入った容器、クリップ、ステーブルの針、ネックレスなどの金属を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間で使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。
- スキャナの動作中に上部ユニットを開かないでください。故障、けがの原因になります。
- スキャナのコネクタ部のピンや接点部分に直接手で触れないでください。故障の原因になります。
- フィーダを開く時は、本機の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。故障、けがの原因になります。
- フィーダを閉じる時は、手を挟まないように静かに閉じてください。故障、けがの原因になります。
- フラットベッドに厚い本などをセットしてスキャンするときは、フィーダを上から強く押さえ付けしないでください。フラットベッドのガラスが破損して故障、けがの原因になります。
- フラットベッドのガラスの上には、スキャンする原稿以外のものを乗せないでください。故障、けがの原因になります。

---

## 廃棄について

- 本機および付属品を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。

## 2. 特長

本機の主な特長は以下のとおりです。

### スキャナ本体の特長

- **高速スキャン**  
フィーダにより A4 サイズの原稿を、最大 70 枚/分の高速でスキャンします。
- **両面同時スキャン**  
フィーダで両面原稿を読み取る場合、おもて面と裏面を同時に読み取ります。  
ユーザーモードで長尺モードを [ON] にした場合は、おもて面と裏面を片面ずつ読み取ります。(→ P.4-2 「ユーザーモードについて」)
- **フラットベッド**  
薄紙やすべりの悪い原稿、雑誌や綴じられた原稿など、フィーダで読み取ることのできない原稿をフラットベッドで読み取ります。
- **100 枚給紙**  
給紙トレイには、普通紙で最大 100 枚の原稿を一度にセットできます。
- **多様な読み取りモード**  
読み取りモードとして、「白黒」、「誤差拡散」、「アドバンステキストエンハンスメント」、「アドバンステキストエンハンスメント II」、「256 階調グレー」、「24 ビットカラー」の 6 種類の読み取りモードが用意されています。  
\* アドバンステキストエンハンスメントは、原稿の背景や地色を処理して文字を読みやすくするモードです。
- **カウントオンリーモード**  
スキャナ単体で動作し、セットした原稿の枚数をカウントします。(→ P.3-21 「カウントオンリーモード」)
- **長尺モード**  
ユーザーモードの設定により、最大 630mm までの長さの原稿を自動サイズ検知でスキャンすることができます。(→ P.4-2 「ユーザーモードの機能」)

- **ジョブ機能**  
スキャン条件、画像ファイルの保存先をジョブに登録し、操作パネルのキー操作のみでスキャンを実行することができます。  
(→ P.3-11 「ジョブ機能について」)
- **ユーザーモード**  
ユーザーモードの各機能により、スキャナの機能を任意に変更することができます。(→ P.4-2 「ユーザーモードについて」)

### 検知機能

- **自動原稿サイズ検知**  
スキャンした原稿のサイズを検知してスキャンします。



定型サイズでスキャン

自動サイズ検知でスキャン

- **文字向き検知**  
原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を 90 度単位で回転します。



横向きの原稿  
(縦置きでスキャン)

文字向きを検知した画像

### 重要

文字向き検知機能は原稿の種類によっては機能しない場合があります。

## 画像処理

### ● 斜行補正

スキャンした画像から原稿が斜めに搬送されたと判断したときに、画像をまっすぐに補正します。

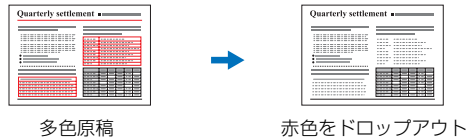


### ! 重要

原稿の一部分の領域を指定してスキャンした場合、斜行補正が正しく機能しない場合があります。

### ● ドロップアウト / 色強調機能

スキャン時に赤、青、緑色から 1 色を指定して読み取らないようにするドロップアウト機能または、指定した色を強調する機能を備えています。



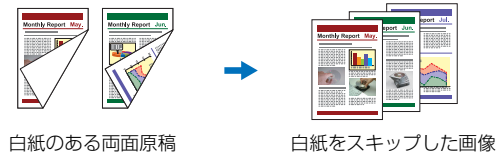
### ● バインダ穴除去

バインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分を除去します。



### ● 白紙スキップ

原稿の両面をスキャンして、白紙として判断した面の画像の保存をスキップします。



### ● マルチストリーム機能

用途に合わせて読み取り条件の異なる 2 つの画像を 1 回のスキャンで同時に出力することのできるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能は本機に付属している「CapturePerfect3.0」または、お使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合にのみ使用できます。



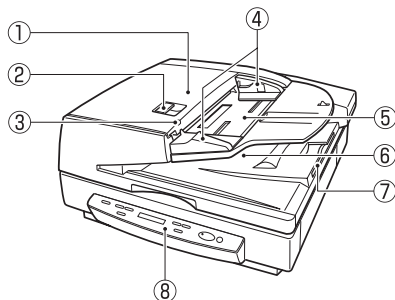
### ● パッチコード対応

原稿内に挿入されたパッチコードシートを検知してパッチ区切りを行うことができます。(→ P.3-19「パッチコードシートの利用」)

### 3. 各部の名称と機能

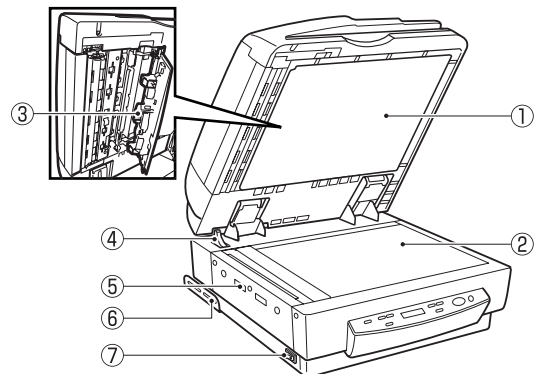
各部の名称と機能は以下のとおりです。

#### フィーダ部



- ① **フィーダカバー**  
原稿が詰まったときやローラの清掃時に開きます。  
(→ P.5-4、3-22)
- ② **開閉レバー**  
フィーダカバーの開閉レバー。
- ③ **原稿セット表示**  
原稿給紙トレイに原稿がセットされると点灯します。  
(→ P.3-4) また、紙詰まりが起きたときには点滅状態になります。(→ P.3-22)
- ④ **スライドガイド**  
原稿サイズラベルに合わせて位置を調整します。  
(→ P.3-4)
- ⑤ **原稿給紙トレイ**  
原稿をセットします。(→ P.3-4)
- ⑥ **原稿排紙トレイ**  
読み取った原稿が排紙されます。排紙された原稿は、原稿給紙トレイを上へ上げて取り除きます。(→ P.3-5)
- ⑦ **排紙補助トレイ**
- ⑧ **操作パネル** (→ P.1-11)

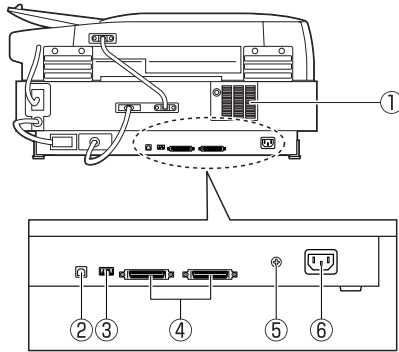
#### フラットベッド部



- ① **圧着板 (黒)**  
フラットベッドに置いた原稿を押さええます。(→ P.3-5)
- ② **フラットベッド (原稿台ガラス)**  
原稿を左奥の矢印マークに合わせてセットします。  
(→ P.3-5)
- ③ **読み取り部清掃具**  
フィーダ内の読み取り部を清掃するときに使用します。  
(→ P.5-7)
- ④ **開閉検知センサ**  
フィーダの開閉を検知します。(→ P.3-5)
- ⑤ **通気孔**
- ⑥ **浮き上がり防止プレート**  
フィーダを開いたときに本機の前部が浮き上がることを防止します。(→ P.1-3)
- ⑦ **電源スイッチ** (→ P.2-9)



## 背面

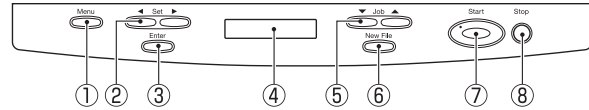


- ① 通気孔
- ② USB コネクタ  
Hi-Speed USB2.0 に対応した USB ケーブルを接続します。(→ P.2-6)
- ③ ディップスイッチ  
SCSI ID およびターミネータのオン / オフを設定します。(→ P.2-7)
- ④ SCSI コネクタ  
SCSI ケーブル：ハーフピッチ 50 ピン（ピンタイプ）を接続します。(→ P.2-7)
- ⑤ アース端子  
同梱のアース線を接続します。(→ P.2-6)
- ⑥ 電源コネクタ  
同梱の電源コードを接続します。

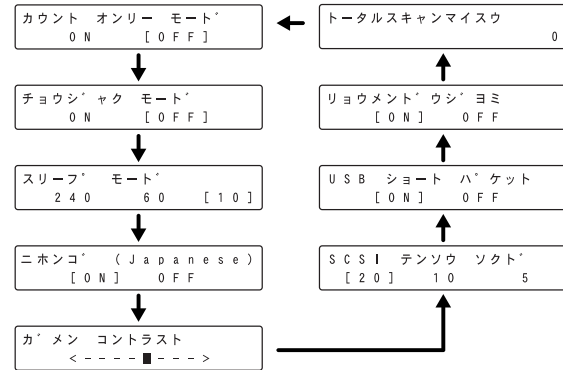
### ⚠ 注意

- 背面にあるケーブル類には手を触れないでください。ケーブルが外れた場合、本機の故障の原因になります。
- 通気孔をふさがないでください。スキャナの内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

## 操作パネル



- ① Menu キー  
このキーを押すと、表示パネルにユーザーモードが表示され、繰り返し押すと、ユーザーモードが切り替わります。(→ P.4-2 「ユーザーモードについて」)



- ② Set キー  
ユーザーモードの設定を変更します。(→ P.4-3)
- ③ Enter キー  
ユーザーモードの変更を確定します。(→ P.4-3)
- ④ 表示パネル  
スキャンした原稿の枚数やエラーコードなどが表示されます。
- ⑤ Job キー  
登録されているジョブ (01 ~ 99) を表示します。  
(→ P.3-11 「ジョブ機能について」) ジョブが表示された状態で Start キーを押すと、原稿の読み取りが行われ、読み取った画像がジョブに登録された送信先に送られます。

**⑥ New File キー**

アプリケーションが「バッチ区切り」に対応している場合に有効です。このキーを押して、またはアプリケーションのバッチ区切り設定によりこのキーが点灯します。この状態で次の原稿をスキャンすると、スキャン結果の画像が前の原稿とは別のファイルやフォルダに保存されます。

**⑦ Start キー**

Count Only キーまたはアプリケーションの設定で Start キーが有効になると LED が点灯します。このとき Start キーを押してスキャンを開始します。

**⑧ Stop キー**

スキャンを途中で停止させます。  
設定したモードの解除や、カウンタ表示部のエラー表示を解除するときにも使用します。

## 第2章 セットアップ

1. セットアップの手順 .....	2-2
2. 動作環境の確認 .....	2-3
3. ソフトウェアのインストール .....	2-4
セットアップメニューについて .....	2-4
4. コンピュータとの接続 .....	2-6
インターフェースコネクタの位置 .....	2-6
USB 接続で使用する場合 .....	2-6
SCSI 接続で使用する場合 .....	2-7
5. 電源のオン（スキャナの認識） .....	2-9
電源スイッチについて .....	2-9
スキャナの認識 .....	2-9

# 1. セットアップの手順

本機を使用するためには以下の手順に従ってソフトウェアをセットアップしてください。

手順 1：動作環境の確認 (→ P.2-3)

手順 2：ソフトウェアのインストール (→ P.2-4)

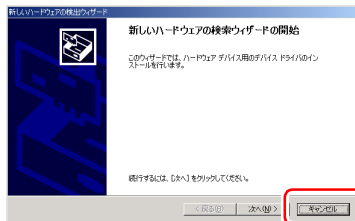
手順 3：コンピュータとの接続 (→ P.2-6)

手順 4：電源のオン (スキャナの認識) (→ P.2-9)

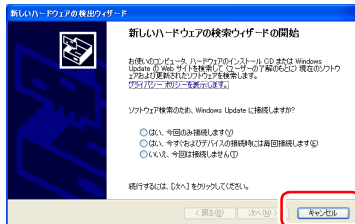
## 重要

- コンピュータとの接続は、必ずソフトウェアをインストールした後に行ってください。
- ソフトウェアをインストールする前にスキャナを接続し、スキャナの電源をオンにすると以下のウィザード画面が表示されます。この場合、[キャンセル] ボタンをクリックしてウィザード画面を終了させてからスキャナの電源をオフにします。

### Windows 2000



### Windows XP



### Windows Vista



## 2. 動作環境の確認

本書に記載されている仕様を満たし、DR-7090C を快適にお使いいただくためには次のシステム要件を推奨します。

### ■ オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 2000 Professional SP4 以上
- Microsoft Windows XP Professional SP3 以上
- Microsoft Windows XP Home Edition SP3 以上
- Microsoft Windows XP Professional x64 Edition SP2 以上
- Microsoft Windows Vista Home basic/Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise SP1 以上
- Microsoft Windows 7



#### ヒント

Microsoft Windows Vista は、32 ビット版、64 ビット版で動作します。

### ■ パーソナルコンピュータ

- CPU : Pentium4 3.2GHz 以上
- メモリ : 1GB 以上
- ハードディスク : 1GB 以上の空き容量
- CD-ROM ドライブ
- インタフェース : コンピュータに標準搭載された USB ポート (Hi-Speed USB 2.0) または、拡張 SCSI カード
- モニタ : 解像度 1024 × 768(XGA) 以上

### ■ 拡張 SCSI カードは、本機が推奨する以下の SCSI カードをお使いください。

Adaptec 社製 SCSI カード (PCI バス用)

- AHA-2930U
- AHA-2940AU
- ASC-19160

Adaptec 社製 SCSI カード (Card bus 用)

- APA-1480

### ■ 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。

### ! 重要

- お使いのコンピュータのシステム要件が不明な場合には、コンピュータをお買い求めになった販売店または、コンピュータメーカーのサポート窓口にお問い合わせください。
- USB ケーブルと SCSI ケーブルは同時に接続しないでください。
- コンピュータに標準搭載の USB ポートに接続して使用する場合、以下の点に注意してください。
  - USB インタフェースは Hi-Speed USB 2.0 インタフェースを使用してください。
  - コンピュータに標準装備された USB ポートが USB Full-Speed (USB 1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。この場合、SCSI カードでのご使用をお勧めします。
  - USB2.0 ドライバはマイクロソフト社から提供されている最新のドライバをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
  - コンピュータに標準装備されたすべての USB インタフェースにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
  - USB ケーブルは、同梱品または Hi-Speed USB2.0 対応のケーブルをお使いください。
- SCSI カードで使用する場合、以下の点に注意してください。
  - SCSI カードのコンピュータへの取り付けは、必ずお使いの SCSI カードおよびコンピュータの取扱説明書に記載されている手順にしたがって行ってください。
  - 使用できる SCSI ケーブルの総延長は、SCSI の規格によって決められています。詳細は、お使いの SCSI カードの取扱説明書を参照してください。
- CPU、メモリ、インタフェースカード等、コンピュータの推奨仕様を満たさない場合、スキャン速度が大幅に低下したり転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピュータの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されている ISIS/TWAIN ドライバは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

## 3. ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストールについて説明します。

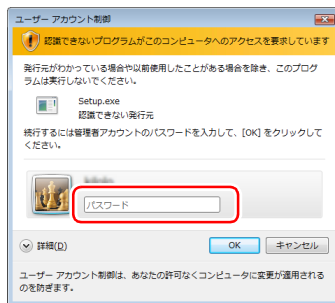
### セットアップメニューについて

本機に同梱されているセットアップディスクを CD ドライブにセットすると、以下のメニュー画面が起動します。セットアップディスクを CD ドライブにセットしてもメニュー画面が起動しないときは、エクスプローラからセットアップディスクを開き、「SETUP.EXE」を実行してください。



#### 重要

- ソフトウェアをインストールするときは、必ず Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。
- Windows Vista をお使いの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。この場合、Administrator 権限でログインしているユーザーのパスワードを入力して [OK] をクリックしてください。



### ■「おまかせインストール」画面

メニュー画面の「おまかせインストール」をクリックした時に表示される画面で、[インストール] ボタンをクリックすると表示されているすべてのソフトウェアのインストールを実行します。

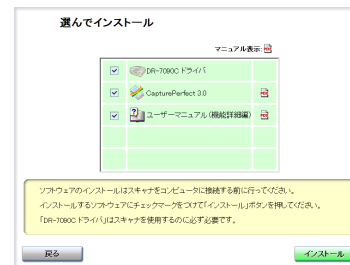


#### ヒント

おまかせインストールの手順については、別冊の「簡単スタートガイド」を参照してください。

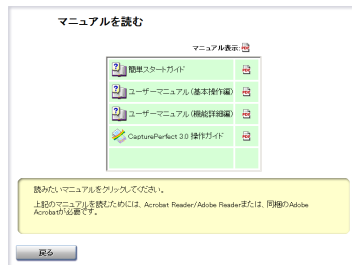
### ■「選んでインストール」画面

メニュー画面の「選んでインストール」をクリックした時に表示される画面で、ソフトウェアを選択してチェックします。[インストール] ボタンをクリックするとチェックしたソフトウェアのインストールが実行されます。



## ■「マニュアルを読む」画面

本製品に同梱されている「簡単スタートガイド」と「ユーザーマニュアル基本操作編」の電子マニュアルと、電子マニュアルで用意されている「ユーザーマニュアル機能詳細編（本書）」と「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を閲覧するための画面です。

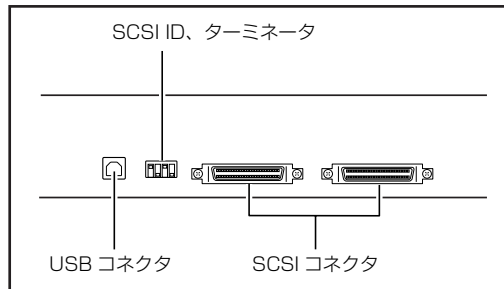


## 4. コンピュータとの接続

本機とコンピュータを接続する方法としてコンピュータに標準装備されている USB ポートを使用する「USB 接続」と、コンピュータの拡張スロットに SCSI カードを装着して使用する「SCSI 接続」の 2 つの接続方法があります。お使いのコンピュータの環境にあわせて接続方法を選択してください。

### インターフェースコネクタの位置

USB コネクタおよび SCSI コネクタは背面の以下の場所に配置されています

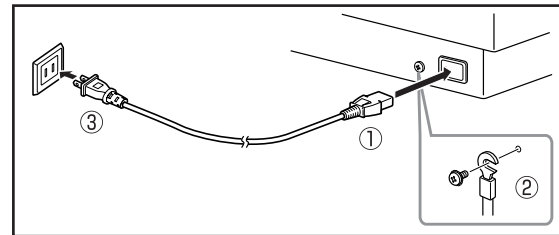


#### 重要

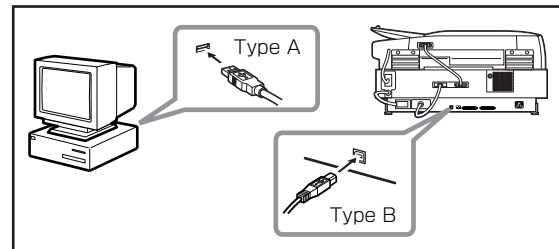
- USB ケーブルと、SCSI ケーブルは同時に接続しないでください。
- 電源コード、アースコードは必ず付属品をお使いください。
- コンピュータとの接続はスキャナとコンピュータの電源がオフの状態で行ってください。
- SCSI ケーブルで接続する場合は、コンピュータの電源をオフにしてから行ってください。コンピュータの電源をオンにしたまま本機を接続すると、本機の認識が正常に行われません。
- SCSI ケーブルは付属されていません。本機と SCSI カードのコネクタ形状に適合した SCSI ケーブルを用意してください。
- アースコードを接続する際は、絶対にガス管や水道管には接続しないでください。スキャナ使用時に引火や爆発および感電の恐れがあります。

### USB 接続で使用する場合

1. 付属の電源コードを本体背面の電源コネクタに差し込みます。(①)
2. 本体背面のアース端子のビスをゆるめ、付属のアースコードを接続します。(②)
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。(③)



4. 付属の USB ケーブルでコンピュータと接続します。  
USB ケーブルは、四角いプラグ (Type B) をスキャナ側に差し込みます。



#### 警告

USB インターフェースで使用する場合、SCSI ターミネータは ON にしてお使いください。SCSI ターミネータが OFF になっていると正常にスキャンすることができない場合があります。

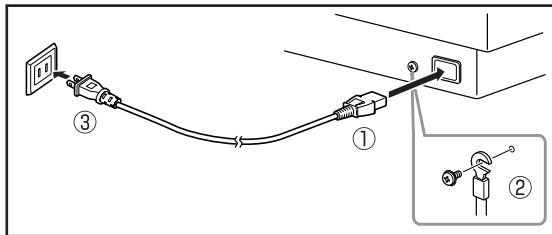


## SCSI 接続で使用する場合

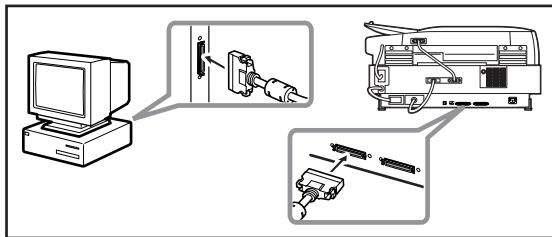
### ! 重要

SCSI ケーブルで接続するときは、必ずコンピュータの電源をオフにしてください。コンピュータの電源をオンにした状態でスキャナを接続すると、コンピュータがスキャナを正常に認識できない場合があります。

1. Windows をシャットダウンしてコンピュータの電源をオフにします。
2. 付属の電源コードを本体背面の電源コネクタに差し込みます。(①)
3. 本体背面のアース端子のビスをゆるめ、付属のアースコードを接続します。(②)
4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。(③)



5. 用意した SCSI ケーブルでコンピュータと接続します。



## ■ SCSI ID とターミネータの設定

SCSI コネクタと電源コネクタの間にあるディップスイッチで、SCSI ID とターミネータを設定します。ディップスイッチの設定は、スイッチを上にするると [OFF] になり、スイッチを下にするると [ON] になります。

SCSI ID	SW1	SW2	SW3
0	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF
3	ON	ON	OFF
4	OFF	OFF	ON
5	ON	OFF	ON
6	OFF	ON	ON
7	ON	ON	ON

SCSI ID は上の表を参考にして設定してください。他の SCSI 機器がコンピュータに接続および内蔵されている場合は、SCSI ID が重ならないように注意してください。

### ! 重要

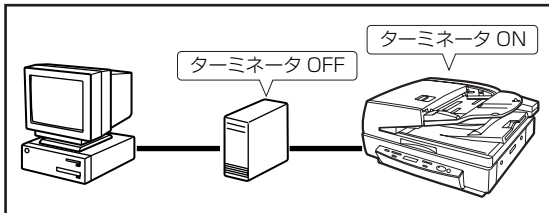
- SCSI ID は、出荷時の状態では「2」に設定されています。
- SCSI ID は、0～7が設定できますが、通常7はSCSIコントローラに割り当てられていますので使用しないでください。また、SCSI 接続のハードディスクが内蔵されている場合、通常0と1はハードディスクに割り当てられていますので使用しないでください。

ターミネータは、デジチェーン接続された最後のSCSI機器のターミネータを ON にします。

<コンピュータとスキャナのみを接続した場合や、デ  
ィジーチェーンの最後にスキャナがある場合>

ターミネータスイッチを ON にします。

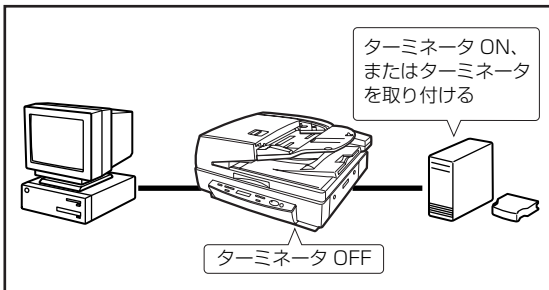
このとき、途中の SCSI 機器のターミネータは必ず OFF に  
してください。



<他の SCSI 機器がディジーチェーンの最後になっている  
場合>

スキャナのターミネータスイッチを OFF にします。

このとき、最後に接続した SCSI 機器のターミネータを ON  
にします。



**!** 注意

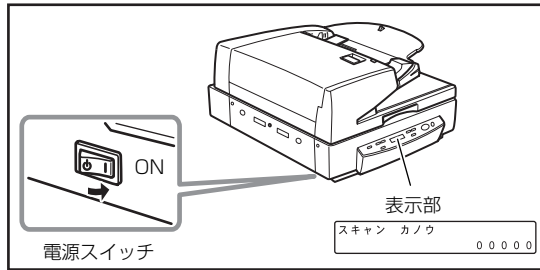
本機をディジーチェーンの最後にしたときのターミネータの設定  
は、必ずディップスイッチか、ターミネータプラグのどちらかで  
行ってください。ディップスイッチが ON の状態でターミネータプ  
ラグを使用すると誤動作を起こす場合がありますので注意して  
ください。

## 5. 電源のオン（スキャナの認識）

本機の電源をオンにしてコンピュータの電源をオンにすると、プラグアンドプレイ機能により Windows が本機を認識し、デバイスドライバのインストールを自動で行います。

### 電源スイッチについて

電源スイッチは本機の側面下部にあり、電源スイッチをオンにすると表示部が以下の表示になります。（→ P.8-2）



#### 重要

- SCSI ケーブルで接続している場合は、必ずスキャナ→コンピュータの順に電源をオンにしてください。コンピュータの電源を先にオンにするとスキャナを正常に認識できない場合があります。
- 電源をオフにするときは、電源スイッチを再度押してオフにします。
- 電源をオフし、再度電源をオンするときは 10 秒以上待ってから電源をオンにしてください。
- 長時間で使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### スキャナの認識

スキャナの認識は、本機をコンピュータに初めて接続した時に実行されます。

1. 本機とコンピュータの接続を確認します。
2. 本機の電源をオンにします。
3. コンピュータの電源をオンにします。
4. Administrator 権限のアカウントで Windows にログオンします。
5. Windows が新しいハードウェアとして本機を認識し、インストールを自動で行い、完了します。

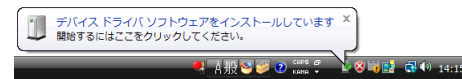
#### Windows 2000



#### Windows XP

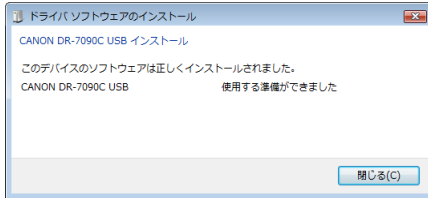


#### Windows Vista



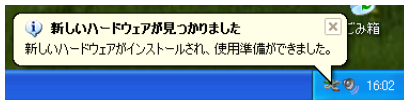
### ヒント

- Windows Vista の場合、バルーンヘルプに表示される「開始するにはここをクリックしてください。」のメッセージに関わらずインストールを実行して完了します。「開始するにはここをクリックしてください。」をクリックするとインストールの進捗を表示します。



- Windows XP、Windows Vista では、インストールが完了するとバルーンヘルプにインストール完了のメッセージが表示されます。

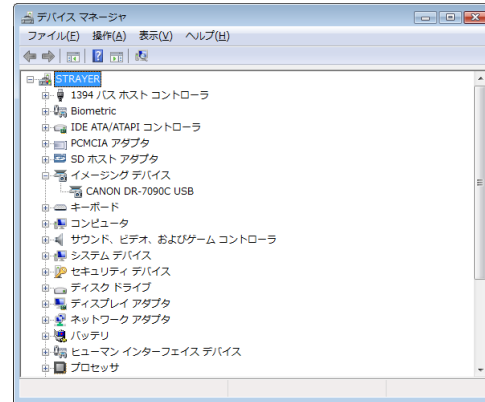
### Windows XP



### Windows Vista



- DR-7090C は、デバイスマネージャの「イメージングデバイス」に [CANON DR-7090C USB] または、[CANON DR-7090C SCSI] の名称で登録されます。



- デバイスマネージャは、コントロールパネルから以下の手順で表示させます。
  - Windows 2000 の場合、[システム] を開き、「ハードウェア」タブにある [デバイスマネージャ] をクリックします。
  - Windows XP の場合、最初にコントロールパネルをクラシック表示に切り替えて [システム] を表示させます。その後 [システム] を開き、「ハードウェア」タブにある [デバイスマネージャ] をクリックします。
  - Windows Vista の場合、[システムメンテナンス] を開き [デバイスマネージャ] をクリックします。または、コントロールパネルをクラシック表示にして [デバイスマネージャ] をクリックします。

## 第 3 章 基本的な使用方法

1. 原稿について .....	3-2
原稿の種類 .....	3-2
原稿の積載量 .....	3-3
2. 原稿のセットについて .....	3-4
フィーダへの原稿のセットについて .....	3-4
フラットベッドへの原稿のセットについて .....	3-5
3. 給紙方法について .....	3-8
給紙方法について .....	3-8
4. スキャン .....	3-11
ジョブ機能について .....	3-11
CapturePerfect 3.0 について .....	3-14
5. パッチコードシートの利用 .....	3-19
パッチコードシートの使い方 .....	3-20
6. カウントオンリーモード .....	3-21
7. 用紙が詰まったとき .....	3-22
紙づまりの処理 .....	3-22
紙づまりの原因 .....	3-24

# 1. 原稿について

ここでは、フィーダにセットできる原稿の種類について説明します。



## 注意

原稿は慎重に取り扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

## 原稿の種類

フィーダ部に給紙できる原稿のサイズは次のとおりです。

幅： 139.7～298.1mm

長さ： 128～431.8mm（通常モード）  
128～630mm（長尺モード）

厚さ： 白黒原稿の場合

- 片面原稿 42～128g/m<sup>2</sup> (0.06～0.15mm)
- 両面原稿 50～128g/m<sup>2</sup> (0.07～0.15mm)
- 白黒/カラー原稿混載時 50～128g/m<sup>2</sup> (0.07～0.15mm)

カラー原稿の場合

- 64～128g/m<sup>2</sup> (0.08～0.15mm)
- 432mmを超える原稿
- 60～90g/m<sup>2</sup>

スキャンする原稿によっては、次のような注意が必要です。

- 長尺紙をスキャンする場合は、ユーザーモードで「チョウジャクモード」を「オン」にして1枚ずつスキャンしてください。（→ P.4-2「ユーザーモードについて」）
- インクが乾いていない原稿をスキャンすると、内部が汚れたりつまったりして故障の原因になります。必ず乾かしてからスキャンしてください。
- 鉛筆などで書かれた原稿をスキャンすると、鉛筆の文字が消えたり、ローラーが汚れて他の原稿を汚したりすることがあります。このような原稿の場合は、複写機でコピーしたものをスキャンしてください。万一、このような原稿をスキャンした場合には、スキャンしたあとにローラーの清掃を必ず行ってください。（→ P.5-4「フィーダ部の清掃」）
- 薄い紙の両面原稿をスキャンすると裏うつりすることがあります。読み取り明さを調整してください。

- すべりが悪い原稿をスキャンすると、摩擦で搬送エラーが起こることがあります。その場合は、読み取り面の設定を「フラットベッド」にし、1枚ずつスキャンしてください。
- 感圧紙の束をスキャンするときは、原稿をよくさばいてからスキャンしてください。また、搬送エラーが起こる場合は、読み取り面の設定を「フラットベッド」にし、1枚ずつスキャンしてください。
- 次のような原稿をスキャンすると、紙づまりや原稿の破損、およびスキャナの故障の原因になりますので注意してください。このような原稿の場合は、フラットベッドで1枚ずつスキャンしてください。



しわや折り目が入っている。



裏カーボン紙。



カール（巻き付け）がある。



表面がコーティングされている。



破れている。



極端に薄い。



クリップやステイブルの針が付いている。



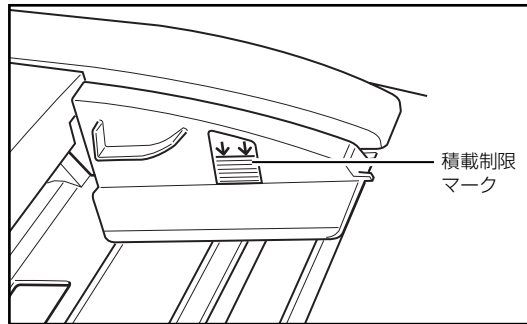
## ヒント

- 紙厚、サイズの異なる原稿を混載した場合、搬送に支障をきたすこともありますので、ご注意ください。
- 原稿の端から5mm以内に文字・絵がある場合や、地色のついた原稿の場合、斜行補正・自動サイズ検知の誤検知が発生することがあります。

## 原稿の積載量

フィーダ部に給紙できる原稿のサイズは次のとおりです。

- フィーダ部の積載制限マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- フィーダ部に原稿をセットできる枚数は一般的なコピー用紙（80g/m<sup>2</sup>）で約100枚です。



## 2. 原稿のセットについて

ここでは、フィーダおよびフラットベッドへの原稿のセットについて説明します。

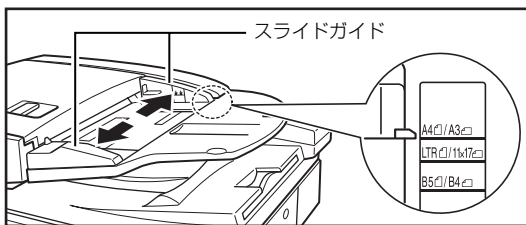
### ⚠ 注意

原稿は慎重に取り扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

### フィーダへの原稿のセットについて

原稿をフィーダ部にセットする場合、次の手順で行ないます。

1. スライドガイドの凸部を原稿サイズラベルの位置に合わせます。

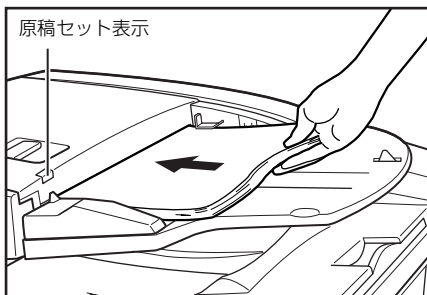


### ! 重要

スライドガイドは必ず左右のガイドを両手で操作してください。片方のガイドだけで操作した場合、故障の原因になります。

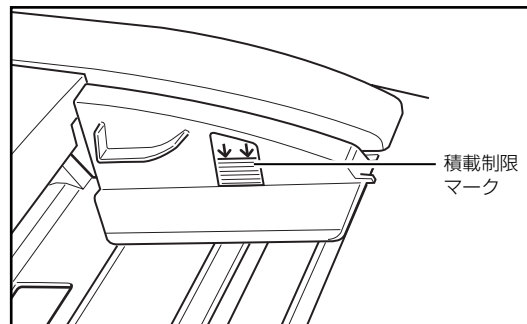
2. 原稿をそろえ、読み込む面を上向きにして原稿給紙トレイの上にセットします。

原稿は、原稿セット表示が点灯するまで奥までつき当ててください。

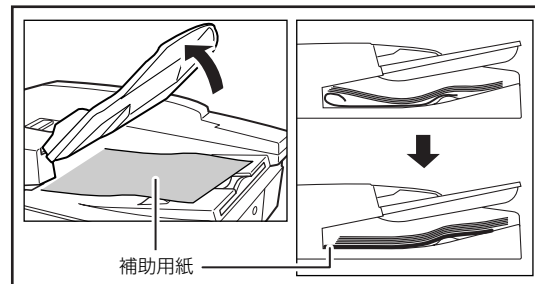


### ! 重要

- フィーダ部の積載制限マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- フィーダ部に原稿をセットできる枚数は一般的なコピー用紙 (80g/m<sup>2</sup>) で約 100 枚です。

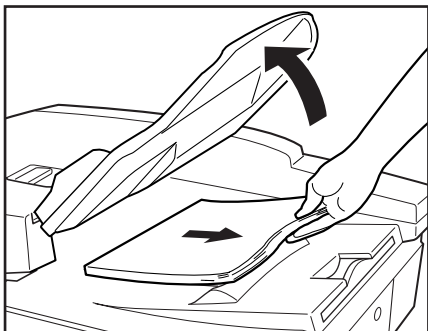


- A3などの大きいサイズの感圧紙や非常に紙厚の薄い原稿の場合、まれに排紙部で原稿が引っ掛かり、丸まることがあります。このようなときは、原稿が引っ掛からないように排紙トレイに補助用紙を置いて、読み取りを行なってください。





3. 読み取りが終了したら給紙トレイを持ち上げて原稿を取り除きます。



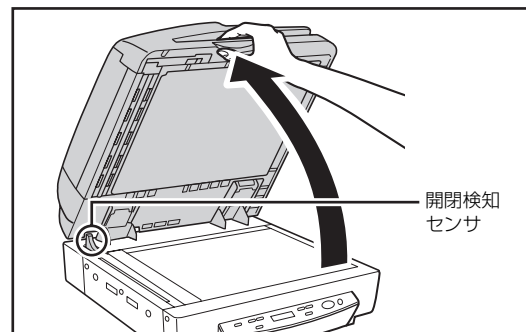
**！重要**

- 読み込みが終了した原稿は、順次排紙トレイから取り除いてください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。
- 給紙トレイは必要以上に持ち上げないでください。無理に持ち上げると破損の原因になります。

## フラットベッドへの原稿のセットについて

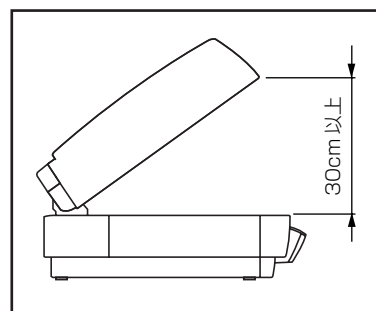
ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどフィーダ部でスキャンできない原稿を読み込む場合は、フラットベッドに原稿をセットしてスキャンします。

1. フィーダを開きます。

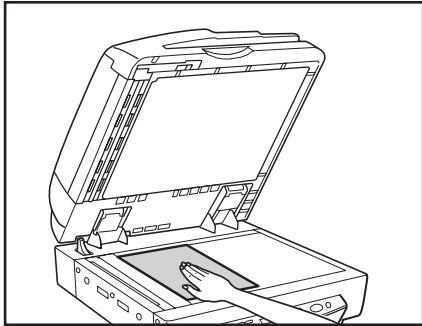


**！重要**

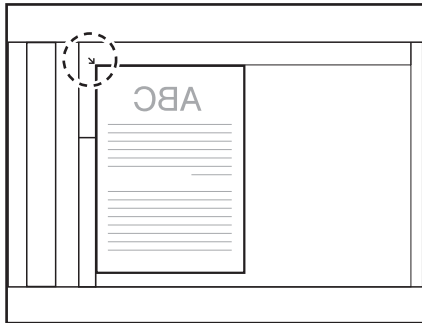
- フィーダはスキャナ本体の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。
- 本機にはフィーダの開閉検知センサが装着されています。原稿台ガラスに原稿をセットする場合には、フィーダをセンサから離れる位置まで（約 30cm）開いてください。



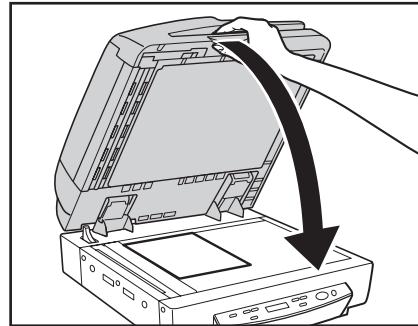
## 2. 読み込む面を下にして、原稿をセットします。



原稿は読み込む面を下にして、原稿台ガラス面の左奥（矢印マーク）に原稿の角を合わせてセットします。



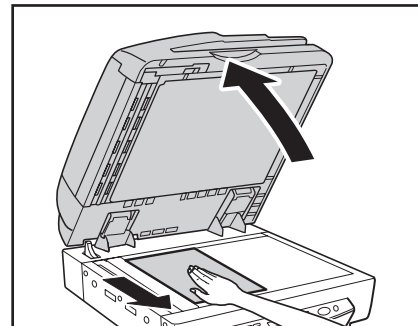
## 3. フィーダを静かに閉じます。



**!** 注意

- フィーダは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- 厚いブック原稿などをフィーダで強く押さないでください。原稿台ガラスが破損して、負傷する恐れがあります。

## 4. フィーダを開き、読み取りが終了した原稿を原稿台から取り除きます。



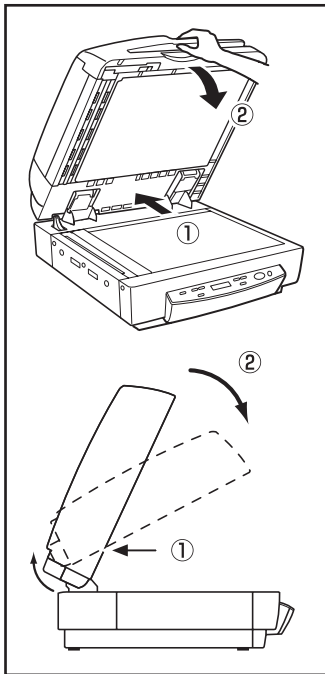
**!** 重要

フィーダはスキャナ本体の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。

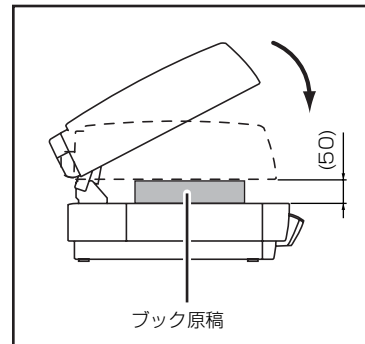
 ヒント

厚いブック原稿などを原稿台ガラスにセットするときは、フィーダを開いたままスキャンを行なうか、以下の手順でフィーダを操作してください。

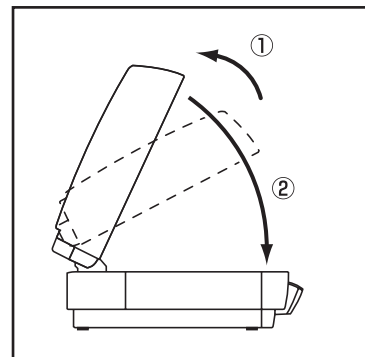
1. フィーダを開きます。
2. フィーダの下部を手で押し込みながら ①、フィーダを手前に倒します。②



3. ブック原稿をセットして、フィーダを手で押さえながらスキャンします。



4. フィーダを元に戻す場合は、フィーダをいっぱいに関き ①、そのまま静かに閉じます。②



## 3. 給紙方法について

ここでは、給紙方法の違いによる基本的なスキャンの手順について説明します。

### ⚠ 注意

- スキャナを操作するときは、ゆったりとした服装は避け、装飾品など操作中のスキャナに引っ掛かりそうなものを身につけないでください。スキャナに巻き込まれてけがの原因になることがあります。とくにネクタイや長い髪などはご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて機械を停止してください。
- 原稿をセットする前に、クリップやステイブルの針などが紛れ込んでいないかどうか必ず確認してください。万一紛れ込んでいると、原稿の破損、紙づまり、スキャナの故障の原因になります。
- スキャン中は、フィーダカバーに手を触れないでください。原稿の破損、紙づまり、スキャナの故障の原因になります。

### 給紙方法について

給紙方法には以下の3種類があり、スキャナの設定画面の **給紙オプション** (→ P.6-16) で選択します。原稿をスキャンする手順は、給紙方法によって異なります。

#### 標準給紙 (→ P.3-8)

スキャンの開始/終了をアプリケーションから指示する給紙方法です。

原稿をセットした状態で、コンピュータからスキャン開始の指示をするとスキャンが始まります。

#### パネル給紙 (→ P.3-9)

フィーダで原稿を続けてスキャンする場合や、ブック原稿などを1枚ずつめくりながらスキャンするときなどに便利な給紙方法で、原稿をセットしたらスキャナ本体の Start キーを押してスキャンを開始します。

原稿のスキャンが終わったら、次の原稿をセットして Start キーを押すと、スキャンが継続されます。

#### 自動給紙 (→ P.3-10)

フィーダで原稿の束を続けてスキャンする場合などに便利な給紙方法で、給紙トレイに置かれた原稿をスキャナが検知すると自動的にスキャンが開始されます。

原稿台の原稿が無くなるとスキャンが中断し、次の原稿の束をセットするとスキャンが継続されます。

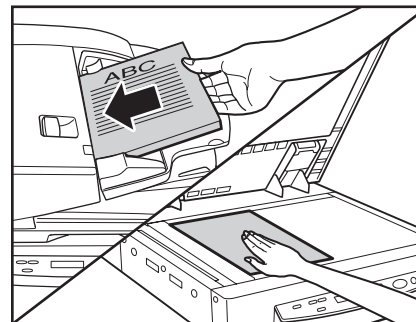
### 💡 ヒント

- フラットベッドを使用するときはスキャナの設定画面で読み取り面を [フラットベッド] または [自動] にします。
- スキャナの設定画面で読み取り面を [自動] に設定した場合、フィーダに原稿がセットされているとフィーダの原稿をスキャンし、フィーダに原稿がないときはフラットベッドをスキャンします。

### ■ 標準給紙

標準給紙では、スキャンの開始/終了をアプリケーションからの指示で行ないます。

1. スキャナの設定画面で、給紙オプションを [標準給紙] に設定します。
2. 原稿をセットします。



**！重要**

原稿のセット方法については 3-4 ページ「原稿のセットについて」を参照してください。

3. アプリケーションでスキャン開始の指示をします。  
スキャンが始まります。
4. 原稿をスキャンするとアプリケーションが待機状態になります。

**💡 ヒント**

読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。

5. さらに原稿がある場合は、原稿をセットして、アプリケーションでスキャン 継続の指示をします。スキャンを終了する場合は、スキャン中止の指示をします。

**！重要**

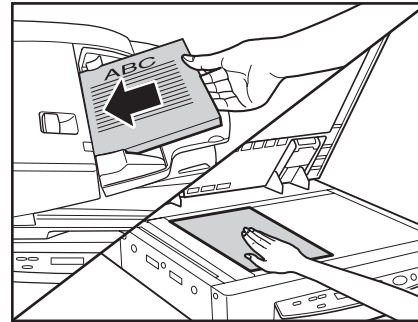
フィーダでスキャンする場合、排紙トレイに残っている原稿を取り除いてからスキャンを行なってください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。

**■ パネル給紙**

パネル給紙では、アプリケーションでスキャンの開始を指示した後、スキャナの Start/Stop キーによりスキャンを行います。

1. スキャナの設定画面で、給紙オプションを [パネルで給紙] に設定します。
2. アプリケーションでスキャン開始の指示をします。  
Start キーのランプが緑になります。

3. 原稿をセットします。

**！重要**

原稿のセット方法については 3-4 ページ「原稿のセットについて」を参照してください。

4. Start キーを押します。
5. 原稿をスキャンすると待機状態になります。

**💡 ヒント**

読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。

6. 残りの原稿がある場合は、原稿をセットして、Start キーを押します。スキャンを終了する場合は、Stop キーを押します。

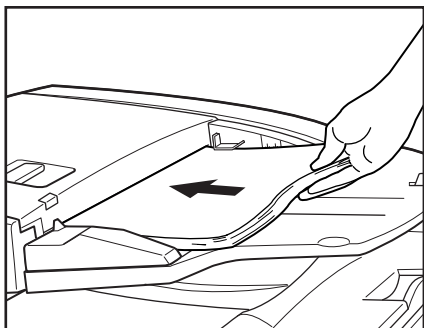
**！重要**

フィーダでスキャンする場合、排紙トレイに残っている原稿を取り除いてからスキャンを行なってください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。

## ■ 自動給紙

自動給紙は、フィーダ部でスキャンする場合に選択でき、アプリケーションでスキャンの開始を指示した後、スキャナが原稿のセットを検知するとスキャンがスタートします。

1. スキャナの設定画面で、給紙オプションを [自動給紙] に設定します。
2. アプリケーションでスキャン開始の指示をします。  
Start キーのランプが緑になります。
3. 原稿をセットします。



スキャナが原稿を検知して、スキャンが始まります。

### ❗ 重要

原稿のセット方法については [3-4 ページ「原稿のセットについて」](#) を参照してください。

4. 原稿をすべてスキャンすると待機状態になります。
5. 給紙トレイを持ち上げてスキャンした原稿を取り除きます。

### ❗ 重要

フィーダでスキャンする場合、排紙トレイに残っている原稿を取り除いてからスキャンを行なってください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。

6. 原稿を続けてセットすると、自動的にスキャンが再開されま  
す。スキャンを終了する場合は、Stop キーを押します。

### 💡 ヒント

読み取り面が [自動] で給紙オプションを [自動給紙] にした場合、以下の動作でスキャンを行います。

- フィーダに原稿をセットすると原稿を検知してスキャンを行います。
- Start キーのランプが点灯し、フラットベッドは待機状態になります。フラットベッドに原稿をセットして Start キーを押すと、フラットベッドの原稿をスキャンします。

## 4. スキャン

本機のスキャン方法には、本機に付属の「CapturePerfect3.0」などのスキャニングアプリケーションでスキャンする他に、操作パネルの操作でスキャンを実行する「ジョブ機能」があります。

本項では、「ジョブ機能」と「CapturePerfect3.0」の概略について説明します。

### 重要

コンピュータのメモリを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリ不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリ不足が表示されたときはアプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。(→P.6-2「お使いになる前に」)

### ジョブ機能について

ジョブ機能は、「ジョブ登録ツール」でジョブを登録し、操作パネルの Job キーで登録したジョブを選択 / 実行してスキャンを行う機能です。

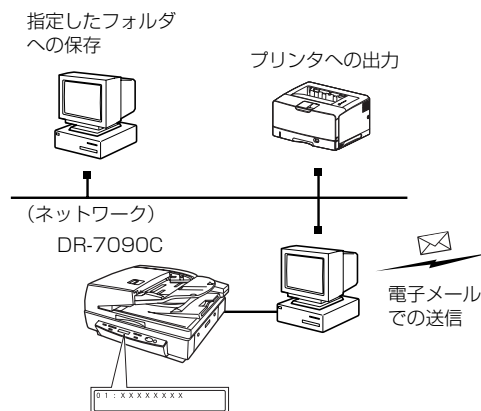
ジョブには、スキャン条件や、保存する画像データのファイル形式、保存先が登録され、ジョブ機能でスキャンした画像データはジョブに登録されている条件で処理されます。

### ヒント

ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAIN ドライバと一緒にインストールされる TWAIN 互換アプリケーションで詳細については、[「第7章 ジョブ登録ツールの設定」](#)を参照してください。

ジョブ機能には以下の機能があり、ジョブ登録ツールを使用して登録します。

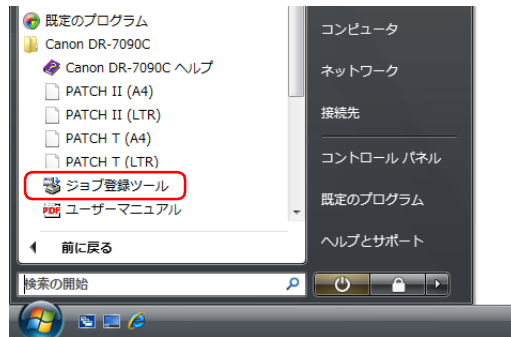
- 共有フォルダなど指定したフォルダへの保存
- 電子メールに添付して送信（メールソフト不要）
- 指定したプリンタへの出力



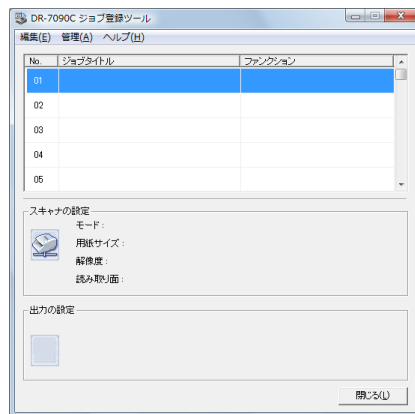
### ■ ジョブの実行

ジョブ登録ツールで登録したジョブは、以下の手順で実行します。

1. イベント機能を設定します。(→ P.3-13「イベント機能の設定」)
2. [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Canon DR-7090C] - [ジョブ登録ツール] をクリックします。



ジョブ登録ツールが起動します。

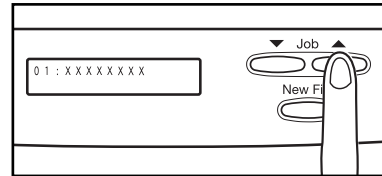


### 3. ジョブ登録ツールでジョブを登録します。

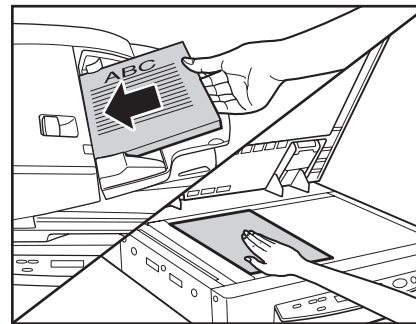


**ヒント**  
ジョブ登録ツールの登録方法については「第7章 ジョブ登録ツールの設定」を参照してください。

4. Job キー (▲) を押して「ジョブモード」にします。  
表示パネルにジョブ No. が表示されます。



5. Job キー (▲, ▼) を押してジョブ No. (01 ~ 99) を選択します。
6. 原稿をセットします。



**重要**  
原稿のセット方法については 3-4 ページ「原稿のセットについて」を参照してください。

7. Start キーを押します。  
選択したジョブにしたがって画像ファイルが転送されます。
8. 原稿のスキャンが終わったら、Stop キーを押して「ジョブモード」を解除します。



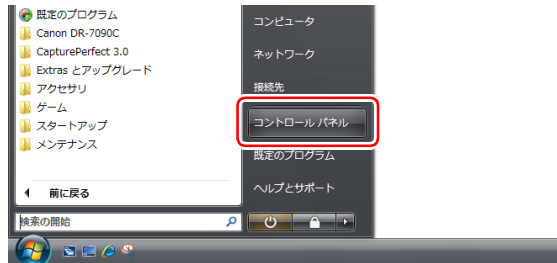
**ヒント**  
ジョブモードが正常に動作しない場合、8-5 ページ「困ったときは」を参照してください。



## ■ イベント機能の設定

ジョブ機能は、スキャナのイベント機能で [DR7090C Job Tool] が指定されていないと機能しません。ジョブ機能を使用する前に、以下の手順でスキャナのイベントの設定を行なってください。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックします。



2. [スキャナとカメラ] をダブルクリックします。

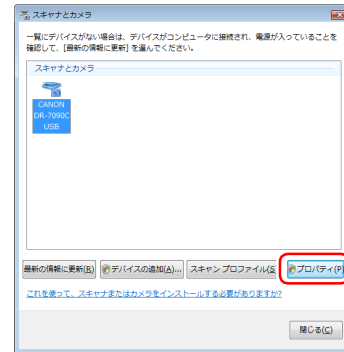


[スキャナとカメラ] のダイアログボックスが表示されます。

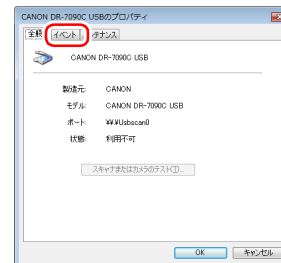
### ヒント

表示されるダイアログボックスは、お使いの Windows によって異なります。

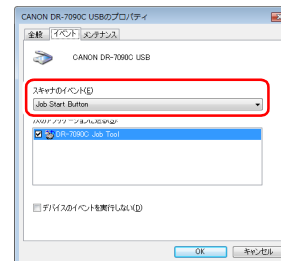
3. [Canon DR-7090C] を選択し、[プロパティ] を表示します。



4. [イベント] タブをクリックします。



5. [スキャナイベント] を [Job Start Button] にします。



6. [次のアプリケーションに送る] で [DR-7090C Job Tool] 以外のチェックを全てはずします。

7. [適用] ボタンをクリックします。

**!** 重要

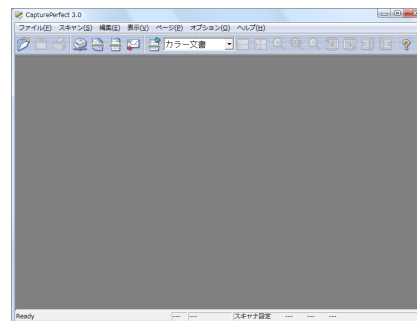
「デバイスのイベントを実行しない」チェックボックスをチェックすると、ジョブ機能が使用できなくなりますので注意してください。

8. [OK] ボタンをクリックします。

9. Windows を再起動します。

## CapturePerfect 3.0 について

CapturePerfect 3.0 は、キヤノンドキュメントスキャナ専用の ISIS 互換アプリケーションです。CapturePerfect 3.0 の詳細については「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を参照してください。

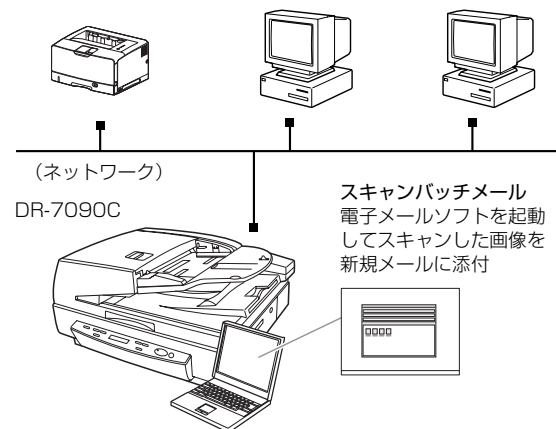


### ■ CapturePerfect のスキャン方法

CapturePerfect 3.0 には以下のスキャン方法がありスキャンメニューからスキャン方法を選択して実行します。

**スキャンバッチプリント**  
スキャンした画像を指定したプリンタで印刷

**スキャンバッチファイル**  
スキャンした画像を指定したフォルダへ保存



### スキャンバッチファイル

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。

### スキャンバッチプリント

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。

### スキャンバッチメール

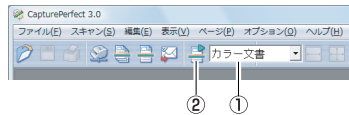
設定した読み取り条件でスキャンを行い、MAPI に対応した電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。

### スキャン 1 ページ

原稿を 1 枚スキャンして終了します。

### スキャンジョブ

ジョブ機能と同様に、読み取り条件とスキャン方法(スキャンバッチファイル、スキャンバッチプリント、スキャンバッチメール)をあらかじめジョブとして登録しておき、スキャンジョブの実行は、ツールバーからジョブを選択 (①) → 実行 (②) の 2 つの操作で行います。



#### ヒント

スキャンジョブにはあらかじめ以下の2つのジョブが登録されており、最大 99 個のジョブを登録することができます。

- カラー文書  
原稿を 24 ビットカラー、片面 300dpi でスキャンし、画像ファイルを [マイピクチャ] フォルダに PDF 形式で保存します。
- 白黒文書  
原稿を白黒、片面 200dpi でスキャンし、画像ファイルを [マイピクチャ] フォルダに PDF 形式で保存します。

### スキャンバッチプレゼンテーション

小型のスキャナをプレゼンテーションの会場などに持ち込み、大型ディスプレイやプロジェクタが接続された環境で使用する場合に適したモードで、CapturePerfect を全画面表示に切り替えてスキャンを行い、スキャンした画像をディスプレイに表示します。

#### ヒント

DR-7090C など、大型のスキャナでの使用には適していません。

### ■ CapturePerfect の操作手順

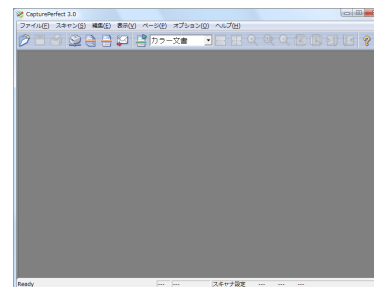
CapturePerfect 3.0 の起動から「スキャンバッチファイル」でのスキャン手順について説明します。

その他のスキャン方法の手順については「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を参照してください。

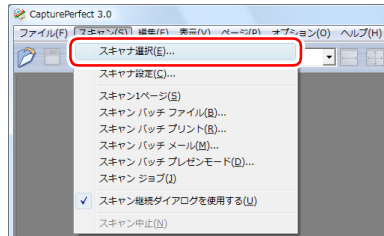
1. [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[CapturePerfect3.0]-[CapturePerfect3.0] をクリックします。



CapturePerfect3.0 が起動します。

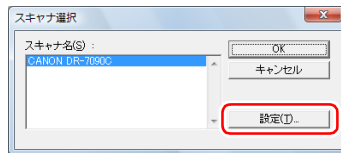


2. [スキャン]メニューから[スキャナ選択]をクリックします。



[スキャナ選択] ダイアログボックスが表示されます。

3. [Canon DR-7090C] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。

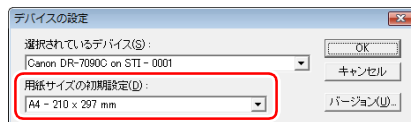


[デバイスの設定] ダイアログボックスが表示されます。

**!** 重要

[Canon DR-7090C] が表示されないときは、ISIS/TWAIN ドライバのインストールをやり直してください。

4. 用紙サイズの初期値を設定します。

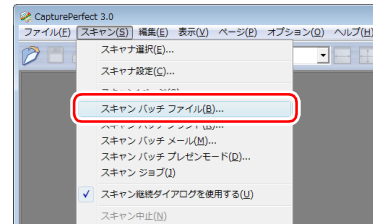


**!** 重要

ISIS ドライバの設定ダイアログボックスで [初期値] ボタンをクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。

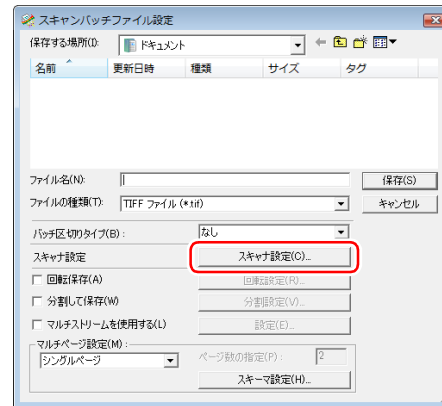
5. [OK] をクリックしてスキャナの選択を終了します。

6. スキャンメニューから[スキャンバッチファイル]をクリックします。



スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスが表示されます。

7. [スキャナ設定] ボタンをクリックし、スキャナの設定を行います。



スキャナの設定ダイアログボックスが表示されます。



## 8. 読み取り条件を設定します。(→ P.6-4 「ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス」)

### ヒント

- フラットベッドでスキャンするときは、読み取り面を「フラットベッド」または「自動」にします。
- 読み取り面が「自動」のときはスキャン開始時に給紙トレイに原稿があるとフィーダでスキャンし、給紙トレイに原稿がないときはフラットベッドをスキャンします。

## 9. 保存するファイル名、ファイル形式を指定します。

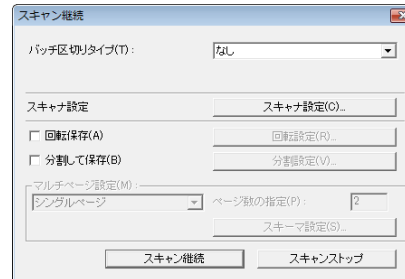
スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスのその他の設定については「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を参照してください。

## 10. 原稿をセットし、[保存] をクリックしてスキャンを開始します。

### 重要


読み取り条件の「読み取り面」と「給紙オプション」の設定によって、原稿のセットが以下のようになります。

- 給紙オプションが「標準給紙」のときはスキャンを開始する前に原稿をセットし、原稿が無くなると「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。

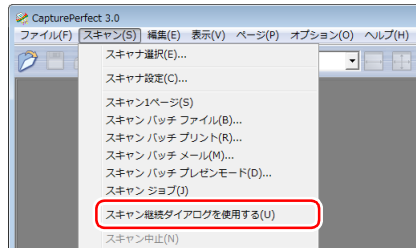


- 給紙オプションが「自動給紙」、「パネルで給紙」の場合、スキャンを開始したとき給紙トレイに原稿がセットされているとスキャンを行い、原稿がセットされていない時は待機状態になります。
- 給紙オプションが「自動給紙」の場合、給紙トレイのセンサーが原稿のセット検知する度にスキャンを行い、Stop キーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。
- 給紙オプションが「パネルで給紙」の場合、Start キーのランプが点灯します。原稿をセットして Start キーを押すとスキャンを行い、Stop キーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。
- 読み取り面が「自動」で給紙オプションを「自動給紙」にした場合、以下の動作でスキャンを行います。
  - フィーダに原稿をセットすると原稿を検知してスキャンを行います。
  - Start キーのランプが点灯し、フラットベッドは待機状態になります。フラットベッドに原稿をセットして Start キーを押すと、フラットベッドの原稿をスキャンします。

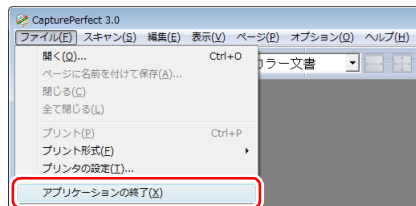
11. [スキャン継続] ダイアログボックスが表示したら、原稿の有無を確認し、[スキャン継続] または [スキャンストップ] をクリックします。

 ヒント

[スキャン] メニューの「スキャン継続ダイアログを使用する」にチェックがない場合、「スキャン継続」ダイアログボックスを表示しないでスキャンを終了します。



12. スキャンが終了したら [ファイル] メニューから [アプリケーションの終了] を選択して CapturePerfect を終了させます。



## 5. パッチコードシートの利用

パッチコードシートはスキャニングを中断することなくファイルを区切るために利用する特殊なパターンを印刷したシートでパッチコードによるファイル区切りに対応したアプリケーションで使用します。このシートがスキャナから読み込まれてパターンが認識されると、シートはパッチコードシートとして機能し、ファイル区切りを行います。

### ■ パッチコードシートについて

パッチコードシートは ISIS/TWAIN ドライバのインストールにより以下の場所に登録されています。パッチコードシートを使用するときはプリンターで印刷して使用してください。



#### ! 重要

- パッチコードシートは、お使いのアプリケーションがパッチコードシートによる自動パッチ区切りをサポートしている場合に有効です。
- パッチコードシートは PDF 形式のファイルで、用紙サイズとパターンの組み合わせで [PATCH T (A4)]、[PATCH T (LTR)]、[PATCH II (A4)]、[PATCH II (LTR)] の 4 種類のシートが用意されています。
- 「マルチストリーム機能」(→P.1-9)を使用するときはパッチコードシートは使用できません。

### ■ パッチコードシートの印刷

パッチコードシートは、CapturePerfect または、PDF 形式のファイルに対応したアプリケーションで開き、必ず等倍で印刷してください。

#### ! 重要

- [PATCH T (A4)]、[PATCH II (A4)] は A4 サイズの用紙、[PATCH T (LTR)]、[PATCH II (LTR)] はレターサイズの用紙に等倍で印刷してください。
- パッチコードシートを拡大、縮小して印刷した場合、パッチコードとして正常に認識できない場合があります。

### ■ パッチコードパターンの機能

パッチコードは「PATCH T」、「PATCH II」の 2 種類のパターンに対応し、パターンによって機能が異なります。

#### PATCH T



このパターンが印刷されたシートを認識したときは、このシートの次の原稿の画像からファイルが区切られ、アプリケーションによってこのシートの画像を保存する / しないを設定します。

#### PATCH II



このパターンが印刷されたシートを認識したときは、このシートの画像からファイルが区切られ、このシートの画像は、アプリケーションの設定に係わらず必ず保存されます。

## パッチコードシートの使い方

CapturePerfect 3.0 でのパッチコードシートの使用方法について説明します。

### 1. パッチコードシートをプリンタで印刷します。

#### 重要

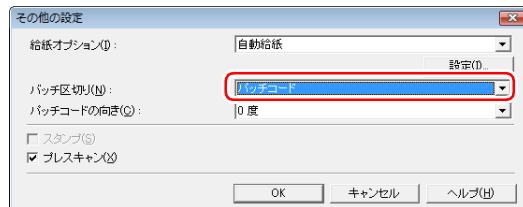
- [PATCH T (A4)]、[PATCH II (A4)] は A4 サイズの用紙、[PATCH T (LTR)]、[PATCH II (LTR)] はレターサイズの用紙に等倍で印刷してください。
- パッチコードシートを拡大、縮小して印刷した場合、パッチコードとして正常に認識できない場合があります。

### 2. パッチコードシートをファイルを区切る原稿の前に挿入してから給紙トレイにセットします。

パッチコードシートをファイル区切りを変更する原稿の先頭に入れてセットします。



### 3. ISIS ドライバの [その他の設定] ダイアログボックスにある [パッチ区切り] の設定を [パッチコード] にします。



### 4. スキャンパッチファイルを実行します。

### 5. 「パッチ区切りタイプ」の設定を「記録して、スキャン継続」または「記録せず、スキャン継続」にします。

#### ヒント

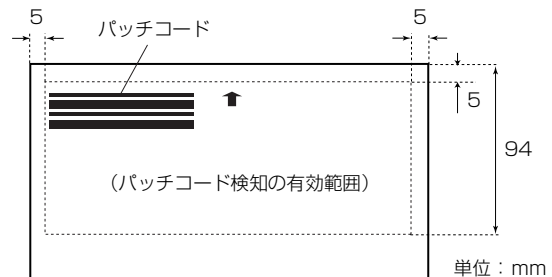
- 「記録して、スキャン継続」は、パッチコードのパターンに係わらず、パッチコードシートの画像を保存してスキャンを継続します。
- 「記録せず、スキャン継続」は、PATCH T のパターンを認識したときに、パッチコードシートの画像を保存しないでスキャンを継続します。

#### ■ パッチコードシートの作成

パッチコードパターンをコピーして他のサイズのパッチコードシートを作成するときは、以下に注意して作成してください。

#### 重要

- パッチコードは、以下の有効範囲に入るように調整してください。



- パッチコードパターンをコピーするときは、オリジナルのパターンと同サイズになるようにしてください。
- 印刷または作成したパッチコードシートは、汚さないように注意してください。また、折り曲げたり、しわのあるシートは使用しないで、印刷または作成し直したものを使用してください。



## 6. カウントオンリーモード

カウントオンリーモードはフィードで原稿の搬送のみを行い、搬送した原稿の枚数を数えるモードです。このモードでは、原稿の読み取りは行ないません。また、スキャナのみで動作させることができます。

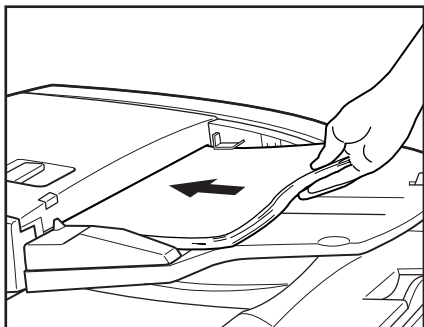
1. Menu キーを押して、表示部に「カウントオンリーモード」を表示させます。

```
カウント オンリー モード*
      0 N      [ 0 F F ]
```

2. Set キー (◀) を押して設定を [ON] にします。
3. Enter キーを押して設定を確定させます。  
Start キーのランプが緑になります。
4. Set キーを押して、表示部に「カウントオンリーモード」を表示させます。

```
カウント オンリー モード*
      0 0 0 0 0
```

5. フィーダに原稿をセットし、Start キーを押します。



原稿が送られ、カウントした枚数がカウンタ表示部に表示されます。

6. Stop キーを押してカウントオンリーモードを終了します。  
カウンタ表示部の枚数表示をクリアするときは、Stop キーを2秒間以上押してください。

## 7. 用紙が詰まったとき

フィーダでスキャン中にスキャンが停止し、表示部に以下のメッセージが表示されたときは、フィーダ内に原稿が詰まっています。次の手順にしたがって、詰まった用紙を取り除いてください。

カミカ<sup>o</sup> ツマリマシタ  
P x x x

### ヒント

- 紙づまりが起きるとフィーダカバーの「原稿セット表示」が点滅します。
- エラーコード [Pxxx] は紙づまりを検知した位置により数字が変わります。

### 紙づまりの処理

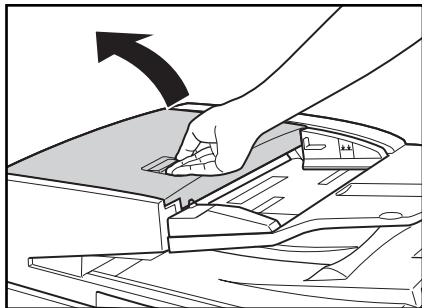
#### 警告

- 紙づまりを取り除くときは慎重に行ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。また、原稿を破損することがあります。
- 詰まった用紙はすべて取り除いてください。破れた用紙などが機械内部に残っていると、引き続き用紙が詰まったり、故障の原因になります。
- フィーダを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。

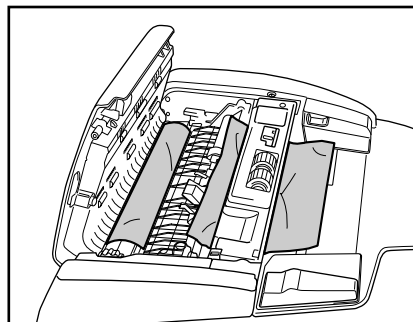
**1.** 給紙トレイや排紙トレイに残っている原稿を取り除きます。

**2.** フィーダカバーを開きます。

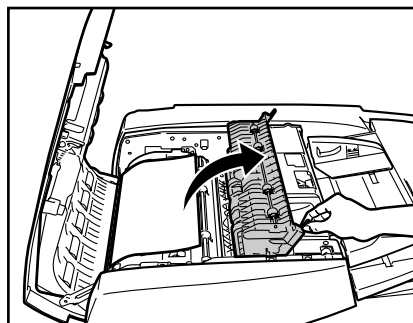
開閉レバーを起し、フィーダカバーが止まる場所までゆっくりと開きます。



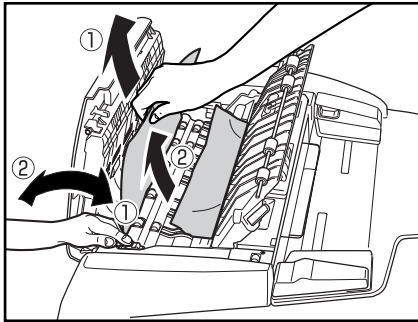

**3.** つまっている原稿の位置を確認します。



**4.** 原稿が、搬送ガイドの下に詰まっている場合は、手前のつまみを持って搬送ガイドを開きます。

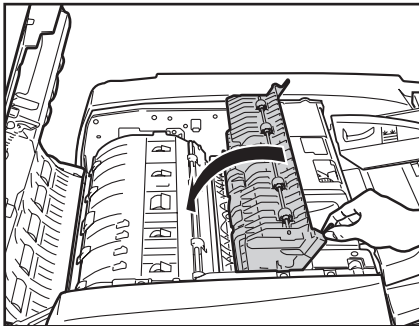


## 5. 手前のダイヤルを回して、つまっている原稿を取り除きます。


 ヒント

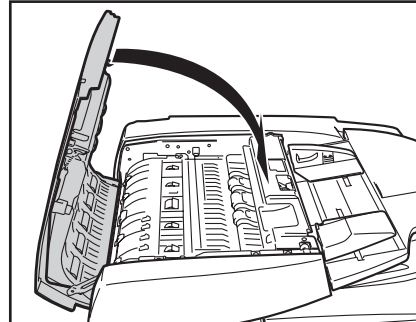
- ダイヤルを右①に回すと、つまっている原稿が上に戻されます。ダイヤルを回しながら原稿の端を持って取り除いてください。
- ダイヤルを左②に回すと、つまっている原稿が排紙トレイに送られます。給紙トレイを上げて排紙トレイにある原稿を取り除いてください。

## 6. 搬送ガイドを閉じます。


 注意

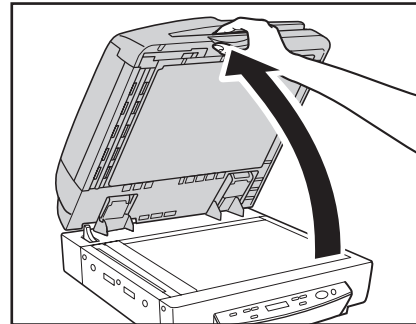
搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 7. フィーダカバーを閉じます。


 注意

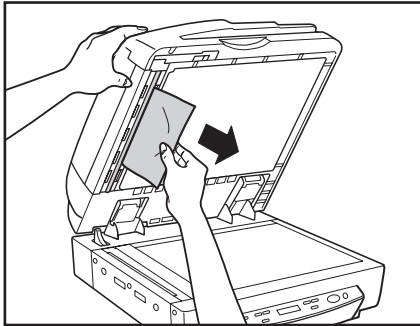
フィーダカバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 8. フィーダを開きます。

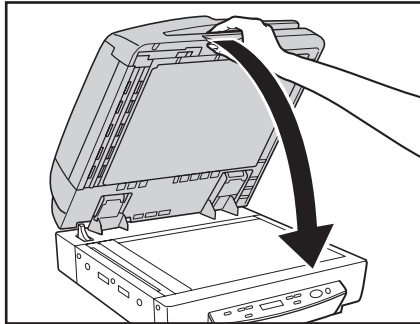

 注意

フィーダはスキャナ本体の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。

### 9. つまっている原稿を取り除きます。



### 10. フィーダを閉じます。



#### 注意

フィーダは、手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

## 紙づまりの原因

フィーダ部で紙づまりが発生する原因には、次のような原因が考えられます。以下に示す方法で対処してください。

- 原稿のサイズ・紙厚が、フィーダで扱える範囲内かどうか、また原稿の紙質などが不適切でないかどうか確認してください。  
原稿についての注意事項は、[3-2 ページ「原稿について」](#)を参照してください。
- 原稿のすべりが悪いために給紙エラーが起きている可能性があります。フラットベットで、1枚ずつスキャンしてください。(→ [P.3-5](#))
- 本体内部のローラーが汚れたり、摩耗していたりすると、紙づまりが発生します。  
ローラーが汚れている場合は清掃してください(→ [P.5-4](#))。ローラーが摩耗している場合はローラーの交換が必要です。担当サービスまでご連絡ください。

# 第4章 ユーザーモード

1. ユーザーモードについて.....	4-2
ユーザーモードの機能.....	4-2
ユーザーモードの設定方法.....	4-3

# 1. ユーザーモードについて

本スキャナでは、以下の各モードについて、ユーザで設定することができます。

## ユーザーモードの機能

ユーザーモードには以下の機能があります。

### ■ カウントオンリーモード

カ	ウ	ン	ト	オ	ン	リ	ー	モ	ー	ド

[ON]: スキャン単体で動作し、セットした原稿の枚数をカウントします。(→ P.3-21 「カウントオンリーモード」)

[OFF]: 通常モードです。(出荷時の設定)

### ■ 長尺モード

チ	ョ	ウ	シ	ャ	ク	モ	ー	ド

[ON]: 用紙サイズを自動検知にしたときに最大630mmまでの長さの原稿を検知します(→ P.3-2 「原稿について」)

[OFF]: 用紙サイズを自動検知にしたときに432mmまでの長さの原稿を検知します(出荷時の設定)

#### ! 重要

長尺モードを使用する場合、以下の点について注意してください。

- アプリケーションが長尺モードに対応していない場合、長尺モードは使用できません。
- ISIS/TWAIN ドライバを次のように設定してください。次の設定以外では、正常にスキャンできないことがあります。
  - 基本設定ダイアログボックス (→ P.6-5)
    - 【用紙サイズ】: 「自動検知」
  - 搬送方向設定ダイアログボックス (→ P.6-10)
    - 【画像回転】: 「90度」
    - 【両面モード】: 「カレンダーモード」
  - 詳細設定ダイアログボックス (→ P.6-11)
    - 【文字向検知】 チェックボックス: オフ

- 長尺モードを設定してスキャンした場合、処理速度が遅くなる場合があります。
- 長尺モードを [ON] にすると両面スキャンをする場合に、両面同時読みの設定に関係なくおもて面とうら面を片面ずつ読み取ります。
- 長尺モードを使用する場合、原稿が傾いてセットされるとスキャナの給紙部の両端に当たり原稿を破損する場合があります。原稿の傾きには充分注意してください。
- 長尺モードを使用する場合、紙詰まりの検知が遅れ原稿を破損する場合があります。紙詰まりには充分注意してください。
- 432mm 以上の原稿をスキャンするときは1枚ずつセットしてスキャンしてください。

### ■ 省電力モード

ス	リ	ー	フ	モ	ー	ド

[240]: 4時間操作しないときに省電力モードに移行します。

[60]: 1時間操作しないときに省電力モードに移行します。

[10]: 10分間操作しない時に省電力モードに移行します(出荷時の設定)

### ■ 表示言語の変更

ニ	ホ	ン	コ	(	J	a	n	e	s	e	)

[ON]: 表示パネルを日本語で表示します。(出荷時の設定)

[OFF]: 表示パネルを英語で表示します。

### ■ 画面コントラストの調整

カ	メ	ン	コ	ン	ト	ラ	ス	ト

Set キーで■を右に動かすと表示パネルが明るくなり、左に動かすと暗くなります。

## ■ SCSI 転送速度の設定

```
SCSI テンソウ ソクト*
[ 20 ] 10 5
```

SCSI インタフェースの同期転送速度の最大値を設定します。

[20]: 20MByte/sec (Ultra SCSI) (出荷時の設定)

[10]: 10MByte/sec (First SCSI)

[5]: 5MByte/sec. (非同期)

出荷時の設定 [20MByte/sec.] でスキャナが正常に動作しない場合、転送速度を [10MByte/sec.] または [5MByte/sec.] に下げて使用してください。

## ■ USB ショートパケットの設定

```
USB ショート ハ* ケット
[ ON ] OFF
```

USB ショートパケットの設定を変更します。(出荷時の設定: ON)

コンピュータに標準装備されている USB インターフェースでスキャナが正常に動作しない場合、ショートパケットの設定を [OFF] にして使用してください。

### ! 重要

SCSI 転送速度、USB ショートパケットの設定を変更した場合には、スキャナ本体の電源を入れ直してください。

## ■ 両面同時読み取りの設定

```
リョウメント* ウシ* ヨミ
[ ON ] OFF
```

原稿給紙トレイにセットした原稿を両面スキャンするときの読み取り方法を設定します。

[ON]: 原稿の両面を同時にスキャンします。(出荷時の設定)

[OFF]: 原稿のおもて面を読み取ってから、自動反転させて裏面をスキャンします。

## ■ トータルスキャン枚数

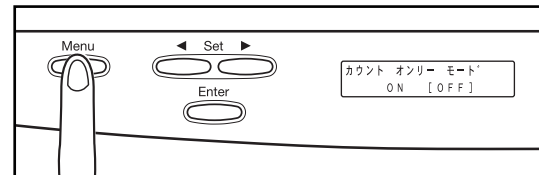
```
トータルスキャンマイスウ
0
```

本機が用紙を搬送した総枚数を表示します。

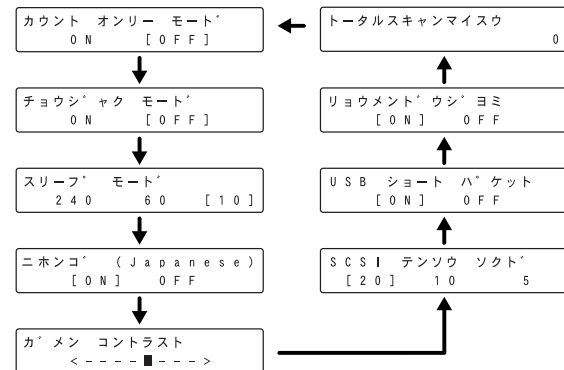
## ユーザーモードの設定方法

ユーザーモードは操作キーを以下のように押して設定します。

### 1. Menu キーを押してユーザーモードを表示させます。



Menu キーを繰り返し押し出すと、ユーザーモードが切り替わります。



### 2. Set キー (◀, ▶) を押して設定を変更します。

### 3. Enter キーを押して設定を確定させます。

### 4. 設定が完了したら Stop キーを押してユーザーモードを終了します。

# 第5章 メンテナンス

1. 日常のお手入れ.....	5-2
クリーニングクロス、クリーニングペーパーに ついて.....	5-2
本体の清掃.....	5-2
原稿台ガラス / 圧着板の清掃.....	5-3
フィーダ部の清掃.....	5-4
電源プラグの清掃.....	5-9



# 1. 日常のお手入れ

本機の読み取り品質を維持するために、次の箇所を定期的に清掃を行ってください。

- 本体
- 原稿台ガラス
- 圧着板
- フィーダ部

## ⚠ 注意

- 清掃の前には、コンピュータとスキャナの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が入ったまま清掃をすると感電の原因となります。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性の有機溶剤は使用しないでください。火災や感電の原因となります。また、スキャナの外装が変形、変色したり溶解する恐れがあります。
- 読み取りガラス部分に水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。
- 清掃の際に、水で濡らしすぎると原稿の破損やスキャナ本体の故障の原因となります。

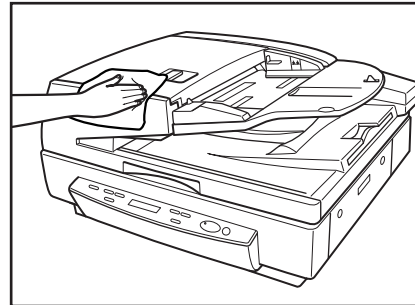
## クリーニングクロス、クリーニングペーパーについて

本体に付属のクリーニングクロスとクリーニングペーパーは以下の用途に使用します。

- クリーニングクロス  
読み取りガラスやローラーの清掃に使用します。
- クリーニングペーパー  
圧着板の裏に収納されている読み取り部清掃具に取り付けて使用します。(→ P.5-7、5-8)

## 本体の清掃

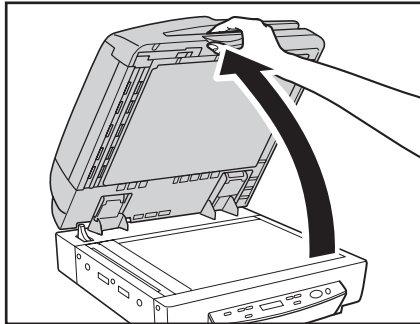
本体表面は、水または中性洗剤を含ませて固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布でから拭きをします。



## 原稿台ガラス / 圧着板の清掃

原稿台ガラスや圧着板が汚れていると原稿がきれいに読み取れなかったり、原稿のサイズを誤って検知することがあります。原稿台ガラスや圧着板は定期的に清掃してください。

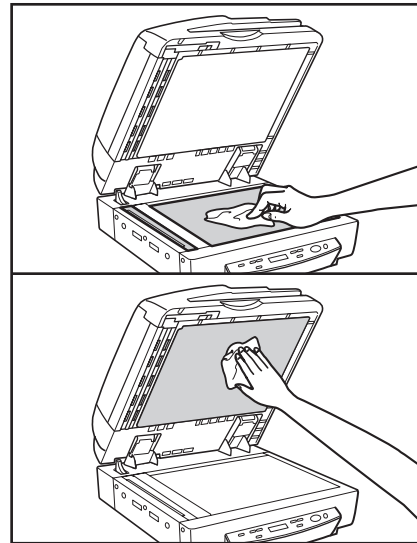
### 1. フィーダを開きます。



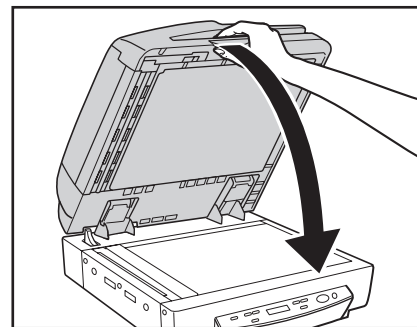
#### ⚠ 注意

フィーダはスキャナ本体の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。

### 2. 原稿台ガラスと原稿読み取り部ガラス（細長いガラス）圧着板を水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布で、から拭きします。



### 3. フィーダを閉じます。



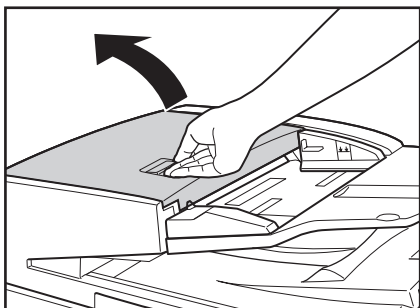
#### ⚠ 注意

フィーダは、手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

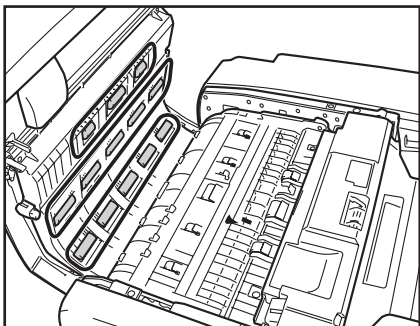
## フィーダ部の清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れたりする場合は、フィーダ内部にあるローラーや読み取りガラスが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

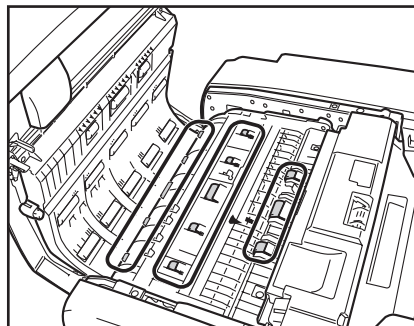
1. フィーダカバーを開きます。



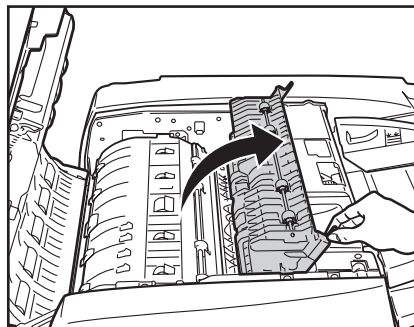
2. フィーダカバー裏側のローラー（13か所）を水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布でから拭きします。



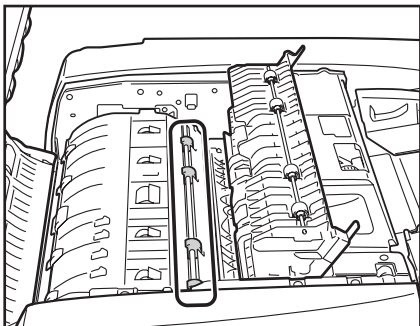
3. 本体側のローラー（13か所）を水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布でから拭きします。



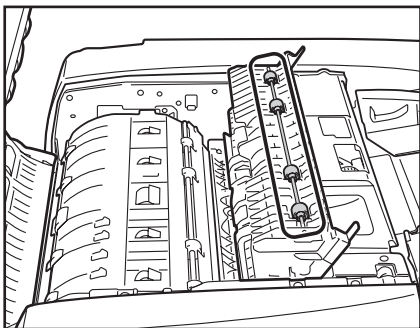
4. 手前側のつまみを持って、搬送ガイドを開きます。



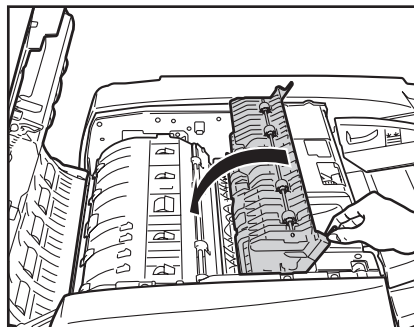
5. ローラー（4 か所）を、水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布でから拭きします。



6. ローラー（4 か所）を、水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布で、から拭きします。

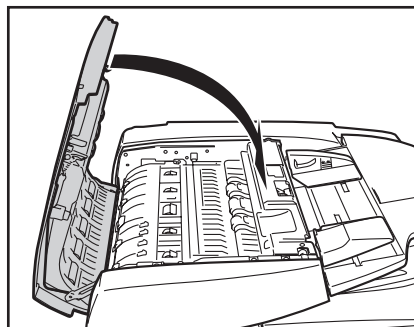


7. 搬送ガイドを閉じます。



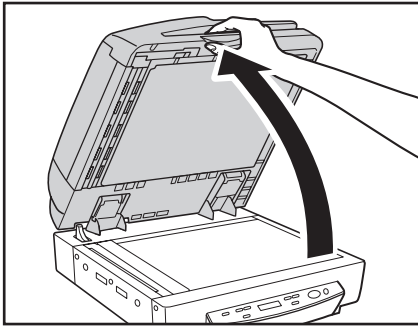
**注意**  
搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8. フィーダカバーを閉じます。

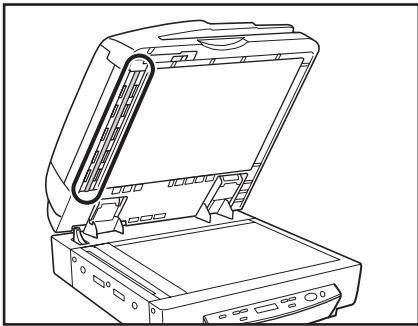


**注意**  
フィーダカバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 9. フィーダを開きます。

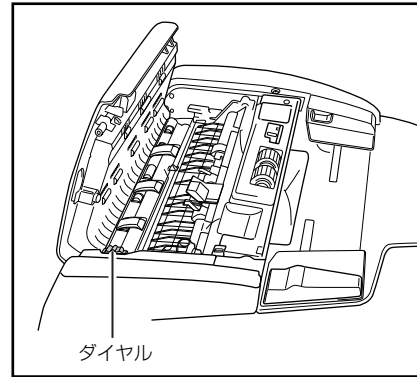


10. 搬送ローラー（白色）とプラテンローラー（黒色）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。

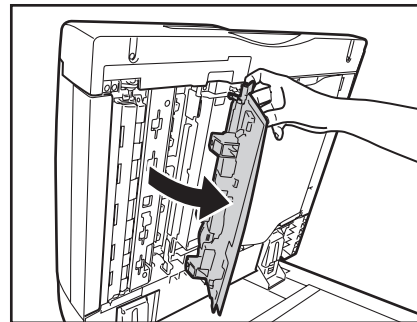


**!** 重要

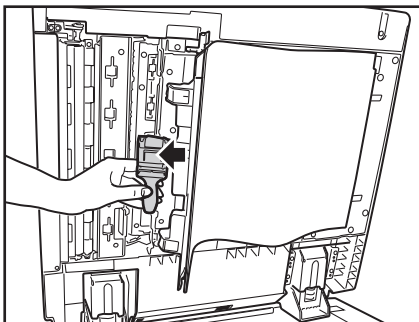
フィーダカバーを開き、手前にあるダイヤルを回すとプラテンローラーが回転します。  
プラテンローラーを清掃するときはプラテンローラーを少しずつ回転させながら清掃してください。



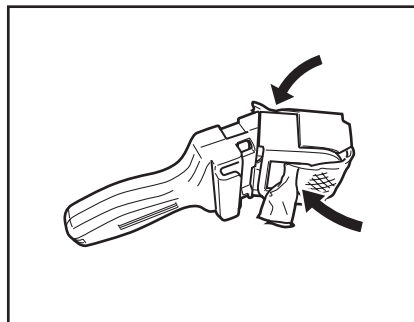
11. フィーダ上部のレバーを引いてフィーダ原稿読み取り部のカバーを開けます。



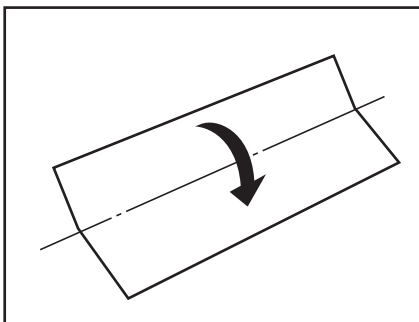
12. カバーの内側から読み取り部清掃具を取り出します。



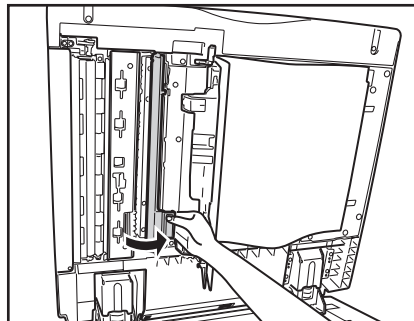
14. クリーニングペーパーを読み取り部清掃具に取り付けます。



13. クリーニングペーパーをビニール袋から1枚取り出して2つ折りにします。



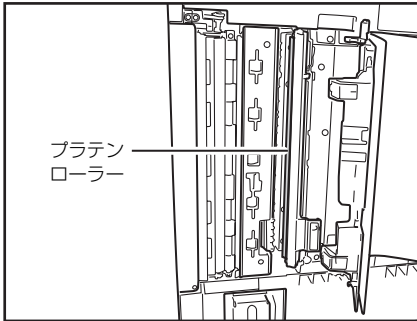
15. 内側のカバーを開けます。



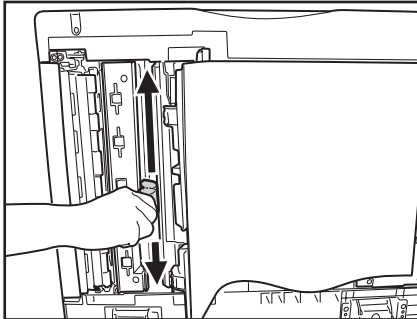
16. 内側のカバーの裏にあるプラテンローラーを、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。

**!** 重要

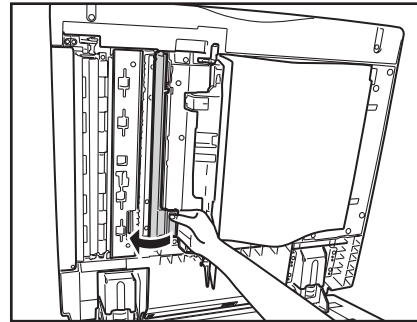
プラテンローラーを清掃するときはプラテンローラーを少しずつ回転させながら清掃してください。



17. レールに沿って、フィーダの原稿読み取り部を清掃します。



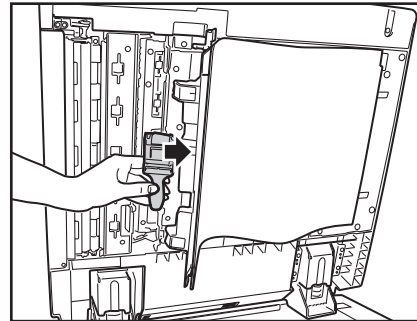
18. 内側のカバーを閉めます。



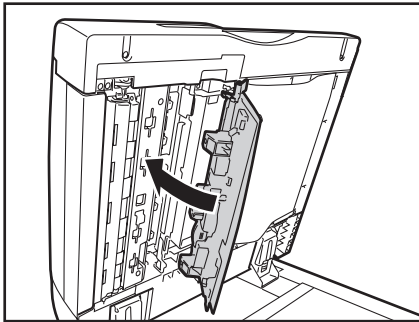
**!** 注意

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

19. 読み取り部清掃具からクリーニングペーパーを取り外し、内側のカバーにセットします。

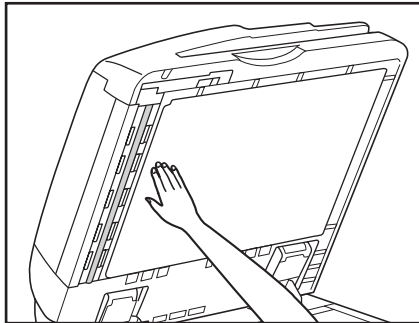


## 20. フィーダ原稿読み取り部のカバーを閉めます。

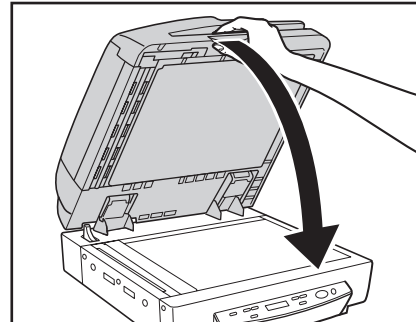
**!** 注意

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

## 21. カバーの中央部を押します。カチッと音がしてカバーが確実に閉じたことを確認してください。



## 22. フィーダを閉じます。

**!** 注意

フィーダは、手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

**電源プラグの清掃**

電源プラグは、長期間コンセントに接続したままにすると、コンセントの接続部分にほこりがたまり、火災や感電の原因となります。定期的に清掃してください。



# ユーザーマニュアル（機能詳細編）

## ソフトウェア使用説明書



ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

---

## 目次

### 第 6 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定

- 1. お使いになる前に ..... 6-2
- 2. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス ..... 6-4
  - 基本設定ダイアログボックス ..... 6-5
  - スキャン領域ダイアログボックス ..... 6-9
  - 搬送方向設定ダイアログボックス ..... 6-10
  - 詳細設定ダイアログボックス ..... 6-11
  - ガンマ設定ダイアログボックスの設定項目 ..... 6-14
  - [その他の設定] ダイアログボックス ..... 6-15

### 第 7 章 ジョブ登録ツールの設定

- 1. お使いになる前に ..... 7-2
  - ジョブ機能 ..... 7-2
  - ジョブ登録ツールの起動 ..... 7-2
- 2. ジョブ登録ツール ..... 7-3
- 3. 設定ダイアログボックス ..... 7-4
  - [新規 / 編集] ダイアログボックス ..... 7-4
  - [管理] ダイアログボックス ..... 7-9

## 第 6 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定

1. お使いになる前に .....	6-2
2. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログ ボックス.....	6-4
基本設定ダイアログボックス .....	6-5
スキャン領域ダイアログボックス.....	6-9
搬送方向設定ダイアログボックス.....	6-10
詳細設定ダイアログボックス .....	6-11
ガンマ設定ダイアログボックスの設定項目 .....	6-14
[その他の設定] ダイアログボックス.....	6-15

## 1. お使いになる前に

DR-7090C を使用するためには ISIS ドライバまたは TWAIN ドライバに対応したアプリケーションが必要です。スキャナを使用する前に使用するスキャナとして DR-7090C を選択する必要があります。本機に同梱されている CapturePerfect3.0 は ISIS ドライバを使用するアプリケーションです。本項では、CapturePerfect3.0 でのスキャナの選択方法について説明します。スキャナの選択方法は使用するアプリケーションによって手順が異なるので、使用するアプリケーションの使用説明書を参照してスキャナの選択を行ってください。

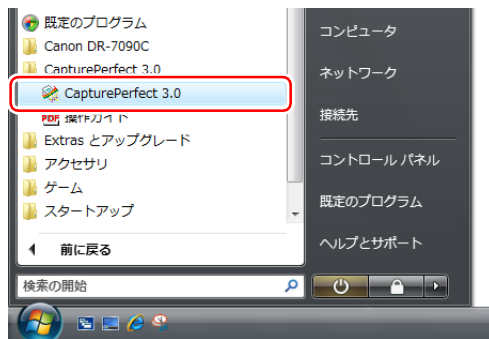
### 重要

- コンピュータのメモリを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリ不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリ不足が表示されたときはアプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- メモリを消費する条件には以下の設定があります。メモリ不足になったときはこれらの設定を見直してください。  
**モード (24 ビットカラー)、解像度 (600dpi)、用紙サイズ (自動検知)、斜行補正**

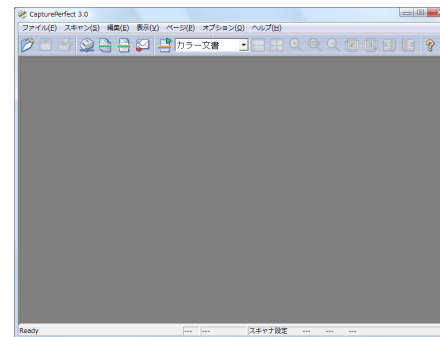
### ヒント

ジョブ登録ツールは DR-7090C 専用の TWAIN アプリケーションのためスキャナ選択は必要ありません。

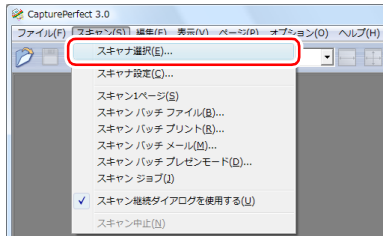
1. [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [CapturePerfect3.0] - [CapturePerfect3.0] をクリックします。



CapturePerfect3.0 が起動します。

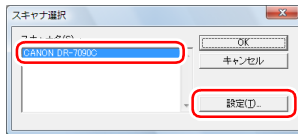


2. [スキャン] メニューから [スキャナ選択] をクリックします。



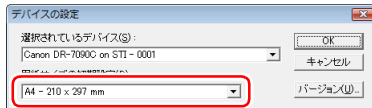
[スキャナ選択] ダイアログボックスが表示されます。

3. [Canon DR-7090C] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。



[Canon DR-7090C] が表示されないときは、ISIS/TWAIN ドライバのインストールをやり直してください。

4. 用紙サイズの初期値を設定します。

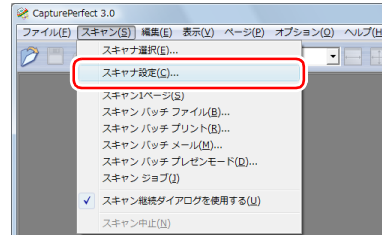


### ! 重要

- 用紙サイズの初期値は ISIS ドライバの用紙サイズの [初期値] に反映されます。(→ P.6-6)
- TWAIN ドライバの場合、用紙サイズの初期値は A4 に設定され変更はできません。

5. [OK] をクリックしてスキャナの選択を終了します。

6. スキャンメニューから [スキャナ設定] をクリックします。



ISIS ドライバの設定ダイアログボックスが表示されます。



ISIS ドライバの設定ダイアログボックスの詳細については、6-4 ページ「ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス」を参照してください。

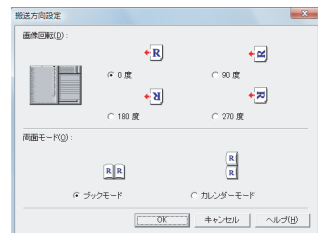
## 2. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス

ISIS/TWAIN ドライバの設定ダイアログボックスは、基本設定ダイアログボックス、詳細設定ダイアログボックス、その他の設定ダイアログボックスで構成されます。設定ダイアログは ISIS ドライバ、TWAIN ドライバによって機能の一部が異なります。詳細についてはそれぞれのダイアログボックスの説明を参照してください。

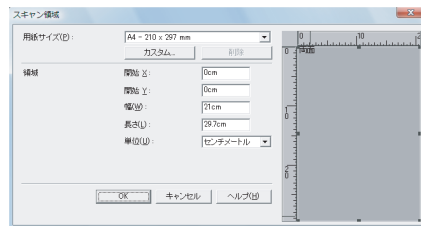
### 基本設定ダイアログボックス (→ P.6-5)



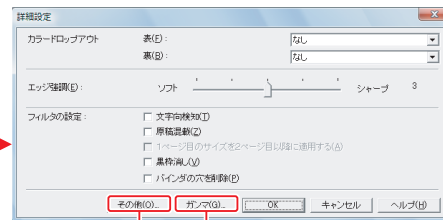
### 搬送方向設定ダイアログボックス (→ P.6-10)



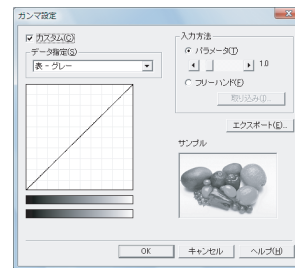
### 領域設定ダイアログボックス (→ P.6-9)



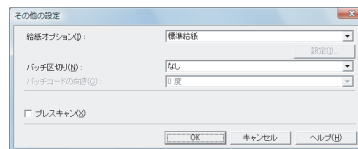
### 詳細設定ダイアログボックス (→ P.6-11)



### ガンマ設定ダイアログボックス (→ P.6-14)



### [その他の設定] ダイアログボックス (→ P.6-15)



## 基本設定ダイアログボックス

基本設定ダイアログボックスでは、基本的なスキャン条件の設定を行います。

使用するアプリケーションによって設定できる項目が異なります。実際に表示される画面に合わせて設定を行ってください。

### ■ 基本設定ダイアログボックスの種類

基本設定ダイアログボックスには、以下の種類があります。

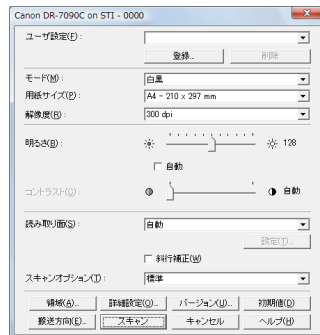
#### 基本設定ダイアログボックス (ISIS ドライバ)

ISIS 互換アプリケーション (CapturePerfect など) で表示される基本設定ダイアログボックスです。



#### 基本設定ダイアログボックス (TWAIN ドライバ)

TWAIN 互換アプリケーション (ジョブ登録ツール) で表示される基本設定ダイアログボックスです。



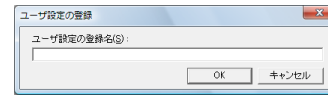
- 「スキャンオプション」は、TWAIN ドライバで設定する機能で、ISIS ドライバでは表示されません。
- 設定ダイアログボックスからスキャンを実行する TWAIN 互換アプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに [スキャン] ボタンが表示されます。

### ■ 基本設定ダイアログボックスの設定項目

基本設定ダイアログボックスでは以下の設定を行います。

#### ユーザ設定

[登録] ボタンをクリックすると [ユーザ設定の登録] ダイアログボックスが開きます。



[ユーザ設定の登録] ダイアログボックスは、現在の設定をユーザ設定として名前を付けて登録します。

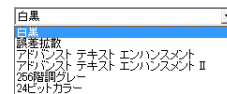
登録したユーザ設定をリストボックスから選択すると、選択したユーザ設定の内容がダイアログボックスに反映されます。

#### ! 重要

入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以下です。

#### モード

スキャンするモードを選択します。



#### 💡 ヒント

- アドバンスドテキストエンハンスメントは、文字の背景に色や模様がある原稿を白黒で読み取るときに適したモードで、文字の周りの背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。アドバンスドテキストエンハンスメントは背景の種類に合わせて 2 種類のモードが用意されています。原稿に適したモードを選択し、スキャン前にプレスキャンで画像を確認することをお勧めします。
- 画像ファイルを JPEG で保存するときは [256 階調グレイ] または [24 ビットカラー] を選択してください。

## [白黒]

文字や線画の原稿を白黒 2 値で読み取ります。

## [誤差拡散]

写真などの原稿を白黒 2 値で読み取るためのモードです。

## [アドバンスドテキストエンハンスメント]

背景色が濃い原稿や、背景が模様など均一でない原稿を読み取るときに適しています。

### ヒント

- 背景が均一のとときは、文字の周りの背景を除去します。
- 背景が模様など均一でない場合には、文字が読みやすくなるように背景を処理します。

## [アドバンスドテキストエンハンスメント II]

背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。

### ヒント

- 文字の間隔が狭い部分の背景は除去できない場合があります。
- 文字が薄い原稿は、コントラストを調整することにより文字が読みやすくなります。
- 背景が模様など均一でない場合には、背景が表示され文字が読みにくくなることがあります。

## [256 階調グレー]

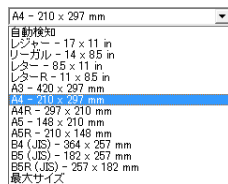
写真などの原稿をグレースケールで読み取ります。

## [24 ビットカラー]

カラー写真などの原稿をフルカラーで読み取ります。

## 用紙サイズ

スキャンする原稿に合わせて読み取りサイズを選択します。

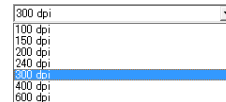


### 重要

- 以下のような原稿をスキャンするときは、[自動検知] を選択します。
  - 非定形サイズの原稿
  - サイズの異なる原稿が混在している場合
  - 長尺モードを使用する場合 (→ P.4-2 「長尺モード」)
- [自動検知] を選択した場合、スキャン領域ダイアログボックスの領域の設定が無効になります。
- 以下のようなときは、[自動検知] が正常に機能しないことがあります。このような原稿をスキャンするときは定形サイズ ([A4]、[レター] など) を選択するか、[領域] ボタンをクリックしてカスタム用紙サイズを登録します。(→ P.6-9 「スキャン領域ダイアログボックス」)
  - 周辺部に暗い部分がある原稿を読み取る場合
  - 明るさの設定が適切でない場合
  - ガンマ設定ダイアログボックスがカスタム設定になっている場合
- アプリケーションソフトによっては、用紙サイズの自動検知機能に対応していないことがあります。

## 解像度

スキャンする解像度を選択します。



### ヒント

解像度を高くすると画像はきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなります。

## 明るさ

スキャンする画像の明るさを調整します。

### ヒント

- 画像が濃い場合や、裏面の文字が写り込むようなときにはスライダーを右に動かして設定値を高くします。画像が薄い場合にはスライダーを左に動かして設定値を低くします。
- ガンマ設定ダイアログボックスで [カスタム] チェックボックスがオンになっているときは、[明るさ] が「自動」になります。



- 読み取りモードで「白黒」を選択しているときは、[自動] チェックボックスが有効になり、オンにすると明るさが自動的に調整されます。自動調整される明るさはスライダを左右に動かすことで調整できます。

## コントラスト

読み取った画像のコントラストを調整します。

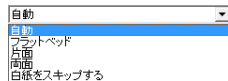


### ヒント

ガンマ設定ダイアログボックスで「カスタム」チェックボックスがオンになっているときは、[コントラスト] が「自動」になります。この場合、[コントラスト] はグレー表示され、設定はできません。

## 読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



### [自動]

フィーダに原稿がある場合はフィーダの原稿を片面スキャンし、フィーダに原稿がない場合はフラットベッドの原稿をスキャンします。



### ヒント

フィーダで両面スキャンをするときは、[両面]を選択してください。

### [フラットベッド]

フラットベッドの原稿をスキャンします。

### [片面]

原稿のおもて面をスキャンします。

### [両面]

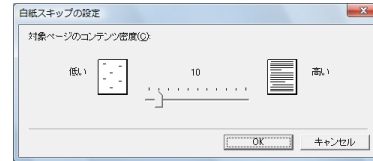
原稿の両面をスキャンします。

### [白紙をスキップする]

スキャンした画像から原稿が白紙であるかないかを判断し、白紙と判断された画像の保存をスキップします。

- TWAIN ドライバで、[スキャンオプション] が [1 ページスキャン] に設定されている場合、[読み取り面] の [両面] および [白紙をスキップする] が非表示になります。(→ P.6-8 「スキャンオプション (TWAIN ドライバのみ)」)

- [白紙をスキップする] を選択すると、[設定] ボタンが有効になり、クリックすると [白紙スキップの設定] ダイアログボックスが表示されます。白紙がスキップされなかったり、白紙でない原稿がスキップされるような場合に、コンテンツ密度を調整します。



コンテンツ密度は、白紙としてスキップさせる原稿に合わせて調整します。

- 白紙原稿がスキップされないときはコンテンツ密度を高くします。
- 白紙でない原稿がスキップされるようなときはコンテンツ密度を低くします。
- ガンマ設定ダイアログボックスが [カスタム設定] になっている場合、白紙スキップが正常に動作しないことがあります。
- アプリケーションの設定に読み取り面の設定 (片面、両面) がある場合、片面に設定してください。

## [斜行補正] チェックボックス

原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像で斜行を検知して画像の傾きを修正します。



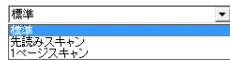
### 重要

以下のような時は斜行補正が正常に動作しません。斜行補正をオフにしてください。

- 周辺部の暗い部分がある原稿をスキャンする場合
- 光沢のある、光を反射するような原稿をスキャンする場合
- 明るさの設定が適切でない場合
- ガンマ設定ダイアログボックスが、カスタム設定になっている場合
- スキャン領域ダイアログボックスでスキャン領域を指定しているとき

## スキャンオプション (TWAIN ドライバのみ)

TWAIN 互換アプリケーションで連続スキャンをするときの動作を設定します。



### 【標準】

スキャンした原稿を排紙してから次の原稿をスキャンします。

### 【先読みスキャン】

原稿を連続してスキャンするため【標準】にくらべてスキャン速度が早くなります。

### 【1 ページスキャン】

原稿を 1 枚だけスキャンします。

### ! 重要

詳細設定ダイアログボックスの [1 ページ目のサイズを 2 ページ目以降に適用する] を使用するときは、[スキャンオプション] を [先読みスキャン] にしてください。

## ボタン

### 【領域】 ボタン

「スキャン領域」ダイアログボックスを開き、スキャンする領域を設定します。(→ P.6-9 「スキャン領域ダイアログボックス」)

使用しているアプリケーション側に領域を設定する機能があるときは、【領域】 ボタンは表示されません。

### 【詳細設定】 ボタン

このボタンをクリックすると、詳細設定ダイアログボックスが表示されます。(→ P.6-11 「詳細設定ダイアログボックス」)

### 【バージョン】 ボタン

このボタンをクリックすると、ドライバのバージョン情報が表示されます。

### 【初期値】 ボタン

このボタンをクリックすると、すべての項目が初期値に戻ります。

### 【搬送方向】 ボタン

このボタンをクリックすると、搬送方向設定ダイアログボックスが表示されます。(→ P.6-10 「搬送方向設定ダイアログボックス」)

### 【OK】 ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更を反映してこのダイアログボックスが閉じます。

### 【キャンセル】 ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更を反映せずにこのダイアログボックスが閉じます。

### 【ヘルプ】 ボタン

このボタンをクリックすると、画面に表示されているダイアログボックスのヘルプが表示されます。

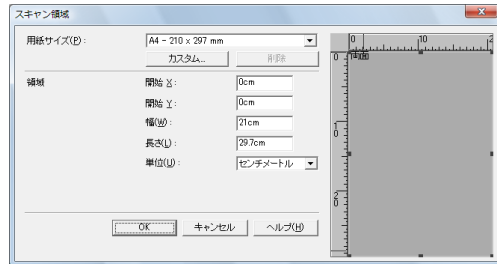
## スキャン領域ダイアログボックス

アプリケーションソフトの読み取りの設定を行うためのダイアログボックス（または基本設定ダイアログボックス）で [領域] ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスです。

用紙サイズで指定したサイズの原稿の一部を読み取るときや、非定形の原稿サイズを登録するためのダイアログボックスです。

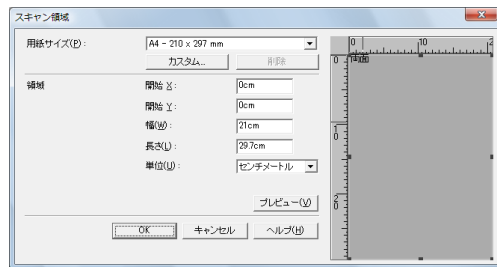
スキャン領域ダイアログボックスは ISIS ドライバ、TWAIN ドライバで異なります。また、TWAIN ドライバの場合、使用するアプリケーションによって 2 種類のダイアログボックスが表示されます。

### スキャン領域ダイアログボックス (ISIS ドライバ)



### スキャン領域ダイアログボックス (TWAIN ドライバ)

設定ダイアログボックスに [スキャン] ボタンが表示されるアプリケーションの場合は、領域ウィンドウと [プレビュー] ボタンが表示されます。



ジョブ登録ツールなど、設定ダイアログボックスに [OK] ボタンが表示されるアプリケーションの場合は、領域ウィンドウと [プレビュー] ボタンは表示されません。

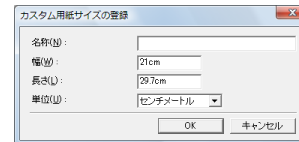


## 用紙サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。基本設定ダイアログボックスの [用紙サイズ] の設定と連動します。

### ヒント

[カスタム] ボタンをクリックすると、[カスタム用紙サイズの登録] ダイアログボックスが表示され、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録できます。



## 領域

スキャンする領域を選択します。

### 重要

- 読み取り領域として指定できる範囲は、64 × 64 ピクセルから、[用紙サイズ] で選択されている用紙サイズまでです。
- [用紙サイズ] で「自動検知」を選択しているときや、詳細設定ダイアログボックスの「文字向検知」を有効にしているときは、領域の指定はできません。
- 原稿の両面を読み取る場合、読み取り領域はおもて面と裏面に適用されます。表裏別々に指定することはできません。

## 領域ウィンドウ

用紙サイズの設定に連動して領域ウィンドウの表示が変化し、領域の設定に合わせて領域ウィンドウ内の領域が変化します。

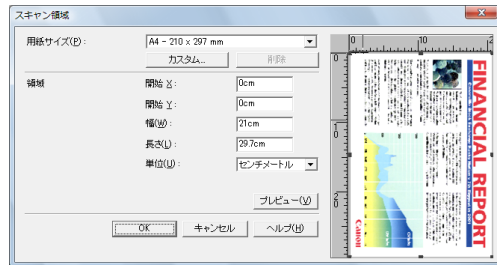
### ヒント

- 領域ウィンドウ内の枠や内部をマウスでドラッグして読み取り領域を指定することもできます。
- CapturePerfect では、最後にスキャンした画像が領域ウィンドウに表示されます。

## ボタン

プレビューボタン (TWAIN ドライバのみ)

原稿をセットして「プレビューボタン」をクリックすると、原稿を1枚スキャンして領域ウィンドウにプレビュー画像が表示されます。



### [OK] ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更が反映されてダイアログボックスが閉じます。

### [キャンセル] ボタン

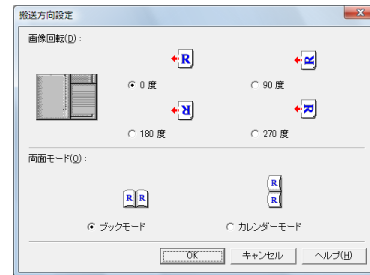
このボタンをクリックすると、設定の変更を反映せずにダイアログボックスが閉じます。

### [ヘルプ] ボタン

このボタンをクリックすると、画面に表示されているダイアログボックスのヘルプが表示されます。

## 搬送方向設定ダイアログボックス

基本設定ダイアログボックス、または詳細設定ダイアログボックス拡張版 (ISIS ドライバ) の [搬送方向] ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスです。読み取った画像を回転させるための設定を行うことができます。



## 画像回転

画像の向きが正常になるように回転角度を指定します。

### ヒント

- セットした原稿の向きと指定した角度によりスキャンした画像が以下のように回転します。

フラットベット 原稿：下向き				
フィーダ 原稿：上向き				
原稿の向き	ABC	ABC	ABC	ABC
画像回転	0度	90度	180度	270度
出力画像	ABC	ABC	ABC	ABC

- 長尺モードでスキャンするときは、[画像回転] で「90度」を選択してください。

## 両面モード

両面原稿を読み取る場合の、原稿のおもて面と裏面の向きによってモードを指定します。

### [ブックモード]

原稿のおもて面と裏面で上下が同じ向きになっている原稿を読み取る場合に指定します。



### [カレンダーモード]

原稿のおもて面と裏面で上下が逆向きになっている原稿を読み取る場合や長尺モードでスキャンするときに指定します。読み取った裏面の画像を180度回転させて保存します。



## ボタン

### [OK] ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更が反映されてダイアログボックスが閉じます。

### [キャンセル] ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更が反映されずにダイアログボックスが閉じます。

### [ヘルプ] ボタン

このボタンをクリックすると、画面に表示されているダイアログボックスのヘルプが表示されます。

## 詳細設定ダイアログボックス

基本設定ダイアログボックスの [詳細設定] ボタンをクリックした、または ISIS 互換アプリケーションでスキャンまたは設定用に用意された独自のダイアログボックスから ISIS ドライバを呼び出したときに表示されるダイアログボックスです。

読み取りに関する高度な設定を行います。

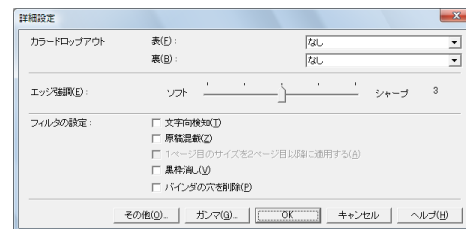
使用するアプリケーションによって設定できる項目が異なります。実際に表示される画面に合わせて設定を行ってください。

### ■ 詳細設定ダイアログボックスの種類

詳細設定ダイアログボックスには、以下の種類があります。

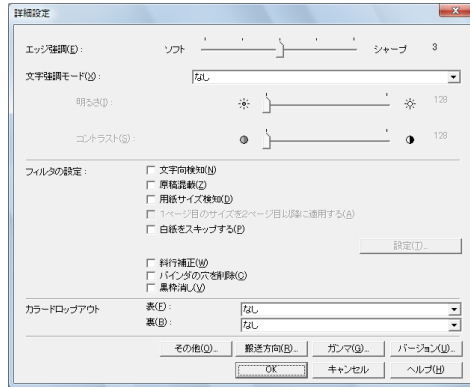
#### 詳細設定ダイアログボックス (ISIS ドライバ)

ISIS 互換アプリケーション (CapturePerfect など) で表示される詳細設定ダイアログボックスです。



#### 詳細設定ダイアログボックス拡張版 (ISIS ドライバ)

ISIS 互換アプリケーションで、スキャンまたは設定用に用意された独自のダイアログボックスから ISIS ドライバを呼び出したときに表示される詳細設定ダイアログボックスです。独自の設定ダイアログボックスでサポートされない設定を行います。



### ヒント

[文字強調モード]、[用紙サイズ検知]、[白紙をスキップする]、[斜行補正] については、以下の設定の説明を参照してください。

- [文字強調モード] → [モード]
- [用紙サイズ検知] → [用紙サイズ]
- [白紙をスキップする] → [読み取り面]
- [斜行補正] → [斜行補正]

詳細設定ダイアログボックス (TWAIN ドライバ)  
TWAIN 互換アプリケーション (ジョブ登録ツール) で表示される詳細設定ダイアログボックスです。

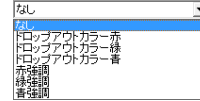


## ■ 詳細設定ダイアログボックスの設定項目

詳細設定ダイアログボックスでは以下の設定を行います。

### カラードロップアウト

読み取りのモードが [24 ビットカラー] 以外のときに有効で、赤 / 緑 / 青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、色強調を設定します。



### エッジ強調

画像の輪郭を調整します。スライダを「ソフト」方向に動かすと画像の輪郭が柔らかくなり、「シャープ」方向に動かすと画像の輪郭がくっきりとします。

### 【文字向検知】 チェックボックス

このチェックボックスをオンにすると、読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像を 90 度単位で回転させます。

フラットベット 原稿：下向き				
フィーダ 原稿：上向き				
文字の向き				
出力画像				

## 原稿混載

スキャナ本体のユーザーモードで「リョウメンドウジヨミ」を「OFF」にしてスキャンするときに、この項目を設定します。

解像度を「600dpi」、読み取り面の設定を「両面」または「白紙をスキップする」にしてスキャンした場合に、サイズが異なる原稿の混載が検知されると「コンサイヨケンチシマシタ」のエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーメッセージが表示されたときにこのチェックボックスをオンにしてください。

### ! 重要

- [原稿混載] をオンにして読み取る場合、搬送速度が遅くなる場合があります。
- 原稿を混載させる場合、原稿は同じ紙厚の原稿をセットしてください。
- 原稿を混載させる場合、原稿はフィーダの奥側にそろえてセットしてください。
- 違う幅の原稿をセットして読み込むと、原稿が斜めに読み込まれることがあります。

1 ページ目のサイズを 2 ページ目以降に適用する

アプリケーションの設定で、「先読みスキャン」がオンの場合に機能し、自動検知で検出した 1 枚目の原稿サイズを 2 枚目以降にも適用します。これにより、原稿サイズの自動検知による読み取り速度の低下が軽減されます。

### ! 重要

先読みスキャンを使用しないアプリケーションでは、この設定は機能しません。なお、CapturePerfect では先読みスキャンはオンに設定されています。

## 黒枠消し

このチェックボックスをオンにすると、読み取った画像の周囲にできる黒い部分を白にします。

## バインダの穴を削除

バインダに閉じられていた原稿を読み取ると、バインダに閉じるための穴の部分が黒くなります。このチェックボックスをオンにすることで、読み取った画像にできる黒い穴の部分を読み取り画像から削除できます。

### ! 重要

文字や図形の上に穴が開けられている場合、穴の部分が図形として認識されるため、削除されないことがあります。

## [白黒反転] チェックボックス (TWAIN ドライバのみ)

白黒 2 値でスキャンした画像を白黒反転させて出力します。

### ! 重要

モードが「256 階調グレー」、「24 ビットカラー」のときは使用できません。

## ボタン

[その他] ボタン

このボタンをクリックすると、[その他の設定] ダイアログボックスが表示されます。

[搬送方向] ボタン (詳細設定ダイアログボックス拡張版から開いた場合のみ)

このボタンをクリックすると、搬送方向設定ダイアログボックスが表示されます。

[ガンマ] ボタン

このボタンをクリックすると、ガンマ設定ダイアログボックスが表示されます。

[バージョン] ボタン (詳細設定ダイアログボックス拡張版から開いた場合のみ)

このボタンをクリックすると、ドライバのバージョン情報が表示されます。

[OK] ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更が反映され基本設定ダイアログボックスに戻ります。

[キャンセル] ボタン

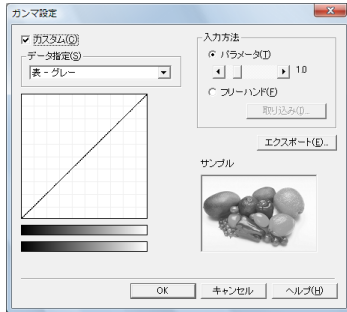
このボタンをクリックすると、設定の変更を反映せずにこのダイアログボックスが閉じます。

[ヘルプ] ボタン

このボタンをクリックすると、画面に表示されているダイアログボックスのヘルプが表示されます。

## ガンマ設定ダイアログボックスの設定項目

詳細設定ダイアログボックスの「ガンマ」ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスです。ガンマ補正值の設定を変更するときに設定します。

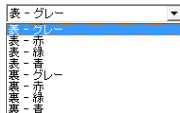


### 【カスタム】チェックボックス

このチェックボックスをオンにするとガンマ補正をカスタム設定するための設定項目が有効になります。

### データ指定

カスタム設定を適用する面と色を指定します。



### ヒント

指定した色に合わせてカラーバー、サンプル画像の色が変わります。

### 入力方法

設定方法を選択してガンマ補正值を設定します。

#### 【パラメータ】

スライダを左右に動かして 0.2 ~ 5.0 の範囲でガンマ補正值を指定します。

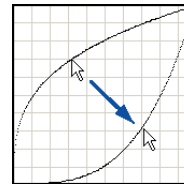
- ガンマ補正值とガンマカーブグラフ、サンプル画像の色は連動して変化します。

- ガンマカーブグラフ上のポイントをマウスでクリックすると、クリックしたポイントに合わせてガンマカーブ、サンプル画像の色が変化します。
- ガンマカーブグラフ上でマウスでドラッグして移動させると、ガンマカーブが追従します。

#### 【フリーハンド】

ガンマテーブルの入力値に対する出力値をマウスで指定します。

- ガンマカーブグラフ上のポイントをマウスでクリックすると、クリックしたポイントに出力値が設定されます。
- ガンマカーブグラフ上でマウスでドラッグして移動させると、マウスの動きに合わせて出力値が設定されます。



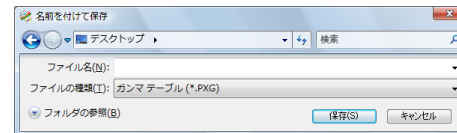
#### 【取り込み】ボタン

【エクスポート】ボタンで書き出したガンマテーブルデータ (\*.pxg) を取り込みます。

取り込んだガンマデータは、ガンマカーブグラフに反映されます。

#### 【エクスポート】ボタン

設定したガンマ補正值を、ガンマテーブルデータ (\*.pxg) としてファイルに書き出します。



### ヒント

ガンマテーブルデータ (\*.pxg) は 258 行のテキストデータで任意のデータを作成することができます。詳細については ISIS/TWAIN ドライバのヘルプの「ガンマテーブルファイル」を参照してください。



## ボタン

### 【OK】 ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更が反映され基本設定ダイアログボックスに戻ります。

### 【キャンセル】 ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更を反映せずにこのダイアログボックスが閉じます。

### 【ヘルプ】 ボタン

このボタンをクリックすると、画面に表示されているダイアログボックスのヘルプが表示されます。

## 【その他の設定】 ダイアログボックス

詳細設定ダイアログボックスの【その他】 ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスです。

給紙方法やプレスキャンに関する設定を行います。

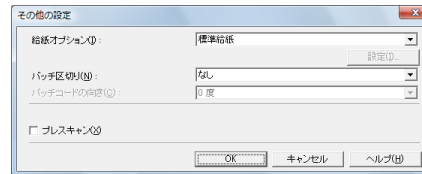
使用するアプリケーションによって設定できる項目が異なります。実際に表示される画面に合わせて設定を行ってください。

### ■ 【その他の設定】 ダイアログボックスの種類

【その他の設定】 ダイアログボックスには、以下の種類があります。

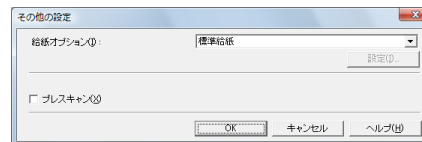
#### 【その他の設定】 ダイアログボックス (ISIS ドライバ)

ISIS 互換アプリケーション (CapturePerfect など) で表示される【その他の設定】 ダイアログボックスです。



#### 【その他の設定】 ダイアログボックス (TWAIN ドライバ)

TWAIN 互換アプリケーション (ジョブ登録ツール) で表示される【その他の設定】 ダイアログボックスです。



## ■ [その他の設定] ダイアログボックスの設定項目

[その他の設定] ダイアログボックスでは以下の設定を行います。

### 給紙オプション

原稿の給紙方法を選択します。

#### [標準給紙]

アプリケーションソフトで読み取りを開始すると、フィーダまたはフラットベッドにセットされている原稿が読み取られます。すべての原稿が給紙されると読み取りの動作が終了します。

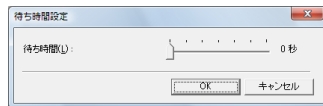
#### [パネルで給紙]

アプリケーションソフトで読み取りを開始すると、フィーダまたはフラットベッドにセットされている原稿が読み取られます。その後、新しい原稿をフィーダまたはフラットベッドにセットしてスキャナ本体の Start キーを押すことにより、続けて読み取りを行うことができます。読み取りの動作を終了させるには、スキャナ本体の Stop キーを押すか、アプリケーションソフトで読み取りを中止します。

#### [自動給紙]

アプリケーションソフトで読み取りを開始した後、フィーダに原稿をセットすると自動的に原稿が検知されて読み取りが行われます。読み取りの動作を終了させるには、スキャナ本体の Stop キーを押すか、アプリケーションソフトで読み取りを中止します。

この項目を選択したときは、[設定] ボタンが有効になります。このボタンをクリックすると、[待ち時間設定] ダイアログボックスが表示され、給紙を始めるまでの待ち時間を指定できます。



このダイアログボックスでは、原稿を検知してから給紙を始めるまでの時間を、スライダを左右にドラッグして 0 ~ 60 秒の範囲で指定できます。

## ! 重要

- 基本設定ダイアログボックスの [読み取り面] の設定 (または、ISIS 互換アプリケーションソフト独自の設定ダイアログボックスでの読み取り面の設定) によって、[給紙オプション] の設定が次のように制限されます。
  - [読み取り面] を「フラットベッド」にしたときは、[給紙オプション] に「自動給紙」は表示されません。
  - [読み取り面] を「自動」にし、[給紙オプション] を [自動給紙] に設定してスキャンを開始すると、次のように動作します。
    - ・フィーダに原稿がセットされると、フィーダの原稿をスキャンします。
    - ・フラットベッドは待機状態になります ([給紙オプション] で [パネルで給紙] を選択しているときと同じ動作です)。原稿をフラットベッドにセットしてスキャナの Start キーを押すとスキャンを開始します。
    - ・Stop キーを押すとスキャンを終了します。
- [給紙オプション] の「パネルで給紙」および「自動給紙」は、給紙口に一度にセットできない原稿を分割してスキャンしたいときや、[バッチ区切り] を「自動」または「パネル」に設定してバッチ区切り機能を使いたいときに使用します。

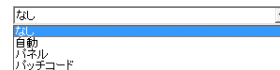
### バッチ区切り (ISIS ドライバのみ)

アプリケーションでバッチ区切りを有効にしてスキャンを開始したときのバッチ区切りのタイミングを選択します。給紙オプションの設定で選択肢が異なります。

- 給紙オプションが [標準給紙] の場合



- 給紙オプションが [パネルで給紙]、[自動給紙] の場合



#### [なし]

バッチ区切りを行いません。

#### [自動]

[給紙オプション] が「パネルで給紙」のときは、スキャナ本体の Start キーを押すごとにバッチが区切られます。

[給紙オプション] が「自動給紙」のときは、原稿をフィーダにセットするごとにバッチが区切られます。

### 【パネル】

スキャナ本体の New File キーが押されたときバッチ区切りを行います。

### 【パッチコード】

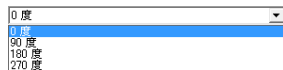
原稿の間に挿入されたパッチコードシートを検知した時にバッチが区切られます。詳細については [3-19 ページ「パッチコードシートの利用」](#) を参照してください。

### ! 重要

アプリケーションでマルチストリームが有効になっていると【パッチコード】は表示されません。

### パッチコードの向き (ISIS ドライバのみ)

バッチ区切りの設定を【パッチコード】にしたときに有効になり、パッチコードシートのパッチコードの向きに合わせて設定します。



### 💡 ヒント

【パッチコードの向き】は、原稿内のパッチコードに合わせて以下のように設定します。

フラットベット 原稿：下向き				
フィーダ 原稿：上向き				
パッチコード シート				
パッチコード の向き	0度	90度	180度	270度

### プレスキャン

スキャン開始時に原稿を 1 枚スキャンしてプレスキャンパネルを表示します。スキャンした画像をプレスキャンウィンドウに表示し、明るさとコントラストを確認 / 調整してからスキャンを続行します。



### ボタン

#### 【OK】 ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更が反映され基本設定ダイアログボックスに戻ります。

#### 【キャンセル】 ボタン

このボタンをクリックすると、設定の変更を反映せずにこのダイアログボックスが閉じます。

#### 【ヘルプ】 ボタン

このボタンをクリックすると、画面に表示されているダイアログボックスのヘルプが表示されます。

# 第7章 ジョブ登録ツールの設定

1. お使いになる前に .....	7-2
ジョブ機能 .....	7-2
ジョブ登録ツールの起動 .....	7-2
2. ジョブ登録ツール .....	7-3
3. 設定ダイアログボックス.....	7-4
[新規 / 編集] ダイアログボックス.....	7-4
[管理] ダイアログボックス .....	7-9

## 1. お使いになる前に

ジョブ登録ツールは、操作パネルの Job キーから実行するジョブを登録するためのアプリケーションです。本章では、ジョブ登録ツールの設定について説明します。ジョブ機能については [3-11 ページ「ジョブ機能について」](#) を参照してください。

### ジョブ機能

ジョブ機能は、ジョブ登録ツールによって登録されたジョブを操作パネルの Job キーで選択 / 実行する機能で、ジョブ機能ではスキャニングアプリケーションを使用しないでスキャンが実行されます。

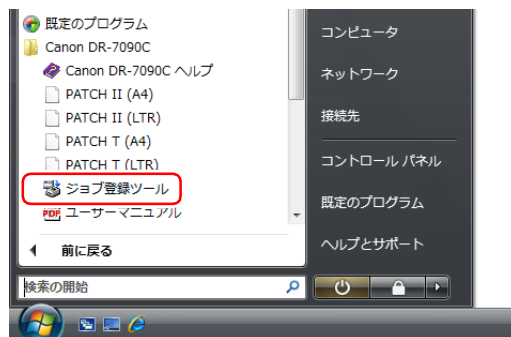
#### ヒント

- ジョブには、スキャン条件や、保存する画像データのファイル形式、保存先が登録され、ジョブ機能でスキャンした画像データはジョブに登録されている条件で処理されます。
- ジョブ登録ツールには最大 99 個のジョブを登録することができます。

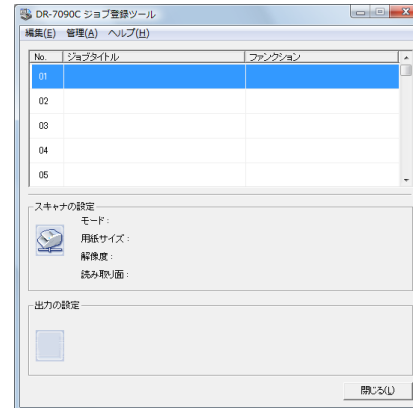
### ジョブ登録ツールの起動

ジョブ登録ツールは以下の手順で起動します。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Canon DR-7090C] - [ジョブ登録ツール] をクリックします。

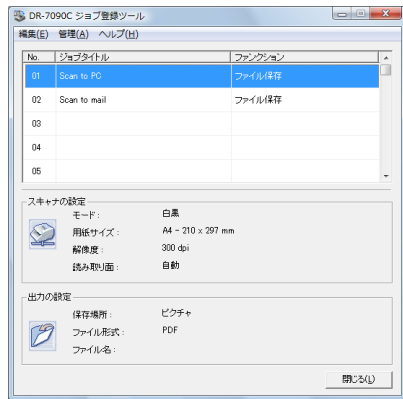


ジョブ登録ツールが起動します。



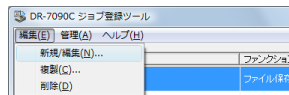
## 2. ジョブ登録ツール

ジョブ登録ツールは、以下のメイン画面と、[新規 / 編集]、[管理] の2つのダイアログボックスで構成されます。ダイアログボックスについてはそれぞれのダイアログボックスの説明を参照してください。



### メニューバー

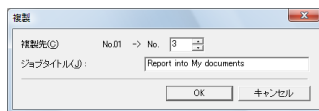
#### [編集] メニュー



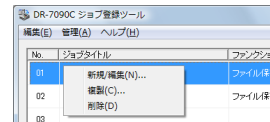
ジョブ一覧からジョブを選択して、ジョブの新規登録 / 編集および複製や削除を行います。(→ P.7-4 [新規 / 編集] ダイアログボックス])

#### ヒント

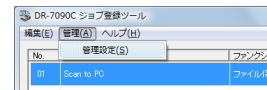
- 登録されているジョブを選択すると、[複製] と [削除] が有効になります。複製を選択すると、以下のダイアログボックスが表示され、複製先のジョブ No. とジョブタイトルを指定して [OK] ボタンをクリックするとジョブが指定したジョブNo. に複製されます。



- 削除を選択すると、確認のメッセージを表示します。
- [編集] メニューの項目は、ジョブをマウスの右ボタンでクリックするとサブメニューで表示されます。

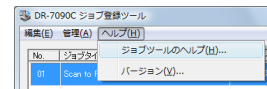


#### [管理] メニュー



[管理] ダイアログボックスを開き、画像を保存するフォルダの監視とジョブデータのバックアップについて設定します。(→ P.7-9 [[管理] ダイアログボックス])

#### [ヘルプ] メニュー



ジョブ登録ツールのヘルプおよび、バージョン情報を表示します。

### ジョブ一覧

ジョブ No. (01 ~ 99) とジョブタイトルを表示します。

### 登録ジョブ情報

ジョブ一覧で選択されているジョブの情報を表示します。

### [閉じる] ボタン

ジョブ登録ツールを終了します。

### 3. 設定ダイアログボックス

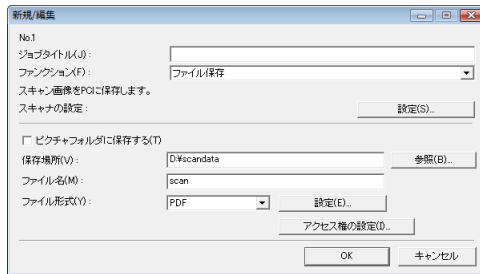
ジョブ登録ツールの設定ダイアログボックスは「新規 / 編集」ダイアログボックスと、「管理」ダイアログボックスで構成されます。詳細についてはそれぞれのダイアログボックスの説明を参照してください。

#### 【新規 / 編集】ダイアログボックス

「新規 / 編集」ダイアログボックスでは、ジョブの新規登録と登録されているジョブの編集を行います。「ファンクション」の設定によってダイアログボックスの表示が次のように異なります。

##### ファイル保存

スキャンした画像を指定したコンピュータに保存します。



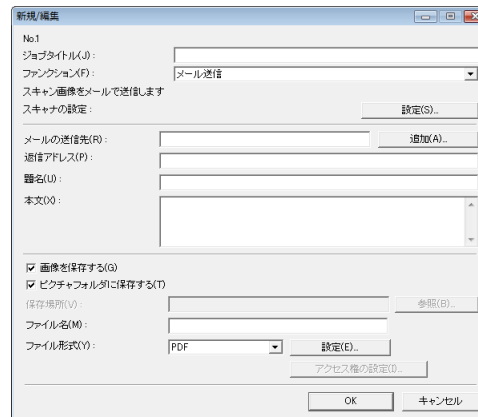
##### 印刷

スキャンした画像を指定したプリンタで印刷します。



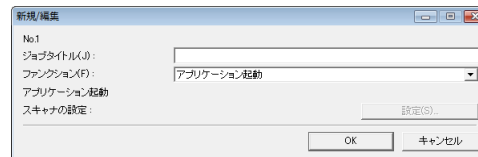
##### メール送信

スキャンした画像を電子メールに添付して送信します。



##### アプリケーション起動

Windows のイベント機能で設定されているアプリケーションを起動します。



**ヒント**

[新規 / 編集] ダイアログボックスに表示される設定項目は、[ファンクション]の設定によって異なります。(→ P.7-5「[ファンクション]」)

ファンクション 設定項目	ファイル 保存	印刷	メール 送信	アプリケー ション起動
No.	○	○	○	○
ジョブタイトル	○	○	○	○
スキャナの設定	○	○	○	○
メールの送信先	-	-	○	-
画像を保存する	-	-	○	-
マイピクチャフォルダに 保存する	○	-	○	-
保存場所	○	-	○	-
ファイル名	○	-	○	-
ファイル形式	○	-	○	-
アクセス権の設定	○	-	○	-
プリンタ	-	○	-	-
プリント形式	-	○	-	-

○：使用可、-：使用不可

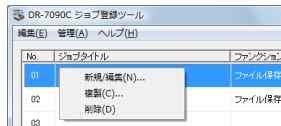
**■ [新規 / 編集] ダイアログボックスの開き方**

ジョブ一覧に表示されているジョブNo. をマウスの左ボタンでダブルクリックすると [新規 / 編集] ダイアログボックスが開きます。

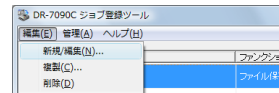
**ヒント**

[新規 / 編集] ダイアログボックスは、以下の方法でも開くことができます。

- 登録するジョブ No. をマウスの右ボタンでクリックし、サブメニューの [新規 / 編集] をクリックします。



- 登録するジョブ No. をマウスの左ボタンで選択し、編集メニューの [新規 / 編集] をクリックします。

**■ [新規 / 編集] ダイアログボックスの設定**

[新規 / 編集] ダイアログボックスでは以下の設定を行います。

**No.**

選択したジョブの No. を表示します。

**ジョブタイトル**

操作パネルの表示パネルに表示させるジョブタイトルを入力します。

**ヒント**

- ジョブタイトルに入力できる文字数は、半角英数カナで最大 29 文字です。
- 半角カナの場合、濁音 (゜)、半濁音 (゚) も 1 文字になります。

**[ファンクション]**

ジョブごとに設定するファンクションを指定します。指定したファンクションに合わせて、[新規 / 編集] ダイアログボックスが変更されます。(→ P.7-4「[新規 / 編集] ダイアログボックス」)

**ヒント**

[アプリケーション起動] で起動させるアプリケーションは、Windows の「イベント機能」で設定します。(→ P.3-13「イベント機能の設定」)



## スキャナの設定

[設定] ボタンをクリックして、スキャナの設定を行います。

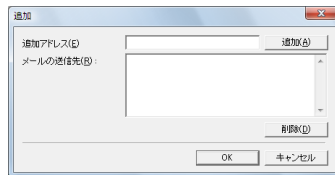


## [メールの送信先]

スキャンした画像を送る相手のメールアドレスを入力しません。

### [追加] ボタン

複数の相手に同時に送信するとき、[追加] ボタンをクリックして複数の相手のメールアドレスを入力します。



### [返信アドレス]

送信者のメールアドレスを入力します。

### [題名]

送信するメールのタイトルを入力します。

### [本文]

送信するメールの本文を入力します。

## [画像を保存する]

スキャンした画像を保存する場合にチェックします。

## [マイピクチャフォルダに保存する] チェックボックス

Windows にログインしているユーザーのマイピクチャフォルダに画像ファイルを保存します。



### ヒント

- [マイピクチャ] は、お使いの Windows の呼称に合わせて表示が変更します。  
例) My Pictures, マイピクチャ、ピクチャ
- このチェックボックスをオフにすると、[保存場所] と [アクセス権の設定] ボタンが有効になります。

## 保存場所

[マイピクチャフォルダに保存する] チェックボックスをオフにしたときに有効になり、スキャンした画像を保存するフォルダ名を任意に指定します。

## ファイル名

保存するファイル名を入力します。

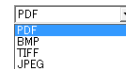


### ヒント

- 入力できる文字数は、半角英数カナで最大 32 文字です。
- ファイル名には、スキャンした時のタイムスタンプが付加されます。

## ファイル形式

保存するファイル形式を選択します。



複数ページの原稿をスキャンしたときの画像ファイルはファイル形式によって以下のようになります。

PDF：全ページが 1 つの画像ファイルに保存されます。

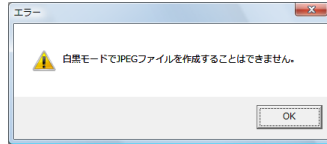
BMP：1 ページ / 1 ファイルで画像ファイルが保存されます。

TIFF：[設定] ボタンで表示される [TIFF 設定] ダイアログボックスで複数ページの原稿をスキャンしたときの保存方法を設定します。

JPEG：1 ページ / 1 ファイルで画像ファイルが保存されます。

**ヒント**

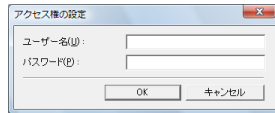
スキャナの設定で [256 階調グレー]、[24 ビットカラー] 以外のモードが選択されているとき、[JPEG] を選択して [OK] ボタンをクリックするとエラーが表示されます。エラーが表示されたときは、ファイル形式を変更するか、スキャナのモードを変更してください。

**[設定] ボタン**

ファイル形式で、[TIFF]、[JPEG] または [PDF] を選択した場合に有効になり、それぞれの設定ダイアログボックスを表示します。(→ P.7-7、7-8)

**[アクセス権の設定] ボタン**

[マイピクチャフォルダに保存する] チェックボックスをオフにしたときに有効になり、保存場所で指定したネットワーク上の共有フォルダにアクセスするためのユーザー名とパスワードを設定します。



ネットワーク上の共有フォルダには、アクセス権を設定して利用者を制限している場合があります。この場合、ユーザー名とパスワードを入力しなければ共有フォルダにアクセスすることができません。コンピュータの管理者に共有フォルダに設定されているアクセス権を確認し、ユーザー名とパスワードを入力します。

**[プリンタ]**

[プリンタの設定] ボタンをクリックして、画像を印刷するプリンタを設定します。

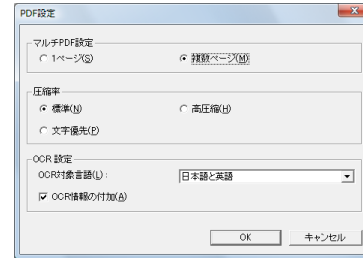
**[プリント形式]**

原稿と同じサイズで印刷するときは [用紙にあわせる] を選択します。

スキャンした原稿のサイズが印刷する用紙より大きい場合に、印刷する用紙のサイズにあわせて印刷するときは [用紙にあわせる] を選択します。

**■ [PDF 設定] ダイアログボックスの設定**

[PDF 設定] ダイアログボックスでは以下の設定を行います。

**マルチ PDF 設定**

複数ページの原稿をスキャンしたときの PDF ファイルの保存方法を選択します。

**ヒント**

- [1 ページ] を選択すると、スキャンした原稿が 1 ページにつき 1 ファイルずつ PDF ファイルに保存されます。
- [複数ページ] を選択すると、全ページが 1 つの PDF ファイルに保存されます。

**圧縮率**

PDF ファイルの圧縮率を選択します。

**ヒント**

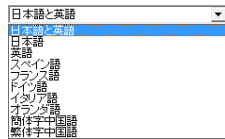
- [標準] を選択すると、標準の圧縮率で保存されます。
- [高圧縮] を選択すると、ファイルが高圧縮で保存されます。画質は若干劣化しますがファイルのサイズは小さくなります。
- [文字優先] を選択すると、文字の可読性を損なわないように文字以外の部分が圧縮されて保存されます。

**！ 重要**

圧縮率の設定は、スキャナ設定時に指定した読み取りのモードが [256 階調グレー] または [24 ビットカラー] の場合に有効です。読み取りのモードで [白黒]、[誤差拡散] などの 2 値画像を選択した場合、読み取る原稿によりファイルのサイズが変わります。

**OCR 対象言語**

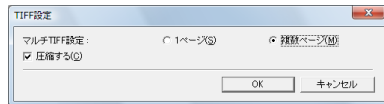
[OCR 情報の付加] チェックボックスをオンにしたとき、読み取る活字の対象となる言語をリストボックスの中から選択します。



OCR 情報を付加した PDF ファイル (\*.pdf) には、画像として取り込まれた原稿の文字列が文字認識されてテキストデータとして保存されています。

**■ [TIFF 設定] ダイアログボックスの設定**

[TIFF 設定] ダイアログボックスでは以下の設定を行います。

**マルチ TIFF 設定**

複数ページの原稿をスキャンしたときの画像ファイルの保存方法を設定します。

**💡 ヒント**

- [1 ページ] を選択すると、1 ページ / 1 ファイルで画像ファイルが保存されます。
- [複数ページ] を選択すると、全ページが 1 つの画像ファイルに保存されます。

**[圧縮する] チェックボックス**

このチェックボックスをオンにすると、画像ファイルが圧縮されて保存されます。画像の種類が白黒 2 値の場合 [CCITT\_ グループ 4]、画像の種類がグレーおよびカラーの場合は JPEG で圧縮されます。このチェックボックスをオフにした場合、保存されるファイルサイズが大きくなります。

**💡 ヒント**

- [CCITT\_ グループ 4] は、FAX 機器などのデータ通信で使用されている圧縮形式で、白黒 2 値画像の圧縮形式として使用されます。
- [JPEG] は、グレースケールやカラー画像の保存に使用されている圧縮形式です。[圧縮する] を選択した場合は、JPEG ファイルの標準の圧縮率が適用されます。

**💡 ヒント**

お使いのアプリケーションが上記の圧縮形式に対応していない場合、スキャンした画像ファイルが開けないことがあります。このようなときは [圧縮する] をオフに変更してスキャンしてください。

**■ [JPEG ファイル設定] ダイアログボックスの設定**

[JPEG ファイル設定] ダイアログボックスでは以下の設定を行います。



## 品質

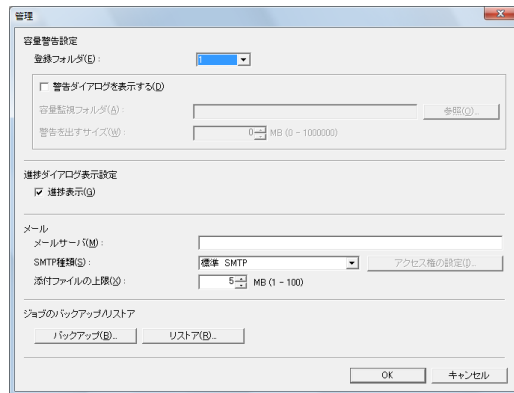
JPEG ファイルの画質を選択します。

### ヒント

- [高画質] を選択すると、ファイルが高画質で保存されます。画質は高くなりますがファイルのサイズは大きくなります。
- [標準] を選択すると、標準の圧縮率で保存されます。
- [高圧縮] を選択すると、ファイルが高圧縮で保存されます。画質は若干劣化しますがファイルのサイズは小さくなります。
- [任意設定] を選択すると、スライダが有効になり、画質を手動で指定できます。

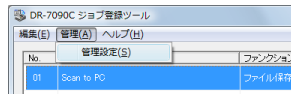
## 【管理】ダイアログボックス

【管理】ダイアログボックスでは、画像を保存するフォルダの監視やメールサーバ、ジョブデータのバックアップについて設定します。



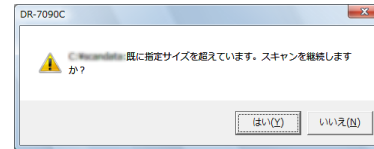
## ■【管理】ダイアログボックスの開き方

【管理】ダイアログボックスは、管理メニューの「管理設定」をクリックして開きます。



## ■容量警告の設定

容量警告設定は、画像ファイルを保存するフォルダをあらかじめ特定しておき、特定したフォルダに対して保存できる容量を設定します。スキャン開始時または、スキャン中にファイルの総容量が設定したサイズを超えたときに警告メッセージを表示します。



## 登録フォルダ

容量警告設定は、最大 5 つのフォルダに設定することができます。[登録フォルダ] で登録するフォルダの番号 (1 ~ 5) を選択します。



## 【警告ダイアログを表示する】チェックボックス

選択した登録フォルダの番号に対して容量制限を行う場合にチェックし、容量制限を監視するフォルダの指定と警告を出すサイズを設定します。

## 容量監視フォルダ

容量制限を行うフォルダを指定します。

## 警告を出すサイズ

指定したフォルダに保存されるすべてのファイルの合計の上限サイズを入力します。

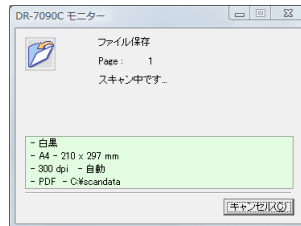
## ! 重要

- CD-R などの媒体に保存するときは、媒体に保存できる容量を指定します。
- 容量制限が有効になっている場合、設定されたフォルダの中のファイルの総合計が上限サイズを超えていると、スキャン開始時に警告メッセージが表示されます。
- 警告が表示されたときは、メッセージに従い、そのまま継続するか、保存先を変更してスキャンを行ってください。

## ■ 進捗表示の設定

### [進捗表示] チェックボックス

このチェックボックスをオンにすると、スキャンの進行状況を示すダイアログボックスがスキャン中に表示されません。



## ■ メールサーバの設定

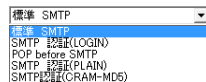
電子メールで使用しているメールサーバの設定を入力します。

### [メールサーバ]

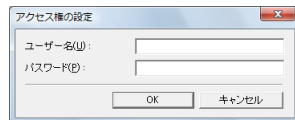
メールサーバの IP アドレスを入力します。

### [SMTP 種類]

お使いのメールサーバの種類を指定します。



[標準 SMTP] 以外を選択した場合、[アクセス権の設定] ボタンをクリックして [アクセス権の設定] ダイアログボックスを表示し、メールサーバに登録されているアカウントを入力する必要があります。



### [添付ファイルの上限]

[メール送信] を指定したときに、添付する画像ファイルのサイズの上限を設定します。スキャンした画像のサイズが設定したサイズになるとメッセージを表示してスキャンを中止します。

#### ! 重要

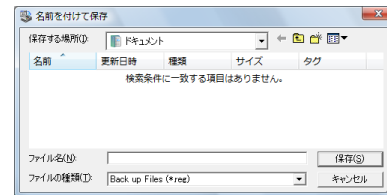
- メールサーバの設定について不明な点は、お使いのメールサーバの管理者にお問い合わせください。
- [添付ファイルの上限] では、メールサーバで制限されている添付ファイルのサイズの上限を超える設定にしないでください。

## ■ ジョブのバックアップの設定

ジョブのバックアップは、登録したジョブのバックアップと、複数のユーザーで Windows にログインして使用するときや本機を複数台使用しているときなど異なる環境で同じジョブを使用するときに設定します。

### [バックアップ] ボタン

登録したジョブデータのバックアップファイル (\*.reg) を任意のフォルダに書き出します。



### [リストア] ボタン

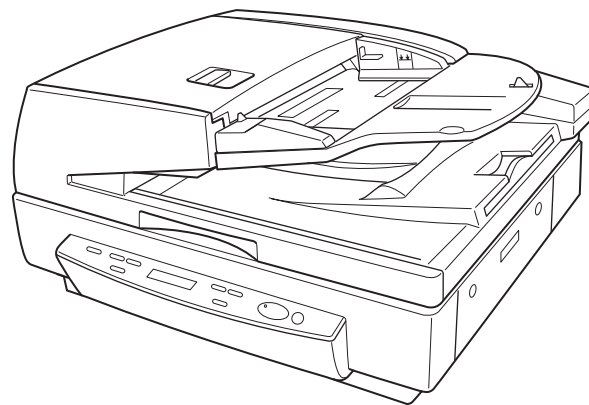
書き出したバックアップファイル (\*.reg) を読み込んで、ジョブデータを復元します。

#### 💡 ヒント

登録されているジョブ No. と、バックアップファイルに同じジョブ No. がある場合、バックアップファイルのデータが登録されているジョブに上書きされます。

# ユーザーマニュアル（機能詳細編）

## こんなときは



ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

---

## 目次

### 第8章 こんなときは（ハードウェア編）

- 1. メッセージ..... 8-2
  - ステータス表示..... 8-2
  - エラーメッセージ..... 8-2
- 2. 困ったときは..... 8-5
  - トラブルの種類..... 8-5
  - 現象と対処方法..... 8-5
- 3. ソフトウェアのアンインストール..... 8-10
  - ISIS/TWAIN ドライバのアンインストール..... 8-10

### 第9章 こんなときは（ソフトウェア編）

- 1. 基本条件の設定について..... 9-2
  - 読み取りの基本条件の確認..... 9-2
- 2. こんなときは..... 9-4
  - 用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り..... 9-4
  - スキャン領域の指定..... 9-5
  - 目的に合わせたスキャナ設定..... 9-5
  - 設定の登録..... 9-8

### 第10章 付 録

- 1. 仕様..... 10-2
  - 本体仕様..... 10-2
  - 消耗品..... 10-3
  - 外形寸法図..... 10-4
- 2. 保証とアフターサービス..... 10-5
  - 保証とアフターサービス..... 10-5
  - サービス&サポートのご案内..... 10-5
  - 保守サービスのご案内..... 10-6
- 3. 索引..... 10-8

## 第 8 章 こんなときは（ハードウェア編）

1. メッセージ.....	8-2
ステータス表示.....	8-2
エラーメッセージ.....	8-2
2. 困ったときは.....	8-5
トラブルの種類.....	8-5
現象と対処方法.....	8-5
3. ソフトウェアのアンインストール.....	8-10
ISIS/TWAIN ドライバのアンインストール.....	8-10



# 1. メッセージ

表示パネルに表示されるメッセージには、スキャナの状態を表示する「ステータス表示」と、スキャナにトラブルが発生した時に表示する「エラーメッセージ」があります。

## ステータス表示

スキャナの状態によって表示パネルには以下のメッセージが表示されます。

### ■ カウント オンリー モード

```

カウ ント   オンリー   モー ド
                                0 0 0 0 0
  
```

状態：カウントオンリーモードで動作中です。

### ■ スキャン カノウ

```

スキャン   カノウ
                                0 0 0 0 0
  
```

状態：スキャナが使用可能です。このままの状態でも10分間何も操作されないとスリープモードに移行します。

### ■ スキャンチュウ ...

```

スキャン   チュウ . . .
                                x x x x x
  
```

状態：スキャン中です。

### ■ スリープチュウ ...

```

スリープ   チュウ . . .
  
```

状態：スリープモードに移行しています。どれかキーを押すと復帰します。

### ■ シバラクオマチクダサイ

```

シハ`ラク   オマチクダ`サイ
  
```

状態：スキャナが処理中です。表示が変わるまでお待ちください。

### ■ 01 : XXXXXXXX

```

0 1 : X X X X X X X X
  
```

状態：スキャナがジョブモードになっています。[Start] ボタンを押してスキャンを行なうか、[Stop] ボタンを押してジョブモードを解除します。(→ P.3-11 「ジョブ機能について」)

## エラーメッセージ

表示パネルに以下のメッセージが表示された場合、本機にエラーが発生しています。対処方法に合わせて処理を行ってください。

### ■ カバーガ アイテマス

```

カハ`ーカ`   アイテイマス
                                C x x x
  
```

エラーコード：C001

原因：フィーダが開いています。

対処：フィーダを閉じてください。

エラーコード：C002

原因：フィーダカバーが開いています。

対処：フィーダカバーを閉じてください。

## ■ カミガ ツマリマシタ

カミカ° ツマリマシタ  
P x x x

エラーコード：Pxxx

原因：紙詰まりです。

対処：詰まっている原稿を取り除いてください。  
(→ P.3-22)

## ■ キュウシニ シッパイシマシタ

キュウシニ シッパ° イシマシタ  
A x x x

原因：フィーダで給紙エラーが発生しました。

対処：原稿を確認し、やり直してください。給紙エラーが続けて表示される場合は、フラットベッドでスキャンしてください。

## ■ ソウシン シッパイ

ソウシン シッパ° イ

原因：ジョブ機能で画像データをソウシンする際の送信エラーです。

対処：ジョブ登録ツールで設定を確認してから、スキャンし直してください。詳しくは「ソフトウェア編」の「[第7章 ジョブ登録ツールの設定](#)」を参照してください。

## ■ コンサイヲ ケンチシマシタ

コンサイヲ ケンチシマシタ  
J x x x

原因：解像度 600dpi で読み込み中に、サイズが異なる原稿を検知しました。

対処：原稿のサイズを確認してから、スキャンし直してください。サイズが異なる原稿をスキャンしたときにこのメッセージが表示されたときは、スキャナ設定で原稿混載モードを「オン」にすることでエラーメッセージが表示されなくなります。

## ■ サービスコールエラー

サービ° ス コール エラー  
E x x x x x x x

エラーコード：E2020001

原因：輸送用ビスが取り付けられたままになっています。

対処：電源を切り、輸送用ビスを取り外してください。  
(→ P.1-2)

エラーコード：E2250101

原因：裏面の読み取りセンサーの光量が不足しています。

対処：電源を入れ直すと、「ドウジョミハ ムコウデス」というメッセージが表示されます。(→ P.8-4「[ドウジョミハ ムコウデス](#)」)

エラーコード：E4000100

原因：背面のケーブルが外れています。

対処：電源を切ってから、背面のケーブルを確認し、外れているケーブルを接続してください。(→ P.1-4「[本体背面のケーブルの確認](#)」)

エラーコード：Exxxxxxx (上記以外のエラーコード)

原因：スキャナの内部エラーです。

対処：電源を入れ直してください。電源を入れ直してもエラーが表示されるときにはエラーコードを控えて、担当サービスに連絡してください。

## ■ ドウジヨミハ ムコウデス

ト° ウシ° ヨミハ ムコウテ° ス

**原因：**「サービスコールエラー E2250101」（裏面の読み取りセンサーの光量不足）が表示された後にスキャナの電源を入れ直した状態です。

**対処：**原稿の裏面の光量不足により、両面同時スキャンが無効になっています。操作パネルの任意のキーを押すと、エラー表示が解除されてスキャンできるようになります。お買い求めの販売店または担当サービスにエラーメッセージを連絡し、裏面の読み取りセンサーを交換してください。

## 2. 困ったときは

スキャナを使用するとき起こりうるトラブルと対処方法について説明します。

### トラブルの種類

トラブルには以下のような現象が考えられます。

- 電源が入らない (→ P.8-5)
- 「シバラク オマチクダサイ」の表示が消えない (→ P.8-5)
- スキャナが認識されない (USB 接続の場合) (→ P.8-5)
- スキャナが認識されない (SCSI 接続の場合) (→ P.8-6)
- スキャンできない (→ P.8-6)
- スキャン速度が遅い (→ P.8-7)
- 正しく給紙されない (→ P.8-7)
- 保存した画像ファイルが開けない (→ P.8-8)
- スキャン結果がおかしい (→ P.8-8)
- 表示パネルが正常に表示されない (→ P.8-9)
- ジョブ機能が正常に動作しない (→ P.8-9)

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または担当サービス、サービス窓口にご相談ください。

### 現象と対処方法

#### ■ 電源が入らない

スキャナの電源が入らない時は最初に次のことを確認してください。

- ✓ 電源コードが正しく接続されているか？
- ✓ 電源プラグがコンセントに差し込まれているか？

#### ■ 「シバラク オマチクダサイ」の表示が消えない

背面のケーブルの接続を確認し、電源を入れ直してください。  
電源を入れ直しても表示が消えないときは担当サービスに連絡してください。

シハ<sup>ラ</sup>ク オマチクダ<sup>サイ</sup>

#### ■ スキャナが認識されない (USB 接続の場合)

USB 接続でスキャナが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

**原因** お使いのUSBインターフェースにスキャナが対応していない

**対処方法** 本製品は、すべてのUSBインターフェースでの動作を保証していません。詳細については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。

**原因** USBケーブルがスキャナが対応していない

**対処方法** 同梱のUSBケーブルをお使いください。

**原因** USBハブを使用している

**対処方法** USBハブを取り外してお使いください。

**原因:** SCSIターミネータがオンになっていない

**対処:** USB接続で使用する場合でも、SCSIターミネータがオンになっていないと正常にスキャンできないことがあります。SCSIターミネータは必ずオンにしてお使いください。(→P.2-7 [SCSI IDとターミネータの設定])

## ■ スキャナが認識されない（SCSI 接続の場合）

SCSI 接続でスキャナが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？
- ✓ お使いの SCSI カードが正常に動作しているか？
- ✓ PCの電源をオンにしてからスキャナの電源をオンにしているか？

### ! 重要

SCSI の場合、スキャナの電源を後からオンにすると PC が正常に認識できない場合があります。

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	お使いのSCSIインターフェースにスキャナが対応していない
対処方法	推奨の SCSI カードをお使いください。 (→ P.2-3)
原因	SCSI ID の重複
対処方法	デジチェーン接続で使用している他の SCSI 機器と SCSI ID が重複しないように設定してください。
原因	SCSI ターミネータの設定ミス
対処方法	本機と PC の間に SCSI 機器を接続する場合、間に入れる SCSI 機器のターミネータは必ずオフに設定してください。
原因	デジチェーン接続による不具合
対処方法	デジチェーン接続を中止してお使いください。

## ■ スキャンできない

読み取りの操作を行ってもスキャンできないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	ISIS/TWAIN ドライバとジョブ登録ツールが正常にインストールされていない
対処方法	ISIS/TWAIN ドライバとジョブ登録ツールをアンインストールして、インストールを最初からやり直してください。
原因	他のアプリケーションがスキャナドライバを使用している
対処方法	起動中のアプリケーションを終了させてください。
原因	スキャナ設定の高条件の組み合わせによるメモリ不足
対処方法	使用中のアプリケーションを終了し、再起動後にスキャン設定を変更してからやり直してください。

### ! 重要

システムエラーなどによりスキャナがまったく動作しなくなったときは、スキャナの電源をオフにし、10 秒以上待ってからスキャナの電源をオンにしてください。その後、エラーが続いて発生するようなときは、スキャナとコンピュータを再起動してください。

## ■ スキャン速度が遅い

スキャン速度が遅いときは最初に次のことを確認してください。

USB インターフェイスが Hi-Speed USB2.0 の速度を得られていない環境では、スキャン速度が低下します。

- ✓ USB インターフェイスに USB Full-Speed (USB1.1 相当) を使用していないか？
- ✓ USB ケーブルは同梱品 (Hi-Speed USB2.0 に対応) を使用しているか？
- ✓ USB ハブで USB1.1 相当のデバイスを同時に使用していないか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	他のアプリケーションが起動している
対処方法	起動中のアプリケーションを終了させてください。
原因	ウイルス対策アプリケーションなど常駐しているアプリケーションによりメモリが不足している
対処方法	常駐しているアプリケーションを終了させてください。
原因	ハードディスクの空き容量が少ないため、TEMP フォルダに一時ファイルを作成できない
対処方法	ハードディスクのファイルを整理して空き容量を増やしてください。

## ■ 両面スキャン時に、原稿の両面を同時にスキャンしない

両面スキャン時に、原稿の両面を同時にスキャンしない(片面ずつスキャンされる)場合は、次のことを確認してください。

- ✓ ユーザーモードの「リヨウメンドウジヨミ」が「ON」に設定されているか？
- ✓ 長尺モードを「ON」に設定していないか？ (→ P.4-2)

### ! 重要

裏面の読み取りセンサーの光量が不足している場合、両面同時スキャンは無効になります。(→ P.8-3)

## ■ 正しく給紙されない

原稿が正しく給紙されないときは、最初に次のことを確認してください。

- ✓ 静電気などで原稿が密着していないか？
- ✓ スキャナが対応していないサイズや紙厚、紙質の原稿を使用していないか？ (→ P.3-2 「原稿について」)
- ✓ ローラーが汚れていないか？
- ✓ ローラーが磨耗していないか？

### ! 重要

- 原稿が密着していると重送の原因になったり、紙厚や紙質によっては紙詰まりの原因になります。原稿をセットする前には、原稿をよく確認してからセットしてください。
- ローラーは消耗品です。ローラーを清掃しても改善が見られないようなときは、お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

その他、以下のような現象と原因が考えられます。

現象:	フィーダでスキャンできない
原因:	ISIS/TWAIN ドライバの【読み取り面】の設定が【フラットベッド】になっている
対処:	【読み取り面】の設定を【フラットベッド】以外に設定してください。

## ■ 保存した画像ファイルが開けない

CapturePerfect 3.0で保存した画像ファイルが他のアプリケーションで開けないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ 開こうとしたアプリケーションがCaptureperfect3.0で保存した画像ファイル (\*.bmp、\*.tif、\*.jpg、\*.pdf)に対応しているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

---

<b>原因</b>	<b>マルチページ TIFF ファイルに対応していない</b>
<b>対処方法</b>	マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションで開いてください。または、CapturePerfect 3.0で保存する TIFF ファイルをシングルページ TIFF ファイルで保存してください。

---

<b>原因</b>	<b>CapturePerfect 3.0 で設定する圧縮形式に対応していない</b>
<b>対処方法</b>	CapturePerfect 3.0で画像ファイルを開き、圧縮形式を[なし]にして保存し直してください。

---

## ■ スキャン結果がおかしい

スキャンした画像がおかしかったりするときは、ISIS/TWAIN ドライバの設定が適切でない場合が多くあり、また、お使いのアプリケーションによっては、本機の機能に対応していないためにスキャンした画像がおかしくなる場合があります。

---

<b>現象</b>	<b>スキャンした画像が濃い（または薄い）</b>
<b>原因</b>	<b>明るさの設定が適正な値になっていない。</b>
<b>対処方法</b>	画像が濃いときは明るさの設定値を高く、画像が薄いときには明るさの設定値を低く調整してください。

---



---

<b>現象</b>	<b>原稿の裏面の文字が写り込む</b>
<b>原因</b>	<b>明るさの設定値が低い。</b>
<b>対処方法</b>	明るさの設定値を高くします。
<b>原因</b>	<b>紙厚が薄い</b>
<b>対処方法</b>	複写機で原稿をコピーしてからスキャンします。

---

<b>現象</b>	<b>両面スキャンができない</b>
<b>原因</b>	<b>読み取り面の設定が【片面】になっている</b>
<b>対処方法</b>	読み取り面を[両面]にてスキャンします。読み取り面の設定を[白紙スキップ]にすると、白紙の面の画像が保存されません。

---

<b>現象</b>	<b>スキャンした画像の周りに黒い枠ができる</b>
<b>原因</b>	指定したサイズより小さい原稿をスキャンした。または、セットした原稿の位置がズレている。
<b>対処方法</b>	用紙サイズの設定を[自動検知]にしてスキャンしてください。

---

<b>現象</b>	<b>スキャンした画像がななめになる（斜行）</b>
<b>原因</b>	<b>原稿ガイドの位置が原稿より広がっています。</b>
<b>対処方法</b>	原稿ガイドの位置を原稿の幅に合わせます。

---

<b>現象</b>	<b>画像にスジや汚れが入る</b>
<b>原因</b>	<b>読み取りガラスやローラーが汚れています</b>
<b>対処方法</b>	フィーダ内部の読み取りガラスおよびフィーダ内部のローラーを清掃してください。(→P.5-2「日常のお手入れ」)
	読み取りガラスにキズが付いている場合にも画像にスジが入る原因になります。このようなときは、お買い求めの販売店に連絡してください。

---

現象	原稿によって画像が異常になる
原因	黒枠消しなどの検知機能を有効にしてスキャンした原稿の中に、原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれている（原稿の端を正常に処理できない）
対処方法	原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれているときは、検知機能をオフにしてスキャンするか、原稿を分けてスキャンしてください。

現象	アプリケーションによって画像が異常になる
原因	アプリケーションが対応していない機能を使用した
対処方法	自動サイズ検知などの設定は、アプリケーションが対応していない場合があり、このような機能を使用してスキャンした場合、スキャン結果が異常になることがあります。 アプリケーションによって画像が異常になるときは、検知機能をオフにしてスキャンしてください。

### ■ 表示パネルが正常に表示されない

以下のような現象と原因が考えられます。

現象	表示パネルが英語で表示される
原因	ユーザーモードで英語表示に設定されている
対処方法	ユーザーモードで日本語表示に設定してください。（→ P.4-2 「ユーザーモードについて」）

現象	表示パネルが暗い
原因	表示パネルの明るさが正しく調整されていない
対処方法	ユーザーモードで [ガメンコントラスト] を調整してください。（→ P.4-2 「ユーザーモードについて」）

### ■ ジョブ機能が正常に動作しない

ジョブのデータはコンピュータに保存されています。ジョブ機能が正常に動作しないときは、次のことを確認してください。

- ✓ コンピュータの電源がオンになっているか
  - ✓ コンピュータとスキャナが正しく接続されているか
- その他、以下のような現象と原因が考えられます。

現象	Jobキーを押してもジョブタイトルが表示されない
----	--------------------------

原因	ジョブ設定ツールでジョブを登録していない。
対処方法	ジョブ設定ツールでジョブを登録してください。詳しくは「ソフトウェア編」の「 <a href="#">第7章 ジョブ登録ツールの設定</a> 」を参照してください。

現象	ジョブを選択しStartキーを押してもジョブ機能が動作しない
----	--------------------------------

原因	Windowsのイベント機能が正しく設定されていない
----	----------------------------

対処方法	Windowsのイベント機能で [DR-7090C Job Tool] が起動するように設定されていない
------	--

現象	ジョブを選択しStartキーを押してもスキャンが行われず「ソウシン シッパイ」というエラーメッセージが表示される
----	--

原因	1) ISIS/TWAIN ドライバを他のアプリケーションで使用している
----	--------------------------------------

	2) フィーダによる給紙が指定されているのに、フィーダに原稿がセットされていない
--	--

対処方法	1) ISIS/TWAIN ドライバを使用しているアプリケーションを終了させてください。
	2) フィーダに原稿をセットして、スキャンし直してください。



## 3. ソフトウェアのアンインストール

スキャナが正常に動作しないようなときは、ソフトウェアを再インストールすることにより解決することがあります。ソフトウェアを再インストールするときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてから再インストールを行ってください。

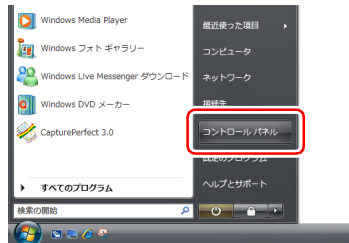
### ISIS/TWAIN ドライバのアンインストール

本項では ISIS/TWAIN ドライバの手順を例に説明します。ジョブ登録ツール、CapturePerfect 3.0 についても同様の手順で行います。それぞれの手順に置き換えてお読みください。

#### 重要

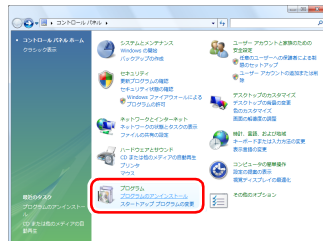
ソフトウェアをアンインストールするときは、必ず Administrator 権限のアカウントで Windows にログインしてください。

1. [スタート] ボタンをクリックし [コントロールパネル] をクリックします。

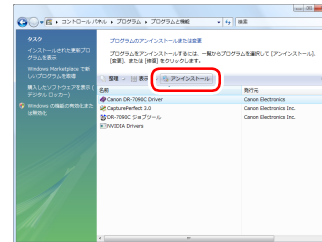


コントロールパネルが表示されます。

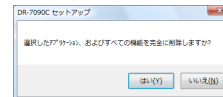
2. [プログラムのアンインストール] (または [プログラムの追加と削除]) をクリックします。



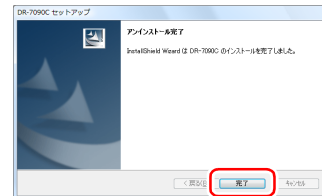
3. プログラムの一覧から削除するアプリケーションを選択し、[アンインストール] (または [削除]) ボタンをクリックします。



ファイル削除の確認画面が表示されます。



4. 「はい」ボタンをクリックしてアンインストールを実行します。
5. アンインストールが完了したら [完了] ボタンをクリックして終了します。



## 第9章 こんなときは（ソフトウェア編）

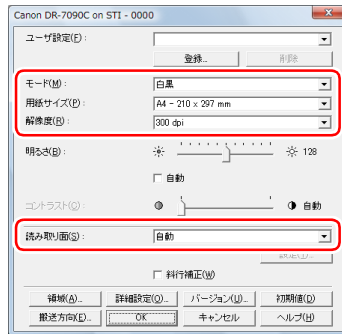
1. 基本条件の設定について.....	9-2
読み取りの基本条件の確認.....	9-2
2. こんなときは.....	9-4
用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り.....	9-4
スキャン領域の指定.....	9-5
目的に合わせたスキャナ設定.....	9-5
設定の登録.....	9-8

# 1. 基本条件の設定について

読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。設定の詳細については「[第6章 ISIS/TWAINドライバの設定](#)」を参照してください。

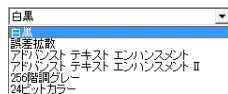
## 読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「モード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



## モード

スキャンするモードを選択します。



### ヒント

【アドバンスドテキストエンハンスメント】は、文字の周りの地色や背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。

## 用紙サイズ

スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。

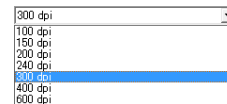


### ヒント

【自動検知】を選択すると、原稿のエッジを検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

## 解像度

スキャンする解像度を選択します。

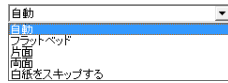


### ヒント

解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなります。

## 読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



### ヒント

- フラットベッドでスキャンするときは、読み取り面を [フラットベッド] または [自動] にします。
- 読み取り面が [自動] のときはスキャン開始時に給紙トレイに原稿があるとフィーダでスキャンし、給紙トレイに原稿がないときはフラットベッドをスキャンします。
- 読み取り面を [白紙スキップ] にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

## 2. こんなときは

読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。設定の詳細については「第6章 ISIS/TWAINドライバの設定」を参照してください。

### 用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

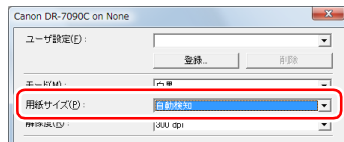
#### ■ 432mm より長い原稿の読み取り (長尺モード)

432mm より長い原稿を読み取るときは、本機の設定を長尺モードに設定し、用紙サイズの設定を「自動検知」に設定することにより 630mm まで長さの原稿を読み取ることができます。

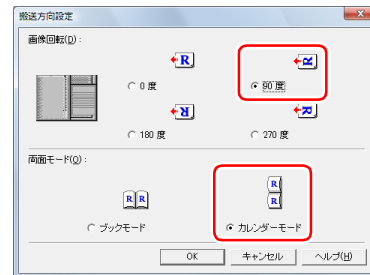
1. ユーザーモードで本機の設定を「長尺モード」にします。  
(→ P.4-2 「長尺モード」)

チ ョ ウ シ ャ ク モ ー ト  
[ 0 N ]      O F F

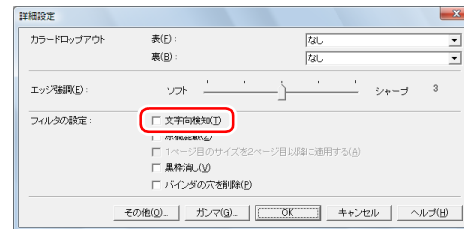
2. 基本設定ダイアログボックスの「用紙サイズ」を「自動検知」にします。



3. 搬送方向設定ダイアログボックスの「画像回転」を「90度」に、「両面モード」を「カレンダーモード」に設定します。



4. 詳細設定ダイアログボックスの「文字向検知」チェックボックスをオフにします。

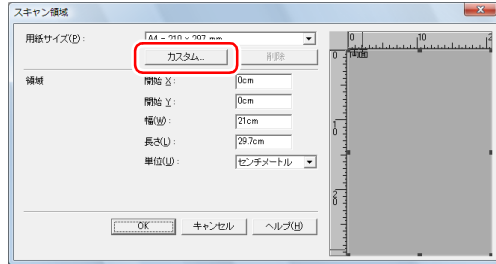


#### ! 重要

- アプリケーションが長尺モードに対応していない場合、長尺モードは使用できません。
- 長い原稿をスキャンするときは、原稿を 1 枚ずつセットしてスキャンしてください。
- モード、解像度の設定によっては画像が欠けることがあります。このような時は、解像度を低くしたり、カラーでスキャンしていたときは白黒にしてスキャンしてください。

## ■ 用紙サイズに登録されていない非定形サイズの登録

用紙サイズに登録されていない非定形サイズの原稿は、基本設定ダイアログボックスの「領域」ボタンから開く「スキャン領域」ダイアログボックスの「用紙サイズ」の設定で、用紙サイズに登録されていない非定形サイズの用紙をカスタム用紙サイズとして名前を付けて登録することができます。(→ P.6-6)

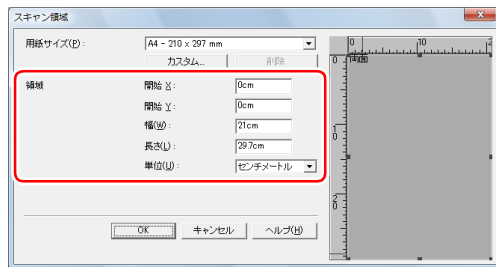


## スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

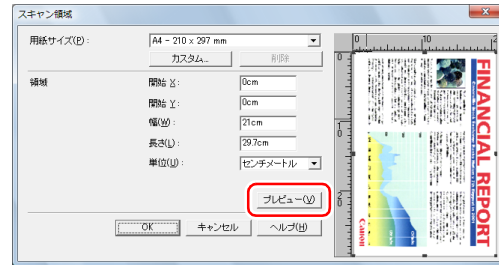
### ■ 領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、スキャン領域ダイアログボックスで領域を指定します。(→ P.6-9)



### 💡 ヒント

- TWAIN ドライバでは、領域を指定する原稿をセットして「プレビュー」ボタンを押すと原稿をスキャンして領域ウィンドウにプレビュー画像を表示します。表示されたプレビュー画像から領域を指定することができます。



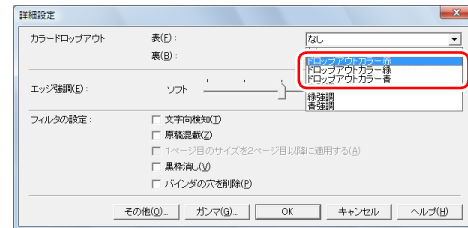
- CapturePerfect 3.0 では、最後にスキャンした画像がプレビューウィンドウに表示されます。領域を設定する原稿を「スキャン1ページ」でスキャンすると、プレビューウィンドウ

## 目的に合わせたスキャナ設定

スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

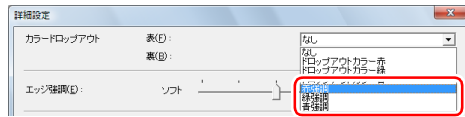
### ■ 色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい

詳細設定ダイアログボックスにあるカラードロップアウトの設定でドロップアウトさせる色（赤、青、緑）を指定すると、指定した色がスキャンされません。(→ P.6-12)



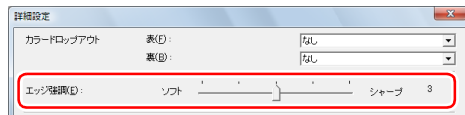
### ■ 特定の色を強調させたい

詳細設定ダイアログボックスにあるカラードロップアウトの設定で強調させる色 (赤、青、緑) を指定すると、指定した色が強調されます。



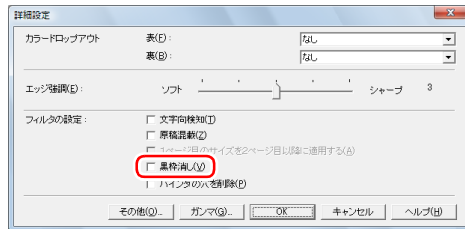
### ■ 画像の輪郭をはっきりさせたい

詳細設定ダイアログボックスでエッジ強調の設定を調整します。(→ P.6-11)



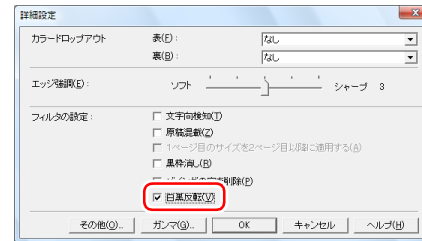
### ■ 原稿の回りにできる黒い枠を除去したい

詳細設定ダイアログボックスの「黒枠消し」をオンにします。原稿の周りの黒い枠の部分が削除されます。(→ P.6-13)



### ■ スキャンした画像を白黒反転させたい (TWAIN ドライバのみ)

詳細設定ダイアログボックスの「白黒反転」をチェックします。スキャンした画像を白黒反転して出力します。(→ P.6-13)

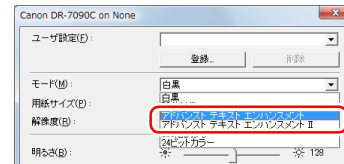


### 💡 ヒント

ISIS ドライバには白黒反転機能はありません。

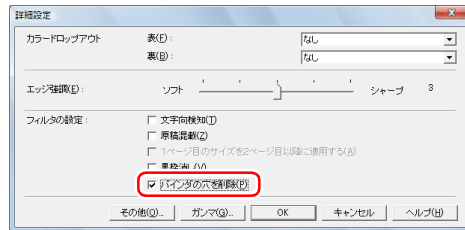
### ■ 背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

基本設定ダイアログボックスにあるモードの設定で「アドバンステキストエンハンスメント」を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。(→ P.6-6)



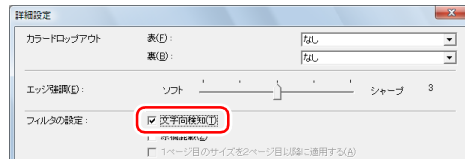
## ■ バインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分を削除したい

詳細設定ダイアログボックスで「バインダの穴を削除」をオンにします。原稿の穴の開いた黒い部分が削除されます。(→ P.6-13)



## ■ 文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい

詳細設定ダイアログボックスにある「文字向検知」をチェックします。(→ P.6-12)



原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるようにスキャンしたが画像を90度単位で回転させます。

フラットベット 原稿：下向き				
フィーダ 原稿：上向き				
文字の向き	ABC	ABC	ABC	ABC
出力画像	ABC	ABC	ABC	ABC

### 💡 ヒント

「文字向検知」をチェックしたときは、「画像回転」が使用できません。

## ■ 横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

搬送方向ダイアログボックスにある「画像回転」で回転させる角度を指定します。(→ P.6-10)



### 💡 ヒント

セットした原稿の向きと指定した角度によって画像が以下のように回転します。

フラットベット 原稿：下向き				
フィーダ 原稿：上向き				
原稿の向き	ABC	ABC	ABC	ABC
画像回転	0度	90度	180度	270度
出力画像	ABC	ABC	ABC	ABC

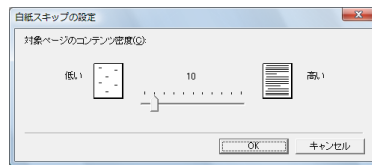


- 両面原稿の間にある白紙ページの画像を削除したい  
基本設定ダイアログボックスにある読み取り面の設定を「白紙をスキップする」にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。（→ P.6-7）



#### ヒント

白紙スキップを選択すると「設定」ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルが調整できます。



## 設定の登録

設定したスキャン条件を登録して次回も使用することができます。

### ■ スキャン条件の登録

基本設定ダイアログボックスのユーザ設定で、スキャン条件に名前を付けて登録します。登録したスキャン条件を使用するときは、登録した名前を選択することにより登録されている設定条件が反映されます。



# 第10章 付録

1. 仕様 .....	10-2
本体仕様 .....	10-2
消耗品 .....	10-3
外形寸法図 .....	10-4
2. 保証とアフターサービス .....	10-5
保証とアフターサービス .....	10-5
サービス&サポートのご案内 .....	10-5
保守サービスのご案内 .....	10-6
3. 索引 .....	10-8

# 1. 仕様

## 本体仕様

形式 卓上型フィーダ付フラットベッドスキャナ

### 原稿サイズ

幅: 139.7 ~ 298.1mm

長さ: 128 ~ 431.8mm

128 ~ 630mm(長尺モード)

### 原稿厚さ

#### 白黒原稿

• 片面原稿 42 ~ 128g/m<sup>2</sup> (0.06 ~ 0.15mm)

• 両面原稿 50 ~ 128g/m<sup>2</sup> (0.07 ~ 0.15mm)

• 白黒/カラー原稿混載時 50 ~ 128g/m<sup>2</sup> (0.07 ~ 0.15mm)

#### カラー原稿

64 ~ 128g/m<sup>2</sup> (0.08 ~ 0.15mm)

432mmを超える原稿

60 ~ 90g/m<sup>2</sup>

### 給紙方法

フィーダ/フラットベッド

### 読み取り方法

3ライン CCD、CIS

光源 キセノン管

### 読み取り面

片面、両面

### 読み取りモード

白黒、アドバンステキストエンハンスメント、アドバンステキストエンハンスメントII、誤差拡散、256階調グレー、24ビットカラー

### 読み取り解像度 (主走査×副走査)

600 × 600dpi/ 400 × 400dpi/ 300 × 300dpi/

240 × 240dpi/ 200 × 200dpi/ 150 × 150dpi/

100 × 100dpi

### 読み取り速度 (A4 横送り)

	片面	両面	
白黒	200dpi	70枚/分	88面/分
	300dpi	70枚/分	88面/分
	400dpi	50枚/分	48面/分
グレー	600dpi	50枚/分	48面/分
	200dpi	70枚/分	88面/分
	300dpi	70枚/分	88面/分
カラー	400dpi	50枚/分	48面/分
	600dpi	50枚/分	48面/分
	200dpi	70枚/分	88面/分
カラー	300dpi	70枚/分	88面/分
	400dpi	50枚/分	48面/分
	600dpi	24枚/分	22面/分

### 自動給紙積載量

最大約100枚 (80g/m<sup>2</sup>) または積載高さ13mm以下

### インタフェース

SCSI-III / Hi-Speed USB2.0

### その他の機能

自動原稿サイズ検知、ドロップアウトカラー、カウントオンリモード、ジョブ機能

寸法 618 (幅) × 602 (奥行き) × 317 (高さ)mm

質量 約41kg

電源 AC100V (50/60Hz)、222W

**消費電力**

動作時：最大 222W

スリープモード時：3.5 W 以下

**騒音** 72dB 以下

**使用環境**

温度：15℃ -30℃

湿度：25%-80%RH

- 上記の機能はお使いのアプリケーションソフトウェアで対応している場合に使用できます。
- お使いのコンピュータの性能やソフトウェアによっては実現しない場合があります。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

---

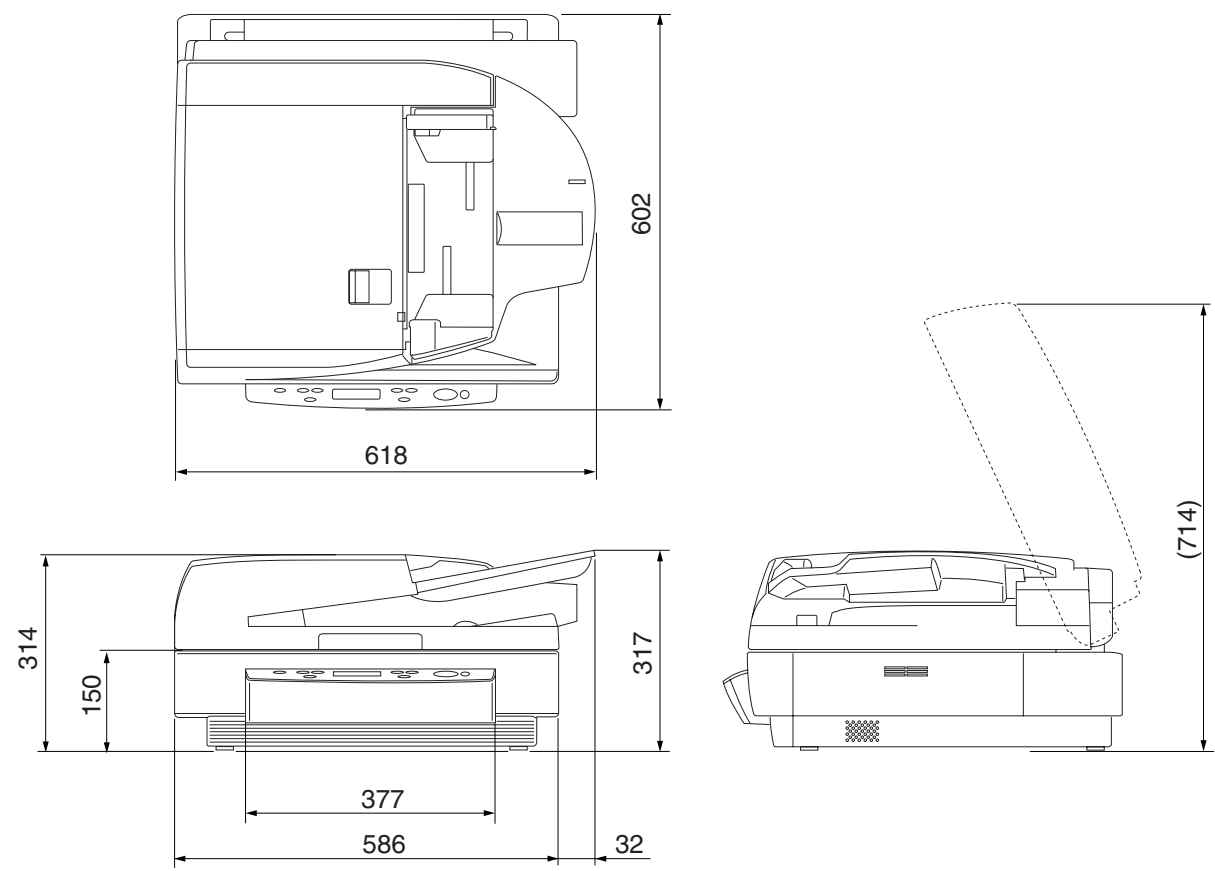
**消耗品****クリーニングペーパー**

フィーダ内の原稿読み取り部を清掃するときに清掃具に取り付けるクリーニングペーパーです。

- オプション品および消耗品についての詳細はお買い求めになった販売店または担当サービスにお問い合わせください。

外形寸法図

(単位：mm)




## 2. 保証とアフターサービス

### 保証とアフターサービス

- この商品には保証書がついています  
保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- 保証期間  
保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
- 修理サービスのご相談  
修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店またはお客様さま相談センターへご相談ください。
- 修理を依頼される前に  
「困ったときは」(→ P.8-5) にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。
- 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと
  - － お客様のお名前
  - － ご住所、お電話番号
  - － 商品の品番
  - － 故障の内容（できるだけ詳しく）
- 補修用性能部品について  
保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### サービス&サポートのご案内

- お客様相談センター  
取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター  050-555-90072  
 全国共通電話番号  
 受付時間：＜平日＞9:00～12:00／13:00～17:00  
 （土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。）

- ※ 上記番号は 050 から始まる IP 電話（株式会社エヌ・ティ・ティエムイー(NTT-ME)のXePhion Call Direct) を利用しています。  
NTT の固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4 円／3 分）でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部の PHS からはご利用いただけませんのでご了承願います。
- ※ お客さまが 050 から始まる IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP 電話からのご利用は、IP 電話事業者間の接続状況によります。NTT-ME の XePhion Call Direct の上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP 電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。また、IP 電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156 におかけくださいますようお願いいたします。

※ お客様相談センターの詳細につきましてはキヤノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください。

#### ● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

#### ● キヤノンホームページ <http://canon.jp/>

※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、ドライバのダウンロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。

※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ 通料金はお客様のご負担になります。

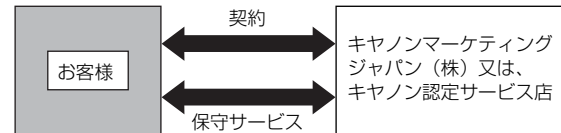
## 保守サービスのご案内

### ● ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

### ■ キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



### ● 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

## ■ キヤノン保守契約制度のメリット

### ● 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

### ● 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

※ 天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。

※ 消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

## ■ 購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン(株)までお願いします。



## 3. 索引

### あ

アース端子 .....	1-11
圧着板（黒） .....	1-10

### い

イベント機能 .....	3-13
インターフェースコネクタ .....	2-6

### う

浮き上がり防止プレート .....	1-3, 1-10
-------------------	-----------

### え

選んでインストール .....	2-4
-----------------	-----

### お

オプション .....	10-3
おまかせインストール .....	2-4

### か

外形寸法図 .....	10-4
開閉検知センサ .....	1-10
開閉レバー .....	1-10
カウントオンリーモード .....	4-2
各部の名称 .....	1-10
紙づまり	
原因 .....	3-24
処理 .....	3-22
画面コントラスト .....	4-2

### き

自動給紙 .....	3-10
給紙方法 .....	3-8
自動給紙 .....	3-10
標準給紙 .....	3-8

### け

原稿 .....	3-2
種類 .....	3-2
積載量 .....	3-3
セット .....	3-4
原稿給紙トレイ .....	1-10
原稿セット表示 .....	1-10
原稿排紙トレイ .....	1-10

### こ

こんなときは .....	8-1
コンピュータとの接続 .....	2-6

### さ

サポート .....	10-5
------------	------

### し

仕様 .....	10-2
省電力モード .....	4-2
消耗品 .....	10-3
ジョブ機能 .....	3-11
ジョブ登録ツール .....	3-12
ジョブモード .....	3-12

### す

スキャナの移動 .....	1-5
スライドガイド .....	1-10

### せ

清掃	
圧着板 .....	5-3
原稿台ガラス .....	5-3
電源プラグ .....	5-9
フィーダ部 .....	5-4
本体 .....	5-2
設置場所について .....	1-2
セットアップ .....	2-2
セットアップメニュー .....	2-4

### そ

操作パネル .....	1-10, 1-11
ソフトウェアのインストール .....	2-4

### た

ターミネータ .....	2-7
--------------	-----

### つ

通気孔 .....	1-10, 1-11
-----------	------------

<b>て</b>		<b>り</b>	
デジチェーン接続 .....	2-7	両面同時読み取り .....	4-3
ディップスイッチ .....	1-11	<b>E</b>	
電源コネクタ .....	1-11	Enter キー .....	1-11
電源スイッチ .....	1-10, 2-9	<b>J</b>	
電源について .....	1-3	Job キー .....	1-11
<b>と</b>		<b>M</b>	
動作環境 .....	2-3	Menu キー .....	1-11
<b>に</b>		<b>N</b>	
日常のお手入れ .....	5-2	New File キー .....	1-12
日常の取り扱い .....	1-6	<b>S</b>	
<b>は</b>		SCSI ID .....	2-7
パッチコード		SCSI カード .....	2-3
使い方 .....	3-20	SCSI コネクタ .....	1-11
パッチコードシート .....	3-19	SCSI 接続 .....	2-7
パッチコードパターン .....	3-19	Set キー .....	1-11
パネル給紙 .....	3-9	Start キー .....	1-12
<b>ひ</b>		Stop キー .....	1-12
表示パネル .....	1-11	<b>U</b>	
標準給紙 .....	3-8	USB コネクタ .....	1-11
<b>ふ</b>		USB 接続 .....	2-6
ファイル区切り .....	3-19		
フィーダ .....	3-4		
フィーダカバー .....	1-10		
フラットベッド .....	3-5		
フラットベッド (原稿台ガラス) .....	1-10		
<b>ほ</b>			
保証とアフターサービス .....	10-5		
<b>ま</b>			
マニュアルの構成 .....	ii		
マニュアルを読む .....	2-5		
<b>ゆ</b>			
ユーザーモード			
機能 .....	4-2		
設定方法 .....	4-3		
輸送用ビス .....	1-2		
<b>よ</b>			
読み取り部清掃具 .....	1-10, 5-7		

# Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER